

第七十四回帝國議會
衆議院

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件

委員會會議錄(速記)第六回

會議

昭和十四年二月七日(火曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 板谷 順助君

理事松尾 四郎君 理事宇賀 四郎君

理事森 幸太郎君 理事山崎 常吉君

駒井 重次君 大野 一造君

川崎末五郎君 中村不二男君

松田 正一君 深澤 吉平君

宮澤 清作君 田中源三郎君

小見山七十五郎君 平野 力三君

坂本宗太郎君 塚本 重藏君

青木 作雄君

同月六日委員岸田正記君辭任ニ付其ノ補闕トシテ平野力三君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

大藏大臣 石渡莊太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 松村 光三君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 松隈 秀雄君

農林政務次官 松村 謙三君

農林省農務局長 小濱 八彌君

厚生政務次官 津崎 尙武君

厚生省體力局長 佐々木芳遠君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

兌換銀行券整理法中改正法律案(政府提出)

農業再保險特別會計法案(政府提出)

極谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、農業保險ニ關聯シテノ御質問ニ對シテ、農林省ノ政府委員ガ出デニナツテ居リマスルカラ、此際御質問ガアリマシタナラバ、引

續イテ御發言ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山崎委員 私先ツ最初ニ御聽キシタイト

思ヒマスノハ、日支事變前ノ農村ノ總人口

ト、事變後ノ總人口、此ノ數字ノ移動ハドウ

云フ工合ニナツテ居ルカト云フコトヲ、先

ヅ御聽キシタイト思ヒマス、更ニ又事變前

ト事變後ノ農村ノ出產率、斯ウ云フヤウナ

方面ノ御調査ガ出來テ居レバ、最初ニ御伺

致シタイト思ヒマス

○松村(謙)政府委員 只今ノ御質問デゴザ

イマスガ、御話ノ後ノ部分ノ出產率ノ點ニ

付キマシテハ、マダ十分ノ調査ヲスルコト

ガ出來マセヌデ、是ハ内閣ノ統計局ノ方

デモヤツテ居リマセウガ、事變後ノ出產率

ノ成績ハ、只今ノ所デハ實ハ調べ難ネルノ

デゴザイマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタウ

ゴザイマス、ソレカラ戰爭以前ノ農村人口

ト今日ノ農村人口ノ差ニ付キマシテモ、ヤ

ハリ詳シイ數字ヲ申上ゲル時期ニハ達シテ

居ナイノデアリマス、殊ニ兵役ノ爲ニ農村

カラ應召セラレタ人達ノ數ハ、是ハ祕密デ

アリマスコトハ勿論デアリマスガ、其ノ外

ニ工場労働者トシテ變リマシタ數等ヲ此處

ニ申上ゲルコトハ如何カト思ヒマスガ、兎

ニ角相當ナ數ガ農村カラサウ云フ方面ヘ吸

收セラレテ居リマスコトハ事實デアリマス、

昨今ハ此ノ間陸軍大臣モ御話ニナリマシタ

通りニ、或ル程度マデ長ク出征セラレテ居

タ方々ガ、相當ノ數量歸還セラレテ居リマ

ス、是等ガ此ノ春ノ農業ノ上ニ於テ、既ニ

農村ヘ復歸シテ働キ得ル人モ、相當ニ加ハ

ツテ來ルコトト思フノデアリマスガ、詳シ

イ數字ハ實ハ此處ニ今申上ガ難ネルノデゴ

ザイマスシ、手許ニ調査モゴザイマセスカ

ラ、惡シカラズ御諒承願ヒタイ

○山崎委員 慌シイ現在ノ社會情勢デゴザ

イマスノデ、隅カラ隅マデト云フ工合ニ、

徹底的ノ數字ノ移動統計ト云フコトハ、ソ

付託議案

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
作業會計法中改正法律案(政府提出)
兌換銀行券整理法中改正法律案(政府提出)
農業再保險特別會計法案(政府提出)
海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

レハ困難デゴザイマセウケレドモ、少クトモ政府當局ハ斯様ナ點ニ逸早く氣付カレマシテ、出產率ニ對シマシテモ、又今農村デ、都市デ問題ニナツテ居リマス所ノ、働ク人間ノ統計ニ付キマシテハ、十分ノ御調査ガ出來テナケレバ仕方ゴザイマセウケレドモ、直チニ十分ノ御調査ヲナサツテ、出產率ニ對シマシテモ、又農村ノ人口減退ノ狀態ニ對シマシテモ、十分ノ對策ガシテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、先ヅ農村ノ出產率ニ對シマシテハ、最モ出產能率ノ旺盛ナル諸君ガ出征シテ居リマスノデ、此ノ點ニ對シマシテハ段々ト減退スルト思ヒマス、是ガ減退スル儘ニ看過シテ居ルコトハ、斷ジテ國家トシテ出來マセヌト思ヒマス、之ニ對シマシテハ十分ノ對策ガ出來テナケレバナラヌト思ヒマス、ソレハ申上ゲルマデモナク、國ノ爲ニ働ク軍隊ノ成員ニ致シマシテモ、農村漁村山村、此ノ方面カラ出ル所ノ兵隊ガ、最モ忠實ニ最モ勇敢ニ働イテ居ル、此ノ方面ノ出產率ガ少クナルト云フコトハ、國家ノ將來ヲ憂ヘザルヲ得ナイ問題デハナイカト思ヒマス、私ハ今承レバ此ノ出產率ノ統計ガ取レテナイト云フコトハ、一大事デハナイカト云フコトヲ痛

感致シマス、更ニ事變前ト事變後ノ農村ノ人口狀態ハドウカト云ヒマスレバ、統計ガ取レテナイト仰シヤイマスガ、統計ガ取レテナイト致シマシテモ、農村ノ人口ハ段々ト少クナリマス、是ハ應召セラレタ兵士ノミデハナイ、農村デ働ク所ノ壯年、青年、或ハ女、處女ニ至ルマデ殆ド軍需品工場ノ方ヘ次カラ次ヘト狩出サレテ居リマスコトハ、御承知ノコトト思ヒマス、デアリマスガ爲ニ、農村ノ耕作能力ガ一體ドウ云フ工合ニナルカト云フコトハ、國民全體ガ心配シテ居リマス、今マデ我國ガ幸ニシテ諸外國ト違ツテ、コンナニ事變ガ長ク續イテモ食糧ニハ困ラナイト云フコトハ、是ハ我國獨特ノ天恵デアルト云フヤウナ工合ニ考ヘテ居リマシタケレドモ、現在ノ狀態デハ段々ト農村ニ最モ必要ナ諸君ガドソノ少クナリ、是カラ農村ノ耕作維持ヲドウシテヤツテ行クカト云フコトハ、農村ノ人間モ、又離レタ都市ノ人間モ、心配ヲシテ居ルヤウナ狀態デゴザイマス、斯ウ云フヤウナ方面ニ付キマシテハ、十分ノ統計ガ取ラレマシタ上ニ、一ツノ對策ガ立テラレバナラヌト思ヒマス、只今ノ當局ノ御答辯デハ、マダ統計ガ取レテナイト云フコトデアリマスノデ、是ハ已ムヲ得マセヌガ、統計ガ取レテナイ

ト致シマシテモ、農村ノ人間ガ段々ト少クナルコトニ付キマシテ、何カ對策ガ立テラレテ居ラネバナラヌト思ヒマス、又立テラレルコトガ當然デアルト思ヒマス、統計ガナイト致シマシテモ、ソレ等ノ對策ニ付キマシテノ具體案ガゴザイマスレバ、御聽セヲ戴キマシテ安心ヲサセテ戴キタイ、斯ウ考ヘマス

○松村(議)政府委員 至極御尤ノ御質問デゴザイマシテ、吾々モ其ノ點ニ付テハ非常ニ苦心ヲ致シテ居ル次第デアリマス、今日マデ農村ノ勞力ガ不足シナガラモ、農民ノ非常ナ努力ニ依リマシテ、戰爭ガ始ツテカラ一年半以上經チマシテモ、幸ニ食糧問題ニ付テハ國民ガ何等ノ心配モナクヤツテ居リマスコトハ、是ハ偏ニ農民ガ老幼男女ノ別ナク努メタ結果デアリマス、但シ斯ウ云フ努力ニ依ツテ此ノ生産ガ何處マデモ維持出來ルカト申シマス、ソレニ付キマシテハ滿洲ノ移民、或ハ軍需工業ヘノ吸收、或ハ徵兵召募等ニ依リ意外ニモ澤山ノ農業勞力ガ他ノ方面ヘ行キマスノデ、此ノ儘放任シテ置イテハ、將來ノ生産ハ相當ニ憂慮スベキモノガアルト存ジマス、ソレニ付キマシテ今日マデヤツテ居リマスコトハ、勞力ハ假ニ減リマシテモ、全國的ニ計畫ヲ樹テテ勞力ノ過不足ヲ調節シ、農業經營方法ヲ改善シテ參リマシタナラバ、縱シ是等ノ人ヲ軍事ノ爲メ、或ハ軍需工業ノ爲ニ取ラレマシテモ、ヤリ方ニ依リマシテハ今日ノ生産ハ十分ニ維持シ、若クハ之ヲ更ニ擴充シテ行クコトガ出來得ルト固ク信ジテ居リマス、其ノ意味カラ致シマシテ、例ヘバ滿洲ノ移民計畫ノ如キモ、是ハ國策トシテ是非トモドシナコトガアツテモ、實行シナケレバナラヌコトト考ヘマスガ、是ガ計畫ナシニ何處カラデモ出テ參リマス、非常ニ生産ニ差支ヘマスガラ、昨年マデハ大體拓務省デ移民ヲ募集シテ居リマシタガ、今年カラハソレガ農林省デ計畫的ニ分村計畫ヲ立テマシテ、此ノ地方ニハ勞力ガ剩ツテ居ルカラ、此ノ地方カラ滿洲移民ヲ出サウ、此ノ地方ハ不足シテ居ルカラ出サナイト云フ計畫ヲ立テテ滿洲移民ヲ實行シテ、質ノ良イ者ヲ農村ノ生産ニ妨ゲナイヤウニシテ移民スル、斯ウ云フコトニ致シマシテ、農林省ノ方カラ今度ノ豫算ニ其ノ費用ガ組上ゲテゴザイマス、是等モ其ノ一ツノコトデアリマスガ、今日ハ軍需工業ヘ農村ノ人ヲ吸收シマスノデ、其ノ軍需工業ノアル附近ノ農村ガ非常ナ勞力不足ヲ來シテ居ルヤウナ所ガアリ、又ソレ程デモナイ所モアリマスノデ、

之ヲ全國均一的ニ軍需工業ヘ分ケテ、サ
ウシテ或所ニハ非常ニ勞力ガ剩リ、或所ニ
ハ非常ニ勞力ガ不足スルト云フヤウナコト
ノナイヤウニスルコトハ、是ハ是非必要ナ
コトデアリマシテ、今日農業生産力確保ノ
上ニモ、農村勞力、農村人口ノ均一ト云フ
コトガ、其ノ根柢デナケレバナラヌト思ヒ
マシテ、其ノ點ニ今日力ヲ盡シテ、全國ノ
職業紹介所ナドトモ連絡ヲ取りマシテ、成
ベク過不足ノナイヤウ致シタイ、之ヲ是カ
ラウント力ヲ入レテヤル積リデアリマス、
今日ノ農村ノ仕事ト云フモノハ非常ニ大キ
ナモノデアリマシテ、食糧品ノ擴充ト云フ
コトダケナラバ、マダ十分ノコトハ出來マ
スケレドモ、其ノ他ニ外國ヘ輸出シテ外國
カラ金ヲ取ツテ來ル品物ノ原料ヲ農村ニ仰
グ分量ガ極メテ殖エテ參リマシテ、生絲ハ
勿論其ノ他有ユル方面ニ於テ、少シデモ外
國カラ金ヲ取ツテ來ル物ヲ生産シナケレバ
ナリマセヌカラ、此ノ人的物的ノ資源ヲ農
村カラ總テ出ス今日ノ狀態デアリマスノデ、
是等ニ對スル根本的ノ大キナ計畫ヲ立テタ
イト存ジマシテ、既ニ豫算ニ計上モ致シテ
アリマスガ、所謂農村對策ノ根本ヲ至急ニ
確定シテ、其ノ綜合シタ計畫ニ從ツテ農村
人口ノ減ツタニ拘ラズ生産ヲ擴充シタイ、

斯ウ云フ積リデ今日努力ヲ致シテ居ル次第
デゴザイマス、議會中ハ勿論デアリマスガ、
濟ミマシタナラバ農林省ハ主力ヲソコニ注
イデ、其ノ場合ノ生産擴充ニ努力致シタイ
ト思ヒマスカラ、左様御承知ヲ御願致シマ
ス、先刻ノ御質問ニ對シマシテ農村人口ノ
移動ニ關スル全體的ノ調査ハ、マダ十分デ
ナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、
此處ニ事務ノ方ニ約千箇町村ニ付テノ調査
ガゴザイマスカラ、之ヲ御報告申上ゲマス
○板谷委員長 山崎サンニ御相談申上ゲマ
スガ、文部大臣ガ御見エニナリマシタケレ
ドモ、豫算分科會ノ方デ御忙シイサウデス
カラ、此ノ際御質問ヲ御譲リ願ヒタイと思
ヒマスガ、宜シウゴザイマス
○山崎委員 宜シウゴザイマス
○板谷委員長 ソレデハ松田正一君
○松田委員 文部大臣ニ御質問ヲ申上ゲマ
スガ、本年度以降ノ公債發行額ハ餘程龐大
デアリマス、國民ハ時局ヲ認識致シテ、裸
一貫ニナル所マデノ覺悟ヲ決メテ、此ノ赤
字公債ヲ消化スルコトニ努力ヲシナケレバ
ナラヌ、此ノ時ニ際シマシテ文部大臣ニ御
尋フ致シタイノデアリマスガ、官立學校ニ
學ンデ居ル學生ガ一年ニ一人ドレダケノ國
費ヲ食ツテ居ルカ、最近ノ表ハマダ手ニ入

ツテ居リマセヌガ、昨年ノ分デアリマス、
東京ノ帝國大學ノ學生ガ一人一年國費ヲ食
フコト八百五十九圓二錢、京都帝國大學ガ
六百九十七圓九十七錢、北海道ノ帝國大學
ガ一千三百五十六圓十五錢、東北帝國大學
ガ千五百三十八圓二十錢、九州帝國大學ガ
一千五百七十一圓九十一錢、大阪帝國大學
ガ千八百三十三圓二十五錢、新潟ノ醫科大
學ガ二千八百二十九圓二十六錢、岡山ノ醫
大ガ二千六百四十七圓六十八錢、之ヲズツ
ト讀上ゲマスルト九十五校ゴザイマス、此
ノ學校ニ學ンデ居ル學生ガ、一年ニ是ダケ
ノ金ヲ食ツテ居ルノデアリマス、尤モ學校
ニ依リマシテハ少イノモアリマスケレド
モ、大ニシテ今申上ゲタ如ク一人ノ生徒ガ
二千八百二十九圓二十六錢ト云フヤウナ國
費ヲ食ツテ居ルノデアリマス、尤モ此ノ生
徒ノ家庭カラ申シマスレバ家庭ガ豊カナラズ、
前途カラ申シマスレバ家庭ガ豊カナラズ、
色々節約致シテ子供ヲ學校ニ入レテ居ル者
モアリマスケレドモ、中ニハ國費ヲ是ダケ
食ヒナガラ、父兄ハ隨分學生ニ贅澤ヲサシ
テ、ソレデ家庭ハ數十万、數百万ノ財産ヲ
持ツテ豐ニ暮シテ居ル家庭モアル、假ニ二
千八百圓一年ニ食フ學生ヲ學校ニ學バシテ
居ル家庭ガ一年ニ税金ヲ二千八百圓負擔シ

タカラト言ツテ、其ノ税金ハ自分ノ家ノ息
子ガ國費ヲ食ツテ居ルノダカラ、無稅ト同
ジ譯デアアル、勿論家庭ニ依リマスガ、斯ウ
云フ家庭ヲ調査ナサツテ——何モ子供ガ國
費ヲ食ツテ居ルカラ、其處ノ豐ナル財産ヲ
沒收シヨウトモ、或ハ徵發シヨウトモ言フ
ノデアリマセヌガ、今デハ大藏大臣ノ御
説明ノ如ク、公債モ紙幣モ餘リ變ラヌノデ
アル、ソレデ子供ガ學校デ國費ヲ食ツテ居
ルダケ、其ノ豐ナ家庭ニ公債ヲ持クシテ消
化サシタラドウカ、尤モ公債ヲ消化スルコ
トガ、或ハ郵便貯金トカ、或ハ銀行預金ト
カ、或ハ生産力擴充ノ爲ノ投資トカ云フコ
トニナツテ居リマセウカラ、皆々ソレナラ
ト言ウテ、公債消化ニ勸業資金ヲ振替ヘル
譯デハナイ、ソレナラバ家庭ガ引締メテ節
約致シマス、サウ云フ風ナコトデ、此ノ御
調査ヲ遊バシテ、息子ガ學校デ國費ヲ食ツ
テ居ルノニ準ジタ一年ノ額ヲ、其ノ家庭ニ
公債ヲ持クシテ行クト云フ御考ガナイカ、
何カコンナヤウナコトヲ企テラレル御意思
ガナイカト云フコトヲ御伺シタイノデアリ
マス、サウナツテ來マスレバ、色々學生ノ
上ニ精神上ノ刺戟モアルヤウニ御考ニナル
カモ知レマセヌガ、是ハヤハリ時局柄サウ
云フ多少ノ弊害ガアツタニ致シマシテモ、

忍ンデサウ云フコトニスル必要ガアルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、文部大臣ノ之ニ對スル御意見ヲ伺ツテ見タイ

○荒本國務大臣、公債消化ニ關スル觀點カラ御出發ニナツテ、今ノ高級學校ニ於ケル一人當リノ國家ガ消費シテ居ル所ノ金額ト對照セラレテ、更ニ進ンデ其ノ家庭ノ貧富ノ度ニ及バレテ、其ノ家庭ノ富裕デアルガ故ニ、斯ウシテ國家ガ是ダケノ多額ナ國費ヲ費シテ其ノ子弟ヲ養ツテ居ルガ爲ニ、ソレ位ナラ一ツ公債ヲ負擔サシテハドウカ、斯ウ云フヤウナ御話ト承ツタノデスガ、一應御考ニナツテ色々公債消化ニ對スル御苦心カラ出タ一ツノ案トハ存ジマスガ、教育ノ關係ト公債消化ノ關係トヲ茲ニ結付ケルコトハドウ云フコトデアラウカ、ドウ云フ結果ヲ來スカト云フコトヲ一ツ考ヘテ見タイ思フノデアリマス、今ノ數字デ當ツテ參リマスト、成程殊ニ醫大ノ如キハ、例ヘバ臨床ノ問題モアリマセウ、解剖ノ問題モアリマセウ、レントゲンノ問題モアリマセウカラ、或ハ一人當リ二千圓以上ニナツテ居ルカモ知レマセヌ、醫大トカ、理工科ノ方ハ多イケレドモ、文科、法科ナドニ至ルト、其ノ點ハ非常ニ少イダラウト思フ、是ハ學科ガ要求スル自然ノコトデ、致シ方ガナイコト

ダラウト思ヒマスガ、少クトモ八百圓カラ二千圓ニ互ルモノヲ負擔シテ居ル、是ハ他面教育ノ方ノ關係カラ見マスト、教育ハ國家ノ將來ニ對スル人ノ養成ヲシテ居ルモノデアリマスノデ、之ニ對シテ假令ツレガ三千圓デモ五千圓デモ、必要ナ人ヲ造ル爲ニハ更ニ國家トシテ考ヘテ、立派ナ國家ノ有用ノ材ヲ造ツテ行カナケレバナラス、殊ニ高等學府ニ行ク者ハ、原則トシテ左様ナ才能ヲ持チ、左様ナ素質ヲ持ツテ居ル者ヲ高等學府ニ入レテ居ルノダ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ行カナケレバナラスト思ツテ居リマスノデ、此ノ當嵌メタ金額ノ高ハ今姑ク外ニ措イテ載クコトガ宜イノデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、ソレカラ時局ノ問題ニ付テハ、成程非常ニ大キナ負擔ヲシ、國家總體ヲ舉ゲテ今日ノ我國ノ時局下ニ於ケル財政ト云フモノニ對シテ、協力セネバナラスノデアリマスカラ、出來ルダケ節約シ、更ニ公債消化ニ對シテ、今ノヤウナ富裕ナ人ガソレダケノコトヲ考ヘテ、國家カラ受ケテ居ル所ノ恩惠ヲ自覺セラレテヤルト云フコトハ、是ハ洵ニ考フベキ問題ダト思ヒマス、唯之ヲ如何ニ持ツテ行クカト云フコトハ、其ノ人ノ一ツノ德義心ニ憑ヘテ行クコトガ一番宜イノデハナイカ、又幾ラカノ

金ヲ國家カラ受ケテ、自分ノ子弟ガ教育セラレテ居ルト云フコトヲ、モウ少シ離レテモウ少シ大キク其ノ人々ガ考ヘラレテ、公債ノ負擔ヲシ、更ニ進ンデ國家ノ財政ノ困難ニ協力スルト云フコトニ付テハ、他ノ方面カラ一ツ導イタ方ガ宜イデハナイカト思ヒマス、教育ト結付ケマスト、今度貧乏者ハドウスル、高等學府ニ行ツテ居ル者ノ中ニモ、隨分自力デヤツテ居ル者ガアル、又非常ニ夜間アタリハ働クトカ、或ハ他人ノ世話ニナリナガラ通學シテ居ル者モアル、サウ云フ人ハヤハリ同ジ教育ヲ受ケテ居ルノデアリマスカラ、國家ノ教育機關トシテハ、サウ云フ家ガ富ンデ居ル、家ガ貧シイト云フヤウナ、本人ノ境遇如何ニ拘ラズ、國家將來ノ有用ナ材ヲ教育シテ行クト云フ見地ニ立チマシテ教育シテ居ルノデアリマス、富裕ナ人ノミヲ對象ニスルト云フコトニナルト、ソコニ諸般ノ疑問ガ起ラウト思ヒマス、御趣旨ノ點ハ、サウ云フヤウニ持ツテ行クベク考ヘサセルコトハ非常ニ必要ト思ヒマスガ、所謂文政ノ府カラ之ヲ表向キニ持ツテ行クト云フコトハ、色々ナ支障ガアラウト思フノデアリマス、デアリマスカラ寧ロ他ノ例ヘバ精神總動員方面カラ行ク、或ハ他ノ社會教育ノ方面カラ、サウ云

フヤウナ點ヲ考ヘサセル方ガ對策デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○松田委員 實ハサウ云フ風ナ御答辯デハナカラウカト本員ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、所デ大臣ニ御伺シタイノハ、本年度以降ノ公債ヲ消化スルノニハ、逆モ一筋デハイケマセヌ、ソレデ昨日來公債ノ強制保有ノ問題色々議論サレタノデアリマスガ、勿論時局ヲ認識シテ國民ガ自發的ニ公債ヲ消化シテ行クト云フコトニ越シタコトハナイノデアリマス、只今大臣ハ、他ノ方面カラサウ云フヤウナ方面ニ持ツテ行ツテ、結果ヲ同ジクシタラドウカト云フヤウナ御説ノヤウニ承リマスガ、一體今マデ新聞ノ報道スル所ニ依ルト、時局ヲ認識シテ居ラナイ國民ガ、アノ刑事事件ヲ起スコトハドウデアリマス、軍人後援會ノ金ヲ數万圓橫領シテ居ル者モアル、戦死ヲ致シテ其ノ遺族ガ郷里ニ歸ツテ公葬ヲ營ム時ニ、空人夫ヲ使ヒ領收書ヲ偽造シテ、數十名ノ人夫賃ヲ橫領シ、花柳街デ遊ンデ居ルト云フ者モアツタデヤナイカ、東京ノ荏原署ノ巡查ガ、同僚巡查ガ出征ヲ致シテ居ル間ニ其ノ俸給ヲ橫領シタ、色々申セバ澤山アリマスガ、此ノ時局ニ於テ斯ノ如キ不認識ノ者モアル譯デアリマスカラ、ドウシテモ本年度以降ノ

此ノ多額ノ公債ヲ消化シナケレバ國家ノ財政ガ持タヌ、國家財政ガ持タナケレバ、是ハ東亞新秩序建設トカ或ハ此ノ事變ニ勝ツコトガ出來ヌ、之ヲ考ヘテ見マスレバ、國民ハ少々生活上ニ障礙ヲ來シタ所ガ、是ハ一大決心ヲ以テ此ノ公債消化ニ乗出シテ行クベキデハナイカト思ハレル、顧ミマスノニ此ノ官立學校以外ノ或ハ專門學校等ニ於テモ、文部省カラ補助シテ居ル學校ガ大部分デアル、故ニ東京ニドレダケ學生ガ居ルカ知レマセヌガ、先ヅ國費ヲ食ハナイ學生ト云フモノハ、アツテモ少イノデアル、其ノ學生ガ父兄カラハ月々金ヲ送ツテ貰ヒ、國家ノ祿ヲ食ム、デアルカラ學校ヲ卒業シタナラバ、先ヅ以テ國家ノ恩ニ對シテ義理ヲ果シ、恩ヲ返ス、ソレカラ父兄ニ對シテ恩ヲ報ジ吾ガ身ヲ立テ行クト云フコトガ、學生ノ覺悟シナケレバナラヌ所デアル、然ルニ拘ラズ昨年警視廳デ不良學生ヲ檢舉シタコト五千餘人聞イテ居ル、彼等ハ父兄カラハ金ヲ送ツテ貰ヒ、國家ノ金ヲ是ダケ食ツテ居ル、サウシテ酒ヲ飲ミ、「カフェ」ニ遊ビ、花柳街ニ遊ブ、或ハ酒ヲ飲シテ喧嘩ヲスル、アノ態ハ何デアル、歐洲戰爭當時ノ「ケンブリッヂ」大學ノ學生ガ、吾々ハ此ノ戰爭ノ渦中ニ入ツテ居ル國

家ヲ顧ミテ悠々ト學ンデ居ル時デヤナイト云ウノデ、大學ノ帽子ヲ脱ギ捨テテ軍帽ト代ヘ、サウシテ第一線ニ立ツタデヤナイカ、今ヤ此ノ世界戰爭史ノ上ニ特筆大書スベキ會テ類例ノナイ日支事變ガ起ツテ、日本國家ノ興亡盛衰——是カラ先キドウナツテ行クカト云フ巷ニ立ツテ居ル日本ノ現狀デア、其ノ國ノ學生ノスル業ト考ヘラレマス、之ヲ對外國ノ方デ見マシタナラバ何ト思ハレマスカ、之ニ對シ檢舉ガ少シ酷イデヤナイカ、手加減セヨト云フコトヲ文部省カラ警視廳ニ言ツテ行ツタト云フコトガ、新聞記事ニ載ツテ居ツタ、ケレドモソレハアナタノ大臣當時デハアリマセヌ、サウ云フ振舞ヲスル者ハ、アナタハ文部大臣デアラレルト同時ニ陸軍大將デアラセラレマスルガ、今申シマシタ軍事救護ノ金ヲ横領シタトカ、或ハ公葬ノ人夫賃ヲ胡麻化シタトカ云フヤウナ、斯ウ云フ時局ニアツテ一人デモヤツテハイカヌヤウナ犯罪ヲ犯ス者ト、學生ガ國家ノ祿ヲ食ンデ、學校ニ居ナガラアノ不良學生ノ檢舉ノ網ニ掛ツタト云フ者ト、比較對照致シマシテ、大差ナイモノト私ハ思ハレル、是等ニ向ツテ文部省ノ方デハ餘リ檢舉ガヒドイデヤナイカト言ツテ抗議ヲ申込ダト云フコトヲ聞クニ至ツテハ

文部省ノ方針ハ此ノ時局ノ上カラ考ヘマシテ、感心スルコトハ出來ナイ、アナタハ大臣ニ御就任遊バサレテカラ、サウ云フ風ナコトニ付テ御考ニナツタコトガアルカモ知レマセヌガ、斯ウ云フ風ナコトデハ、ドウシテ學生ガ我國ノ面目ヲ對外的ニ保ツコトガ出來ルカ是等ニ關スルアナタノ御意見ヲ一遍承ツテ、將來吾々ハ學生ノ爲、國家ノ爲、改革スル必要ガアルノデハナイカト思ハレル、固ヨリア—云フ學校ニ學ンデ居ル人ハ、國家ニ無クテハナラヌ人ヲ拵ヘテ居ルノガカラ、ソレハ國家モ犠牲ヲ拂フコトハ當然デアアルケレドモ、國家ノ恩惠ヲ受ケテ居ル者ノ立場ガ、甚ダ遺憾デアルト云フ點ヲ申上ゲルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ文部大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○荒木國務大臣 斯ノ如キ重大ナル時局ニ際シテ、我が國民ノ間ニ尙ホ不心得ナ者ノアルト云フコトハ、吾々モ帝國ノ臣民ト致シマシテ共ニ悲ム一人デアリマス、併シ御承知ノヤウニ一世ヲ學ゲテ一人ノ不心得者モナイ時代ヲ作り上ゲル爲ニハ、有ユル努力ヲ要スル、他方又斯様ナ事ノ絶滅ヲ期スルコトノ困難デアアルコトハ、十分御承知ノコトデアラウト存ジマスルガ、是等ニ對シテハソレガ絶滅出來ル出來ナイニ拘ラズ、國家ヲ舉ゲテ、又共ニ同胞ノ一人トシテ、茲ニ斯ノ如キ者ノナカラシムルヤウニ努メルコトハ、政治ノ上カラ考ヘマシテモ、又教育ノ上カラ考ヘマシテモ、爲スベキコトデアラウト、斯ウ存ジマシテ、其ノ點ニ付テノ御不滿ニ對シテハ全然御同感デアリマス、又學生ノ上ニ付テモ、私ハ決シテ今日ノ學生ノ狀態ヲ以テ、満足ナルモノトモ考ヘラレナイノデアリマス、歐洲大戰中ニ、或ハ過去ノ大戰役ニ於キマシテ、歐羅巴ニ於テ左様ナ事モ屢、耳ニスルノデアリマス、併シ學生全般ガ斯ノ如キモノデアルトハ私ハ信ジナイノデアリマシテ、又固ヨリ左様ニ御考ニナツテ居ラウトハ存ジマセヌガ、良イ方ヲ申上ゲマス、洵ニ涙ガマシイ、又眞ニ能ク時局ヲ認識致シマシテ、自分ノ學業ニ勵ム以外ニ、或ハ家庭ニ向ツテ自分ノ得タ所ノモノヲ以テ、先程ノ御話トハ反對ニ家庭ヲ助ケ、或ハ國家ニ對シテ自分ノ餘暇ヲ割イテ、ソレ相應ニ奮闘シテ居ル所ノ學生モ決シテ全國ニハ少クナイノデアリマス、又唯漫然トシテ學業ニ勵メバソレ宜イト云フ學生モアラウト存ジマス、併シ殊ニ最高學府ノ學生トシテ、假令一人ト雖モ不心得ナ者ノアルト云フコトハ、是ハ一般大衆ト違ツテ文部當局トシテハ、十分ナ考ヲ持ツテ之

ヲ取締ツテ行カネバナラズ、導イテ行カネバナラスト思フノデアリマス、先年來ノ警視廳トノ問題ニ付テ今御話デアリマシタガ、文部省カラ抗議ト云フヤウナコトデハナカツタと思フノデアリマスルガ、警視廳ハ一ツノ警視廳眼ヲ以テ、學生モ普通ノ人モ餘リ區別ナク考ヘテ居ル點モアルデハナイカ、又學生ノ中ニモ、五千人ト云フ數ヲ御示シデアリマシタガ、唯「カフエー」ニ行ツテ茶ヲ飲ンデ居ツタト云フノガ一緒ニ連レテ行カレタト云フノデ、學生ノ中デモ可ナリ憤慨シテ居ル者モアルノデアリマス、一方ニ行キ過ギ、一方ニ足リナイト云フヤウナ點ガ、茲ニ至ツテ居ルノダト思フノデアリマス、吾々トシテハ苟モ學生デアリ、學校ノ當局者ガ預ツテ居テ、之ヲ十分ニ指導シナケレバナラスコトデアルカラ、是ハ一般ノ人ト違ツテ居リマス、殊ニ學生デマダ自立シテ居ラスノデアリマシテ、十分ナル監督指導モ出來マスルシ、中ニハ親掛リモアルノデアリマスシ、立派ナ教育家モ附イテ居ルノデアリマスカラ、學校自體ガ一ツ本氣ニナツテ之ヲ指導シテ貰ヒタイ、其ノ爲ニ警視廳ノ方トモサウ云フコトガアレバ連絡シテ、凡ソ斯ウ云フ狀態デアルト云フコトヲ知ラセテ貰ヒタイ、サウスレバ學校當事

者ヲシテ十分ニ監督セシメルト云フヤウナコトヲ傳達シタコトガアルノデアリマス、尙ホ文部省トシテハ昨年此ノ點ニ付テ特ニ學校ニ示シマシテ、學生ノ風格、品位、抱負等ヲ十分ニ堅持シテ、帝國最高學府ノ學生トシテ恥シカラヌヤウニシナケレバナラスト云フコトヲ申スト同時ニ、文部省ノ者ヲ總動員致シマシテ、各學校又サウ云フヤウナ各歡樂街ヲ視察サセマシテ、其ノ内容ヲ十分ニ承知致シマシテ、更ニ學生ノミナラズ學校ソレ自體ノ施設ニ於テ大イニ考フベキモノガアル、殊ニ私立學校ノ方ニ至ツテハ手ガ届キ兼ねマスノデ、多クノ學生ヲ收容シテ是ダケノ學生ノ休憩所モナイト云フヤウナコトガアリ、官立ノ大學ニ於テモサウ云フコトモアルノデアリマスカラ、是等ノ施設ヲ十分ニシテ、學生ヲシテ安シジテ學校ニ學ビ、又學校ノ餘暇ノ間ニ於テハ、自己ノ教養ナリ或ハ休憩ト云フモノヲ十分ニスルト云フヤウナ方法モ必要デハナイカ、是ト兩方相俟チマシテ斯様ナコトノナイヤウニスルト同時ニ、今御心配ニナツテ居リマスル國家ノ斯様ナ時期ニ於ケル浪費ヲ省キ、各、勤儉ニ努メテ、以テ或ハ公債ノ消化ニ對スル所ノ一ツノ方法ヲ執ルト云フヤウナコトニ付テハ、一段ト一ツ考ヘマ

シテ、十分ニ徹底スルヤウニ致シタイと思ヒマス
○松田委員 私ハ學校行政ノコトハ暗イノデアリマシテ、餘リ其ノ點ノ御答辯ヲ得ヨウトハ考ヘテ居ラナカツタノデアリマスガ、併シ今ノ御説ニ依ツテ成程其ノ通りダトハ思ヒマスガ、昨日カラ私ハ學生ハ學校モ責任アリ、父兄モ家庭モ責任ガアルノデアルカラ、此ノ家庭ノ方ニ少シ反省ヲ促シタラドウカ、斯ウ云フ所カラ御質問ヲ申上ゲテ居ルノデゴザイマス、ソレデアナタハ學生ヲ普通ノ人ト異ツタヤウニ見ヨト言ハレマスケレドモ、ソレハ各部門ニ於ケル國民ハ皆サウ云フ風ニナツテ來ルノデアリマス、ソレト良イ學生モアル、斯ウ言ハレマス、如何ニモ其ノ通りデアリマス、併シナガラ大臣ハ考ヘテ戴キタイ、或ル一ツノ團體ガアツテ、例ヘバ百人、二百人ノ團體ガアツテ、其ノ中ノ一人ガ惡イコトヲシタラ、其ノ團體全部ガ惡イヤウニ人ハ皆言フデハアリマセヌカ、ソレハ他ノ事例ニ付テ御考下サイマスト能ク分ル、ソレデスカラ今ノ良イ人モアルト云フノハ當然デハアリマセヌカ、時局ヲ解シテ眞面目ニ勉強シ、節約モシテ家庭ヲ顧ミテ居ルト云フノハ、是ハ當然ダト思ヒマスカラ、私ハ其ノ

當然ノ所ハ言ハナカツタ、サウ云フ風ナ所カラ見テ、私ハ文部省ノ方ノアナタガ、今申サレル學校ノ改革ニ付テノ御意見ハ敬服ハ致シマス、ケレドモ其ノ當時ハ五千人位ノ學生ガ檢舉サレタ、今抗議ヲ申込シダノデハナイ、一寸シタ所デ茶ヲ飲ンデ居ツタノヲ一緒ニヤラレタカラ、ソレヲ言ツタノダ、斯ウ言ハレマスケレドモ、ソレモアツダデセウ、ケレドモ其ノ交渉ガアツテカラ又千人バカリ檢舉サレタ、ダガソコノ經緯ハ詳シク申上ゲマスト、却テ時局ノ爲ニハナリマセヌカラ、私ハ申上ゲマセヌガ、國民ハ此ノ覺悟ヲ致シテ居ル、軍人ハ戰地ニ出テ鐵砲ノ彈丸ノ的トナツテ外敵ト戰フ、内地ニ殘ツテ居ル國民ハ、此ノ經濟戰ト血ヲ見ルガ如キ戰フ爲シテ居ル、之ニ依ツテ此ノ公債ヲ消化シテ行カナケレバナラス覺悟ヲ持ツテ居ル、外ニ出テ戰フカ、内ニ居ツテ此ノ經濟戰ト戰フカ、等シク此ノ事變ノ戰鬪員デアルト云フ覺悟ヲシナケレバナラス、願クハ文部省ノ各位ハ茲ニ意ヲ用ヒラレテ、將來國民ガ此ノ公債ヲ消化スル上ニ、學生ノ振舞等ニ依ツテ一般國民ニ惡影響ヲ及ボサヌヤウニ御監督遊バサレンコトヲ意見トシテ申上ゲマシテ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○板谷委員長 森幸太郎君

○森委員 文部大臣御忙シイ所デセウガ、
簡單デアリマスカラ一寸……

○板谷委員長 ドウカ簡單明瞭ニ要領ダケ
御質問願ヒマス

○森委員 國民體力ノ向上ニ付キマシテ、
極ク簡單ニ要領ダケ申上ゲテ御尋ヲ致シタ
イト思ヒマス、日滿支三國ガ將來手ヲ握リ
合ツテ進ムコトハ勿論デアリマスガ、此ノ
場合ニ於キマシテ考ヘネバナラスノハ、我
ガ國民ノ體力デアリマス、申スマデモナク
支那ヘ參リマスレバ、水ガナイ、風呂ヲ沸
カシテ體ヲ洗フコトサヘ殆ド出來ナイ、サ
ウシテ生魚一ツ食ヘナイ、洵ニ河水ノ汚イ
風土ニナツテ居リマスカラ、今マデ滿洲ヘ
移民ヲ獎勵致シマシテモ、移民ガ直チニ病
氣ニナルト云ツテモ宜イ程ニ、日本人ノ體
力ガ弱イト云フコトハ、滿洲デモ聽カサレ
ルコトデアリマス、今日日本ノ學生ニ對シ
テノ體育方針ニ付キマシテハ、今後大陸ニ
進出スルニ對シテノ十分ナル用意ガアルカ
ドウカ、今日マデノ體育方針ヲ改メラレル
必要ガアリハシナイカト云フコトヲ私考ヘ
ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ、
文部省ノ御考ノアル點ヲ第一ニ承リタイノ
デアリマス、次ニハ將來大陸ニ進出致シマス

ニ付キマシテ、彼等ノ言語ヲ通ジテ民族性
ヲ知ルト云フコトガ最も必要ト思フノデア
リマス、今日マデ支那語、滿洲語ト云フモ
ノガ普通教育、一般ノ小學教育ノ中ニ於テ
モ看過サレテ居ツタ、殆ド問題視サレテ居
ラナカツタコトガ、今回ノ事變ニ非常ナル
影響ヲ及ボシテ居ルヤウニモ考ヘサセラレ
ルノデアリマス、近ク高等商業學校ニ支那
語科ノ新設ヲ見タ所モアルヤウニ聞イテ居
リマスガ、此ノ支那語ノ研究、滿洲語ノ研
究ト云フコトヲ、ドウ云フ風ニ文部省ハ考
ヘテ居ラレマスルカ、此ノ二點ニ付テ御方
針ヲ承リタイ

○荒木國務大臣 體位向上問題ニ付テハ、

一方カラ今ノ體育施設ニ關シテ根本ニ考ヘ
直ス必要ガアラウト思ヒマス、例ヘバ體育
協議會ノ如キ、又今日マデ行ハレテ居ル點
ニ付テハ、勤務時間、休養、サウシテ體育ヲ
順調ニ進メテ行クト云フコトニ付テハ、餘
程考ヲ要スルト思ツテ居リマス、之ニ付
テハ今頻リト體育關係ノ方デ以テ研究中デ
アリマス、殊ニ支那ハ地方ニ依ツテ、北支、南
支デ風土ガ非常ニ變ツテ居リマス、殊ニマ
ラリヤデアルトカ、其ノ他ノ寄生蟲ノ如キ
モノガアルカラ、是ニハ如何ニ對シテ行ケ
バ宜イカ、是ハ體育ト云フヨリモ、別ノ方

ノ大陸ニ活躍スル問題トシテ考ヘテ居リマ
ス、是ハ今考ヘテ居リマスノデ、何レ其ノ
中成案ヲ得ルコトデアラウト思ツテ居リマ
ス、ソレカラ第二ノ語學ノ問題ハ、取敢ズ
高等商業ノ二校ニ支那語科ヲ設ケテ生徒ノ
募集モ多クシテ居リマス、又外國語學校ノ
支那語科ノ生徒モ増員シテ募集ヲスル、又
漢文モ單ニ過去ノ漢文デナクテ時文ヲ之ニ
入レル、其ノ他今後サウ云フ方面ニ對シテ
活躍スル基礎ヲ作ル爲ノ、語學トシテ八十
分ニ考ヘテ居リマス、只今ノ所其ノ位ノコ
トヲヤツテ居ルノデアリマス、御諒承ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○板谷委員長 引續イテ山崎君ニ質問ヲ許
シマス——山崎君

○山崎委員 今ノ農村人口移動統計ニ付テ

材料ガアルト仰シヤツタノデアリマスネ

○小濱政府委員 一部分的ノモノデアリ
マス

○山崎委員 私ハ部分的ノモノデナク、總
體的ノモノガ欲シイト思ツテ居リマス、

——大體今政務次官カラ私が申上ゲタコト
ニ付キマシテ同感デアル、勿論當局ニ於キ
マシテモ其ノ重大性、必要性ヲ篤ト御考下
サツテ、對策ヲ考究中デアルト云フ風ナ言
葉デアツタト思ヒマスガ、勿論サウデナク

レバナラナイ、併シナガラマダ今ソレヲ考
究中デアルト云フヤウナ生溫イコトデハイ
ケナイト思ヒマス、我國ノ人口ノ源ヲナス
ノハ農村ナノデアリマス、農村ノ生産率ガ
少クナルト云フコトハ、國家ニ取ツテハ一
大事ナノデアリマス、特ニ又長期戰ニ、長
期建設ニ取リマシテ、斷ジテ忽セニスルコ
トノ出來ナイ大キナ問題デゴザイマス、ソ
レガマダ統計ガ取レナイト云フヤウナコ
トハ、是ハ以ノ外ダト思ヒマス、此ノ點ハ
重ネテ申上ゲマスガ、直チニ十分ナ調査ヲ
御願シタイト思ヒマス、更ニ此ノ問題ニ付
キマシテ既ニ當局モ御言明ガゴザイマスシ、
其ノ事ヲ痛感致シテ居ルト云フ御言葉デゴ
ザイマシタガ、此ノ數ハ今聽カスコトニ致
シマシテモ、出產率ガ段々少クナツテ居ル
ト云フコトハ、明カナ事實デゴザイマスマ
ス、偕テ之ニ對スル所ノ對策ヲドウ云フ工
合ニ御考ニナツテ居ルカ、是ハマダ考ヘテ
居ラナイト云フヤウナコトデハ、國家ノ指
導者トシテ濟マナイト思ヒマス、出產率ガ
少クナツテ居ルト云フコトハ明カナ事實デ
ゴザイマシテ、此ノ具體的ノ問題ニ付キマ
シテ、ドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラルルカト
云フコトヲ、明確ニ聽イテ置キタイト思ヒ
マス、ソレカラ先程モ政務官ガ御話ノ如ク

ニ、軍需工業、都市産業ノ爲ニ段々ト農村ノ人口ガ都會ヘノト移出サレテ居ル、平和産業時代ニ於キマシテモ、人ノ母體トナルベキ娘ハ殆ド紡績ヘ、或ハ織婦ヘト云フヤウナ工合ニ特立テラレマシテ、衛生状態ガ段々惡クナツテ、健康地帯デアツタ所ノ農村ヘ、最近ハ段々ト肺患者ガ出テ來ル、之ニ對シテハ既ニ平和産業時代ニ對策ガ立テラレテ居ル筈デゴザイマスガ、最近ハソレガ女ノミデハナクシテ、男ノ方面マデ影響シテ來テ居リ、是ハ爭ヘナイ事實デアリマス、軍需工業ト云フ慣レナイ仕事ノ爲ニ特立テラレマシテ、サウシテ今マデ得タコトノナイ高額ノ賃銀ガ得ラレル、其ノ高額ノ賃銀ガ直チニ農村ヘ廻サレルカト言ヘバサウデヤナイ、一部分ハ廻サレマセウケレドモ、今マデ持ツタコトノナイモノヲ持ツタト云フ嬉シカラ、段々ト遊里ニ足ヲ踏入レル、女ヲ買フ、酒ヲ飲ム、博奕ヲ打ツト云フヤウナ工合ニナリマシテ、健康體デアルベキ農村ノ人間ガ、段々身體ヲ惡クシテ來ル、是ハ既ニ御存ジノコトト思ヒマス、舊ニ都市ニ働キニ行ツテ居ル人達ノ健康ヲ害スルノミデハアリマセス、偶ニ歸ル時ニ病氣ヲ持ツテ歸ル、花柳病ヲ持ツテ歸ル、ソレガ又村ヘ植付ケラレルト云フヤウナ狀

態デゴザイマス、是等ニ對シマス所ノ對策ガ立テラレナケレバナラナイト思ヒマス、其ノ働キニ行ツテ居ル人間ノ身體ヲ壞スバカリデナクシテ、農村ニ居ル所ノ母體ヲ損フト云フコトニナリマシテ、ドンノ國民ノ體位ガ低下シツツアル、是ハ長期戰ノ爲ニモ、長期經濟戰ノ爲ニモ、斷ジテ忽セニスルコトハ出來ナイ重大問題デゴザイマス、今政務官ノ御言葉ニ依リマスレバ、日本ハ金ヲ得ナケレバナラナイ、其ノ金ヲ得ルガ爲ニ色々ノ事業ヲヤツテ、農村モ一部ノ責任ヲ負ハサレマシテ、農村ノ人間ガ働クヤウニナル、農村ハ農村ノ勤ヲスルバカリデナクシテ、更ニ金ヲ得ルガ爲ノ勤メヲスル、現在ニ於キマシテハ軍需産業ノ勤メヲシテ居リ益々農村ノ健康ト云フモノハ、大切な中ノ最モ大切ナモノデナケレバナラナイ、私ハ今議會ニ入リマシテ、本會議、豫算委員會、各分科會ノ論議ヲ承ツテ居リマス、此ノ議會程物ヲ大切ニセヨト云フコトノ叫バレタ議會ハゴザイマセス、所ガ人的素質ニ對シマシテハ、議員ノ間ニモ非常ニ質問ガ低調デアアル、又政府當局ニ於テモ人的基礎ヲ築クガ爲ノ研究ガ爲サレテ居ラナイ、洵ニ遺憾ナコトデアルト思ヒマス、我國ノ人間ノ源デアアル所ノ農村ニ

對シマシテ、今御答ノアリマシタ如クニ、出產ノ統計ガ出來テ居ラナイ、増減ノ統計ガ出來テ居ラナイト云フコトデ、此ノ一點ヲ聽キマシタケデモ、政府ノ、人ニ對スル政策ノ無能振リヲ明ニ窺フコトガ出來ルト思フノデアリマス、私ハ此ノ議會ノ當初カラ今日マデヲ通ジマシテ、體位ノ問題、人ノ整備ニ對スル問題ガ餘リニ叫バレテ居ラナイコトヲ、國民ニ對シテ洵ニ申譯ナイコトデヤナイカト云フ工合ニ考ヘテ居リマス、斯様ナ諸點ニ付キマシテ、重ネテ何等カノ對策ガアルカ、御聽カセガ願ヒタイ、更ニ漁村ニ對シマスル所ノ對策トシテ、漁村ノ重油ノ統制ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、今マデノヤウナ工合ニ、櫓デヨチヨチト船ヲ漕イデ、沖ヘ行ツテ魚ヲ獲ルト云フヤウナコトガ出來ナクナツテ、殆ド發動機ヲ備ヘマシテ、遠イノ大海ヘ出テ行ツテ漁ヲシテ居リマスガ、其ノ油ヲ段々ト制限セラレマシテ、一ト月ニ何日ト云フヤウナ日ニチシカ出ルコトガ出來ナイト云フヤウナ現状デゴザイマス、漁村ノ其ノ狀態ハ既ニ當局モ御存ジノコトト思ヒマス、是等ニ對スル所ノ對策ガドウ云フ工合ニ練ラレテ居ルカト云フコトヲ重ネテ承リマス

○松村(謙)政府委員 御話ノ人的ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ非常ニ重大ナコトデアリマス、色々ノ御意見ヲ承リマシテ、私ノ方ニ尙ソレ等ノ調査ガナイト云フコトニ付テ御叱リヲ蒙ツテ居リマスガ、實ハ此ノ問題ハ厚生省ノ所管デゴザイマシテ、先刻此處ニ厚生省ノ政務次官モ來テ居ラレマシタケレドモ、今席ニ居ラレマセヌカラ、改メテ厚生省ノ側カラ詳細ナ御答ヲ申スコト存ジマス、唯私ノ方ハ如何ニシテサウ云フ風ニ減ツタ人口ヲ以テ、生産ヲ維持スルカト云フコトニ苦心ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラソレ等ノ點ニ付テ私共ハ決シテ外ノ省ノ所管デアアルカラ無關心デ居ル、責任ガナイト云フヤウナ風ニハ決シテ考ヘテ居リマセヌゾデ、是等ノ點ニ付テハ相當ニ苦心ヲ致シテ居リマス、出產ノコトニ付キマシテモ、是ハ厚生省ト雖モ此ノ問題ダケハ中々對策ハナイト思ヒマスガ、軍部ノ方ニ於キマシテモ、事變ノ初メカラ行ツテ居ル人達ヲ續々今農村ニ歸ヘシテ居リマスカラ、是等ノ人ハ戰爭カラ歸リマシテ、又普段ノ家事ニモ勵ミ、子孫ニ對スル務モ致スコトト思ヒマス、ソレカラ農村ノ人ガ工場ヘ吸收セラレテ、其ノ爲ニ農村ノ衛生狀態ナリ、思想ナリガ惡クナル、贅澤ニモ流レルト云フ御注意ハ御尤デアリマシテ、

私共ハ其ノ點ニ付テ非常ナ心配ヲ致シテ居
リマス、農村ノ健康ガ其ノ爲ニ非常ニ惡ク
ナル、或ハ思想的ニモ、生活的ニモ、非常
ニ荒シテ來ルト云フヤウナコトガ、アツテ
ハナラヌト思ヒマシテ、私ノ方ト致シマシ
テハ、工場ニ出ル人ハ已ムヲ得マセスガ、
是カラハ經濟的ニモ、思想的ニモ、衛生ノ
上ニ於テモ、所謂村ヲ固メロ、斯ウ云フ方
針ヲ以テ運動ヲヤツテ行キタイ、斯ウ云フ
積リデヤツテ居リマス、今日マデノ農村ノ
系統ハ、頭ハ大體非常ニ能ク整備シテ參リ
マシタガ、其ノ末端デアル農村ノ個々ニ入
リマス、自分等ハマダ完全トハ思フテ居
マセス、即チ先ヅ村ヲ治メロト云フ考ヘ方
デ行ツテ、ソシテ其ノ村ヲ治メロト云フコ
トハ、生産、經濟、衛生、其ノ他總テヲ含
ンダモノトシテ村ヲ固メテ戴キタイ、斯ウ
云フ風ニ考ヘテ居リマス、今度ノ豫算ノ中
ニモ、農林計畫委員會ト云フモノヲ村々ニ
置キマシテ、サウシテ生産其ノ他ノコトノ、
村ヲ固メル一ツノ寄り合ヒヲ作ルト云フコ
トニナツテ居リマス、是ハ前内閣ノ時ノ豫
算デアリマシタガ、私共ハ其ノ使ヒ方ニ付
キマシテハ深甚ノ注意ヲセネバナラスト思
ヒマスケレドモ、大體ノ農村ニ對スル行ク
途ニ付キマシテハ、前内閣ノソレニ對スル

考ヲ踏襲致シマシテ、最善ノ效果ヲ擧ゲタ
イト存ジテ居ル次第デアリマス

○山崎委員 只今政務次官ノ御言葉ノ出產
ノ問題、或ハ人口ノ移動ノ問題、是ハ大體
厚生省ノ所管デアアルト云フヤウナ御言葉デ
ゴザマイシタガ、併シソレニ加ヘラレマシ
テ、厚生省ノ所管デアルケレドモ、強ヒテ
ソレヲ回避スルノデハナイ、ソレデ大體諒
解行キマスケレドモ、勿論政府當局デア
ル限リハ、萬端ノコトニ十分ノ御研究ガ爲サ
レテ居ラネバナライ、特ニ私ガ今御尋シテ
居ルノハ、農村ノ人口ノ移動、出產率ノ問
題デゴザイマスガ、是ハ厚生省デナクテモ、
農林省ニ於キマシテ十分ノ御調査ガアツテ
然ルベキモノデアアルト思ヒマス、モウ一ツ、
御答辯ヲ戴キマセナンダガ、漁村ノ問題ニ
付テデゴザイマスガ、是ハ後、便宜シウゴザ
イマスカラ、御聽キシタイト思ヒマス、更
ニ御尋シタイト思ヒマスノハ、今政務次官
ガ、村ヲ固メヨ、先ヅ村ノ建設ヲセヨ、勿論事
變下ノ今日ニ於テ當然ノコトデアアルト思ヒマ
ス、爲サネバナラストデアアルト思ヒマス、
大イニ是ハヤツテ戴キタイ、併シ長期戰、長
期經濟建設ト云フコトニ付キマシテハ、過般ノ
本會議、委員會デ色々聽カサレテ居リマス
ガ、又國民モ此頃ハ最早覺悟シテ居リマス、

相當ニ長イ間頑張ラネバナライト云フコ
トヲ覺悟シテ居リマス、併シ其ノ根幹トナ
ルベキモノハ勿論、物デモアリマセウケレド
モ、併シナガラ私ハ人デアアルト思ヒマス、
物ハ何トカ工面ヲシテ外國カラ買フコトモ出
來マセウシ、隣國カラ或ハ同盟國カラ融通
ヲ受ケルコトモ出來マセウ、併シナガラ人
ハ借リルコトハ出來マセス、人ヲ殖ヤスコ
トニ全力ヲ注ガネバイケマセス、此ノ點ハ
大イニ考ヘテ貫ハネバイカヌコトデゴザイ
マスガ、他ニ私ガ御尋シキイト思ヒマスコ
トハ、村ヲ固メルハ結構ダガ、村或ハ部落
ト致シマシテ、段々ト重工業ニドシ／＼ト
喚ビ出サレ、驅立テラレル、併シナガラ
此ノ村ヲ維持スルノニハ是ダケノ人間ガ要
ル、是レ以上出シテハイケナイト云フ所ノ
大體ノ方針ガ立ツテ居ラネバイカヌト思ヒ
マス、是ダケノ人間ハ此ノ村ニ置カナイコ
トニハ、此ノ村、此ノ部落ノ維持ガ出來ナ
イ、斯ウ云フヤウナコトハ、モウ儼然ト立
テ行カネバイカヌト思ヒマス、ソレガ出
來テ居ラスト思ヒマス、聽イテ見マスノニ
今マデハ出レバ出ル儘ニ、入レバ入ル儘ニ
シテ居ル、是ハ平時デアツタソレデ宜シ
ウゴザイマセウ、併シナガラ斯様ナ時期ニ
於キマシテハ、其ノ區劃ガ完全ニ出來テ居

ラネバイカヌ、計畫的ニ出來テ居ラネバイ
カヌト思ヒマス、直チニ是ハ立テテ戴キタ
イト思ヒマスガ、更ニ斯ウ云フヤウナコト
ニ付テ御考ニナツタコトガアルカト云フコ
ト、ソレカラ更ニ馬ニ對シマシテモ、牛ニ
對シマシテモ、此ノ村ニハ何頭ノ馬ガ必要
デアアル、此ノ村ニハ何頭ノ牛ガ必要デア
アル、斯様ナ點ニマデ長期戰ニ對處シマスノニハ
整備ガ出來テ居ラナケレバイカヌト思ヒマ
ス、計畫ガ出來テ居ラナケレバイカヌト思
ヒマス、斯様ナ點ニ付キマシテ、今一應御
尋シテ見タイト思ヒマス

○松村(謙)政府委員 先程ノ御答ニ漁村ノ
問題ヲ取落シマシタカラ、御答ヲ致シマス
ガ、實ハ農漁山村ト申シマスガ、今日ニ於
テハ漁村ノ問題ガ一等困難デアリマス、之
ニ對スル對策ハ餘程ノ苦心ヲ要スル所デア
リマス、漁村ノ壯丁ト云フモノハ農村ノ壯
丁ト違ヒマシテ、女子供デ代ツテ直グ間ニ
合フト云フ譯デアリマセヌノデ、漁村ノ
生活ノ上、漁獲物ノ維持ノ上カラ言ツテ、
相當ナ問題デアリマス、殊ニ又發動機船ガ
軍事ノ用ニ供セラレ、石油ガ足リナイト云
フコトデアリマスノデ、其ノ點ニ付テハ洵
ニ苦心ヲ致シテ居リマス、ソレデ今日最善
ノ努力ヲ致シテ居リマスガ、ヤリ方ト致シ

マシテハ、發動機船ガ微發セラレタ爲ニ船ガ足リマセヌカラ、ソレデ之ヲ共同シテ最モ有效ニ使フ、甲ノ船ハ取ラレテ乙ノ船ハ殘ツテ居ルトスレバ、甲ノ者ハモウ漁獲ガ出來ナイト云フコトデハ共存共榮ニナリマセヌカラ、一ツノ漁船ヲ共同シテ其ノ村デ出來ルダケ使ハセル、ソレニ對スル石油モ出來ルダケオ世話シマシテ、統制ノ中デハアリマスケレドモ、商工省アタリニモ掛合ヲシテ、出來ルダケハ分配ヲ取リマシテ漁獲ニ使ヒタイ、斯ウ云フコトデ今日ヤツテ居リマス、決シテ十分トハ言ヘマセヌケレドモ、今日ノ事態ニ即應シデハ、先ヅ人力ノ限リヲ盡シテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、此ノ點ハ左様御承知ヲ御願致シタイと思ヒマス、ソレカラ人間ノ資源ニ關スル計畫的ノコトヲヤツテ居ルカト云フ御質問デアリマスガ、是ガ今日ノ農村問題ノ根幹ダト私ハ考ヘテ居リマス、即チ從來ノ農村疲弊ノ原因ハ數多アリマスケレドモ、農村ニ於ケル人口ノ過剩ト云フコトガ、其ノ最大ノ原因デアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、人口ガ多クテ耕地ガ少イト云フコトガ抑ノ問題デアリマスガ、ソレヲ農業經營方法ヲ變ヘマシテ、サウシテ今日人ガ足ラナクナツタカラ、ソレデ出來得ル限リ農業經

營方法ノ改善ニ依ツテ、少イ人デ多クノ耕地ヲ耕ヤシテ生産ヲ維持増進スルコトガ出來ルト云フヤウニ、此ノ機會ニ方法ヲ變ヘマシテ、サウシテ、農村カラ出テ行ク人口ヲ、先刻申シタヤウニ、計畫的ニ出シマシテ、此ノ村ニハ此ノ位ノ人口ガ適當ダト、サウシテ一戸當リハ此ノ位ノ耕地ヲ持タセラルコトガ必要ダト云フ根本ノ計畫ヲ立テテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマシテ、今後ノ村ヲ固メルニ付キマシテノ要素ハ、其ノ點ニアリマス、サウシテソレ等ノ村ヲ離レル人ノ土地ハ、地主ダノ其ノ他ニ資本的ニ兼併セラレルト云フコトハ斷ジテ避ケマシテ、サウシテ自作農ヲ創定シテ、ズツト耕地ヲ均分のニ分ケテ農民ノ基礎ヲ作りタイ、斯ウ云フ風ニ進ム考ヲ持ツテ居リマス、是ハ是カラ相當計畫的ニヤツテ行ク考デ居リマス

○板谷委員長 此ノ際諸君ニ御願ガアリマスガ、マダ質疑ノ通告者モ相當アリマスノデ、各案ニ對スル直接ノ御質問ニ對シテハ、徹底的ニヤツテ戴クコトハ勿論デアリマスガ、關聯事項ニ對スル御質問ハ、成ベク簡單明瞭ニ一ツ要領ヲ御質問アラシコトヲ希望致シマス、暫時休憩致シマシテ午後二時ヨリ再開致シマス

午後零時一分休憩
午後二時十三分開議

○板谷委員長 引續キ會議ヲ開キマス、山崎君ニ申上ゲテ置キマスガ、實ハ政友會側ノ田中源三郎君ハマダ初メテノ御質問デアツテ、是ハ保留サレテアルノデアリマス、デアリマスカラ大藏大臣ガ御出席ニナリマスマデ、其ノ間農林省關係ノ御質問ヲ繼續シテ戴イテ、大藏大臣ガオ出デニナツタラ中途デ止メテ御譲リヲ願ヒタイと思ヒマスガ、ソレヲ豫メ御承知置ヲ願ツテ置キマス——山崎君

○山崎委員 先程ノ私ノ質問ニ對シマシテ、政務次官カラ縷々御答ヲ戴イタノデアリマスガ、マダ十分満足スル所ニ達シマセヌ、ト申シマスノハ、私ガ午前中ニ御尋致シマシタ要點ハ、國家全體カラ考ヘマシテモ、亦農村自體ヲ考ヘマシテ、將來ノ爲ニハ根幹ヲ成スモノデアルト確信ヲシテ居リマス、御尋シマシタヤウナ斯様ナ重要ナ點ニ根本基礎ヲ置カレマシテ、研究ヲ積マレマシタ上ニ、總テノ施設、政策ヲ立テテ行カネバ、國民ガ安心スルコトハ出來ナイノデハナйка、斯ク考ヘマス、國家全體ノ人口ノ増殖問題、ソレニ對スル所ノ體位ノ向上、是ハ

午前中ニ申上ゲマシタ如ク、物ハ何カノ方法ヲシテ得ルコトガ出來マセウ、ケレドモ優レタ人間ヲ得ル、健康ナ人間ヲ得ルト云フコトハ、一朝一夕ニ中々出來ルコトデハゴザイマセヌ、是ハ長年ノ不動ノ決意ノ下ニ、計畫的ニ進シテ行カネバナラヌ問題デゴザイマス、今度ノ議會ヲ通ジマシテ全體ヲ見タ時ニ於テ、私ハ其ノ點ヲ洵ニ遺憾ト致シテ居リマス、特ニ我國ノ健康ナル人體ヲ造ル所ハ農村デゴザイマス、我國ノ全都市ヲ見渡シマシタ時ニ、ドノ都市ニモ是デ満足スルト云フ人間ヲ造ルコトハ出來ナイ、幸ニ農村ニ於キマシテハ立派ナ人間ヲ造ル所ノ總テノ要素ガ備ツテ居リマス、其處デ生レル人間ノ増減ノ狀態ヲ、當局ガ御調査ナサツテ居ラナイト云フコトハ、返ス返スモ遺憾ナコトデアルト云フコトヲ、繰返シテ申サザルヲ得ナイノデアリマス、是ハ當局モ御誓ニナリマシタ、十分調査研究ヲシテ計畫的ニ進ムト仰セラレマシタノデ、是レ以上私ハ追究シマセヌケレドモ、他面ノ問題ト致シマシテ御答ニ與リマシタ節モアリマスケレドモ、マダ尋ネタ中ニ御答ヲ戴カナイ所ガゴザイマス、ト云ヒマスノハ、段々少クナル所ノ出生率ヲドウ云フ工合ニシテ補フカ、其ノ方法ヲ考ヘラレテ居ルカ

ト云フ點、モウ一ツハ都市へ都市ヘト吸收セラレタ所ノ農村ノ男女人口、是ガ段々歸村ヲシマシタ時ニハ、病氣ニナツテ歸ツテ行ク、不健康體ニナツテ歸ツテ來ル、或ハ肺病ニナリ或ハ花柳病患者ニナルト云フヤウナ工合ニナツテ歸ツテ來ルコトハ、否定ガ出來マスマイ、之ニ對スル所ノ對策ハ考ヘテ居ラレルカドウカ、方法ガ講ゼラレテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ御聽シタイト考ヘマス

○松村(議)政府委員 只今ノ出産ノ問題ニ付キマシテハ、御趣旨ハ至極同感デアリマシガ、此ノ出生率ノ減少ヲ防イデ、優秀ナ次代ノ國民ヲ造ルト云フコトハ、是ハ中々困難ナコトデアリマシテ、今日農村ニ結婚ヲ特ニ獎勵スルト云フヤウナコトモ、一面カラ言ヒマスト相當ニ考慮ヲセネバナラス問題モアリマシ、ドウモ他ノ問題ト違ツテ、出産ノ問題ニナリマスト餘程巧クヤリマセスト、其ノ實效ヲ期シ難イモノガアルト思ヒマス、此ノコトハ大體厚生省ノ關係デアリマシテ、私カラ御答スルコトハ不適當カトモ存ジマスケレドモ、農村ノ衛生、健康ノ保持ニ付キマシテハ、厚生省ニ於テモ相當ニ考慮ヲシテ居ラレルヤウデアリマス、戰時ニナリマシテ無醫村ガ段々殖エテ

參リマシテ、是等ニ對スル手當モシナクテハナリマセヌ、隨テズツト斯ウ云フ地方ニ互ツテ健康相談所、若クハ無料ノ診療所ト云フヤウナモノヲ、農村ニ相當ニカラ盡シテヤツテ居ルヤウデゴザイマス、是ハ主管ガ違ヒマスカラ、厚生省ノ方カラ申上ゲルコトデアリマスケレドモ、サウ云フ意味ニ於テ相當ニ衛生、健康ノ問題ニ注意ヲシナクテハナラスト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ、之ニ關聯シテ榮養ノ問題デアリマシガ、榮養ノ問題ニ付キマシテモ、近頃ハ農村デ鯛ヲ食フコトヲ獎勵スルト云フ運動ナシカガ、相當ニ起ツテ居リマシテ、吾々ハ大變良イ傾向ダト思ツテ、是モ助長シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ今朝御質問ノ中ニ御答ヲ申上ゲマセヌデシタガ、馬ニ付キマシテハ、是ハ農耕地ダケノ事情ニ依ツテ、馬ノ數ヲ決メタル譯ニハ行キマセヌデ、軍用ノ關係ガアリマスカラ、今日本會議議案提案致シマシタアノ軍用馬ノ資源ノ保護ノ問題、法律其ノ他ニ依ツテ農村ノ必要ト合セテ、軍需ニ供スル爲ニ相當ノコトヲ致シタイト思ヒマス、豫算モ相當ニ取ツテ居リマス、牛ハ軍需ノ問題ヨリモ食糧ノ問題ヲ解決スル爲ニ、約八十万頭位ノ増産計畫ヲ立テマシテ、是モ今度ノ議會ニ

豫算ヲ要求致シテ居ルヤウデアリマスカラ、ドウゾ御協賛ヲ願ヒマス

○板谷委員 大藏大臣ガ出デニナリマシタガ、山崎サン、アナタノ農林關係ノ質問ハ是デ宜シウゴザイマスカ——アナタノ質問ノ切リヲ付ケマセウ、簡單ニ願ヒマス

○山崎委員 マダ數點ニ互リマシテ御聽キシタイト思ヒマスケレドモ、同僚議員ノ質問モマダ澤山アルヤウデゴザイマスシ、委員長カラノ御注意モゴザイマスルノデ、モウ一點ダケ御聽キシタイト思ヒマスガ、今馬ノ問題ヲ御答戴キマシタガ、左様ナ計畫ガ立テラレテ居ルト云フコトハ、當然ノコトデアルト思ヒマス、今馬ヲ戰爭ノ爲ニ次カラ次ニ徵發ヲサレマシテ、農村ト致シマシテハ人間ガ少クナルガ爲ニ、其ノ代リノ馬ヲ買ハナケレバイケナイ、此ノ代リノ馬ガ品ガ少イガ爲ニ段々高クナル、此ノ問題ニ付テハ非常ニ農村ガ困ツテ居ルト云フ實情ヲ御存ジノコトト思ヒマスガ、之ニ對シマシテハドウ云フヤウナ方法ガ執ラレテ居ルカト云フコトヲ御聽キシタイ

○松村(議)政府委員 御話ノ通りデアリマシテ、相當此ノ馬ノ問題ニ付キマシテハ農村ガ困リマスルシ、ソレカラ後カラ後カラト値段ガ高クナリマシテ、補充ガ付キ兼ねル

狀態モアリマス、之ニ付キマシテハ各府縣ト連絡ヲ執リマシテ、各府縣デ所要ノ馬ヲ纏メテ買ツテ分配ヲ致シマスツカ、相當ノ手段ヲ執リマシテ、今日デハ大體是マデノ過程トシマシテハ、今御話ノヤウナ色々ナコトガアリマシタケレドモ、只今ノ所デハ先ヅ配給ハ圓滑ニ行ツテ居ルト云フヤウニ承ツテ居リマス、ソコデ今度馬政計畫ニナリマスガ、此ノ内容ハ、數ナドハ一寸申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、尙ホ素質ハ十分デハアリマセヌケレドモ、農村ニアリマス馬ノ數ハマダ相當ナ數ヲ保有致シテ居リマス、之ニ優秀ナル馬ヲ配合致シマス、數年ナラズシテ相當耕馬ニモ役立チ、運送ナドニモ役立ツ馬ガ出來ルト思ヒマシテ、軍事上ノ必要ト相俟ツテ、農村ノ勞力其ノ他ニモ間ニ合ヒ得ルト思ツテ居リマス、現在保有シテ居リマス馬ノ數モ、戰地ヘハ行ツテ居リマスケレドモ、併シ其ノ保有量ハ相當ナモノヲマダ持ツテ居リマス、其ノ數ハ此處デ申上ゲ兼ねマスケレドモ、御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山崎委員 私ノ御尋セント致シマスコトハ、マダ統計上ニ互リマシテモ御聞キシタイノデゴザイマスケレドモ、何カノ機會ニ又御尋スルコトニ致シマスガ、最後ニ午前

中來御尋ヲ申上ゲマシタコトハ、最モ大切ナル人的資源デゴザイマスノデ、是ハ誓ツテ計畫的ニ實行シテ戴キタイト云フコトヲ最後ニ申述べマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○田中委員 大藏大臣ハ本會議ニ於キマシテ、或豫算總會ニ於キマシテ、或ハ分科會ニ於テ、又當委員會ニ於キマシテモ、屢、財政ノ方針ト云フコトニ付テ、今後ノ行キ方ニ付テ御説明ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、ドウモ一ツ私共ノ頭ニハツキリト、今後日本ノ財政ハドウ云フ風ニ行クノデアラウカ、日本ノ財界ハ今後ドウ云フ風ニナツテ行クノデアラウカト云フコトノ見透シガ、ハツキリマダ付カヌノデアリマス、恐ラク國民全體モドウ云フ風ニ歩ンデ行クノデアラウカト云フ風ハ心配ヲ持ツテ、眺メテ居ルト言ヒ得ラレト思フノデゴザイマス、本日屢、同僚各位カラ財政政策ニ付テ、大藏大臣ニ御質疑ガゴザイマシタケレドモ、今日私ガ御尋申上ゲマシタコトハ即チ國民ガ今後政府ニ協力致シマシテ、サウシテ出來得ルダケ早く帝國ノ財政ノ上ニ於テ基礎ヲ固メテ行クヤウニ、協力ヲシテ行クト云フ意味デ御尋ヲ申上ゲテ居ルノデゴザイマシテ、私ガ申上ゲマスコトニ對スル御答ハ、委員

會ヲ通ジテハツキリト國民ガ今後ノ日本ノ財界ハ、斯ウ行クモノデアアル、帝國ノ財政政策ハ斯ウ云フ風ニ執ツテ行クノデアアル、之ニ依ツテ國民ハ此ノ自分ノ言ツタ事柄ニツイテ來テ、何物モ抛ツテ協力ヲシテ之ニ進ムノデアアルト云フコトヲ、ハツキリト認識シ得ルヤウナ御答ヲ御願ヲ致シタイノデゴザイマス、大臣ハ同僚各位ノ御質問ニ對シテ御答ニナツテ、何等公債消化ノ上ニ於テ不安ガナイ、少クトモ預金部ニ於テ本年ハ七億五千萬圓ヲ引受ケルコトハ可能デアルト云フコトモ申サレマシタ、成程今日マデノ行キ方ヲ見テ居リマス云フト、民間ニ資金ヲ仰ガズシテ、政府ハ先以テ市場ニバラ撒イテ居ツテ、後カラ之ヲ回收シテ行クト云フヤウナ方法ヲ採ツテ居ラレマスルガ故ニ、現今マデハ少クトモ大臣ノ仰シヤルヤウニ「スムース」ニ歩ンデ來テ居ルデアリマセウ、併ナガラ是カラ先キガ問題デゴザイマス、私共考ヘテ見マスルニ、一昨年七月以來ノ事變公債ノ發行額ハ、過去六十年間ノ發行額ト相匹敵致シテ居ル位ニナツテ居ルノデアリマス、今後ニ於キマシテ出テ參リマス追加豫算——勿論此ノ赤字公債ノ發行或ハ臨時軍事費ノ要求等ガ、皆財源ヲ公債ニ求メルト云ヒマスナラバ、少クト

モ六十億近クノ公債ヲ將來發行シテ行カナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマス、彼ノ歐洲大戰ノ時ヲ見マシテモ、十四億位ノ出超ニシカナツテ居リマセヌガ、今マデハ成程資金ガバラ撒カレタ、丁度國民ノ懷ロニ五十億ノ富ガ出來タト云フコトニナリマスカラ、今日非常ナ好景氣ガ來テ居ルト云フヤウニ考ヘラレル、ソレデアリマスカラ一面ニ於テ大臣ノ仰シヤル通りニ之ヲ日銀ニ求メテ置イテ、先ヅ市場ニ資金ヲ撒布シテ、後カラ之ヲ公債デズツ寄セ集メテ行クト云フコトニナサルナラバ、今日マデハ宜カツタカモ知レマセヌガ、銀行ニシテモ將來ハ段々ト自分ノ預金ト申シマスカ、投資方面ニ付テ殆ド五〇%近ク公債ヲ持タサレテ來ルト云フコトニナツテ來マス、今三分六厘ノ利息ノ公債ニ集中サレテ、之ヲ消化サセテ行クト云フ風ニ大臣ハ御説明ニナツテ居ラレマスガ、サウナツテ行キマス銀行ハ段々手持公債ヲ殖エテ來マス、サウシテ終ヒニハ自分ノ所ノ運用資金ノ殆ド半分以上ハ公債ニナツテシマツテ、銀行ノ方デハ將來商賣ヲヤツテ行クトガ出來ナクナルト思ヒマス、サウナツテ來マス勢ヒ銀行ハ利鞘ノ多イ方ニ向ツテ投資ヲ選ンデ行クヤウニナルノガ必然ダト私ハ思ヒ

マス、其ノ反面ニ於テ御承知ノ如ク、北支ノ開發會社或ハ中支ノ開發會社、内地ノ産業資金或ハ滿洲支那ニ要シマス産業資金ヲ、市場ニ求メテ行カナケレバナラストヤウナコトニナリマス、大臣ハ非常ニ樂觀シテ居ラレルヤウナ——必ズシモ樂觀ヲシナイトハ仰シヤツテ居リマスケレドモ、稍、樂觀シタヤウナ口吻ガ見受ケラレル、私共考ヘテ見マスルト、今内地及ビ日滿支ヲ通ジテ非常ナル産業資金ヲ要求シナケレバナラスト云フ時ニ於テ、臨時資金調整法等モ出テ居リマスケレドモ、一面ニ將來公債ヲ發行シテ行クト云フコトニ付テハ、コラデシツカリシタ心持デ財政計畫ヲ確立シテ、斯ウシテ行クノダト云フコトヲ國民ニ御示ニナルト云フコトデナカッタナラバ、今マデノ御答辯ナリ御説明ニ依ツテハ、マダノ國民ハ其ノ通りデゴザイマスと言ツテ、安心シテ行ク譯ニハ參ラスト私ハ思ヒマス、ソコデ私ハ甚ダ遺憾デゴザイマスルガ、モウ一遍繰返シテ御説明ヲ願ヒタイノデアリマスガ、是カラ先ノ公債ノ消化ハ斯ウ云フ風ニシテ行クノダ、サウシテ從來日本ガ持ツテ居ル公債ト、假ニ將來事變ガ一年續クカ、或ハ一年半續イテ行ケバ、過去ト比較シテ略、ドノ位ナ公債ヲ發行シテ

行カナケレバナルマイト云フ大體ノ推定ヲシテ、是ダケノ所要ノ公債ハ發行シナケレバナラス、既往ノ公債ト合算スルナラバ或ハ將來帝國ガ一年半先ニ二百三十億ノ公債ヲ發行スルコトニナルドラウ、サウ云フ大體ノ目安ヲ立テ、其ノ公債償還ニ對スル方針ヲ確立シテ、之ニ對シテ反面ニ於テハ根本的ノ稅制ノ改革ヲシテ行ク、斯ウ云フシツカリシテ御方針ヲ御立デニナツテ、國民ニ御示ニナルコトガ必要デハアルマイカ、

今マデノ賀屋財政ヲ見テモ、池田財政ヲ見テモ、現大臣ニ至ル三代ノ間ニ於テ事變ハ一年半以上經過シテ居ル、然ルニ將來ノ見透シヲ立テタ確固タル財政政策ト云フモノガ確立シテ居リマセヌ、色々御聽キ致シマシテモ此ノ増稅ハマルキリ利息ヲ拂フ爲ニ行ハレテ居ルニ過ギナイ、之ヲ本當ニ深く深く掘下ゲテ行ツテ、斯ウシタ所ニ日本ノ財政ヲ置イテ行カナケレバナラスノダト云フヤウニ、ハツキリシタ信念ノ下ニ發表サレタ財政政策ト云フモノハ、今日マデ一ツモ私ハ承ツテ居ラスノデアリマス、ソレデアリマスカラ、甚ダ御氣ノ毒デアリマスルケレドモ、大臣ハ將來我ガ帝國ノ財政政策ヲドウシテ行クカ、又根本的ノ稅制整理ヲドウスルカ、大臣ハ來年度ニ於テ稅制整理

ヲ行フト言ハレテ居リマスケレドモ、又來年ニナツタラドウモマダ、今ノ所デハ稅制整理ヲヤルベキ時期ニ達シテ居ラス、斯ウ云フコトノ御答辯ヲ承ルカモ知レナイト思フノデアリマス、此ノ一年半ノ間ニ三代ノ大藏大臣ガ御送りニナツテ居ルノニ、此ノ非常時局ニ於テ帝國ノ財政政策ノ根本ガマダ確立シテ居ナイ、甚ダ是ハ申シニクイコトデアリマスルガ、之ヲ日和見ノ財政デアルト私ハ申シタイ、貿易ノ上カラ考ヘテ見マシテモ、今マデハ輸入ノ上ニ於テ金ノアル時代ハ出シテ行ク、併シ其ノ金ガ段々ナクナルト、輸入ヲ防遏シテ行クト云フヨリ外ニ何等ノ手ガナイ、積極的ニ此ノ事變ガ起ツタナラバ大事變ニナルゾ、百万ノ大軍ヲ動カスカ、二百萬ノ大軍ヲ動カスカ知ラヌガ、サウナツタラ日本ハ容易ナコトデハナイト云フ心構ヘガ、事變勃發ト同時ニ出來、

其ノ反面ニ於テ財政政策ノ上ニ於テ強イ法律ヲ用ヒテモ宜イガ、反面ニハ積極的ナ輸出貿易政策モ採ラナケレバナラス、貿易ノ政策ノ上ニ於テモ今マデ輸入シテ金ヲ拂出シテ居ツタガ、イケナクナツタナラバ其ノ輸入ヲ抑壓シテ行クト云フダケデアアル、一方ニ於テ公債ヲ發行シテ行クナラバ増稅ヲスル、其ノ増稅ハ公債發行ノ利子ダケ位シカシテ

居ラナイ、斯ウ云フヤウナコトデハ洵ニ其ノ場逃レノ財政デアリマシテ、苟モ今日日本ガ立ツカ或ハ非常ナ苦シミニ落ち込シテ行クカト云フコソナ事變ニ對シテ居ツテ根本的ノ財政政策ノ確立ガナイ、之ニ依ツテ何年カ先ニハ日本ノ財政ハ救ハレテ行クノダ、併シ日本ハ非常ニ苦シイノダ、苦シイカラシテ國民ヨ此ノ通りニ辛抱シテ行ケト言フナラバ、何時デモ大増稅ハ出來マス、即チ稅制ノ大改革ハ茲ニ行ハレルノデアリマス、國民ニ強イ信念ヲ與ヘズ、反面ニハ

稅制ノ根本的ノ改革モセズシテ、三代ノ藏相ガ送ツテ居ル今日、尙ホ依然トシテ舊態ヲ持スルト云フコトニ付テハ、私ハ帝國ノ將來ノ財政ノ上ニ洵ニ憂フル者ノ一人デゴザイマス、隨テ國民ハマダ薄ボシヤリト眺メテ居ルト申シタイノデアリマス、私ノ先ヅ以テ大藏大臣ガ帝國ノ將來ノ財政政策ノ根本方針、同時ニ之ニ伴ツテ稅制改革ヲ根本的ニ何時斷行スルカ——抽象的ナ言葉ヲ用ヒヌヤウニシテ戴キマシテ、先程申上マシタ通りニ、大臣ト私ノ此ノ心カラナル話ヲ此ノ委員會ヲ通ジテ國民ノ上ニハツキリト認識ヲサシテ、大臣ノ將來ノ政策ニ對シテ國民ハ協力ヲシテ行クト云フ此ノ大事ナ聲デアリマスルカラ、心カラアナタノ御信

念ヲ一ツ此處デ御漏ラシテ願ヒタイ、同時ニ將來ニ對スル所ノ公債ノ償還方法、或ハ利拂ノ方法、斯ウ云ツタ方面ニ付キマシテ、先ヅ綜合的ナ根本信念ヲ一ツ此ノ際ニ承リマシテ、其ノ結果ニ於キマシテ二三ノ質疑ヲシタイト存ジマス

○石渡國務大臣 田中サシカラ大變大キナ問題ヲ與ヘラレタノデアリマスガ、私ハ其ノ根本ノ考ニ於テ田中サント少シ意見ヲ異ニシマス、此ノ事變ガ起ツテソレガ繼續シテ行クト云フ場合ニ於キマシテハ、國ノ財政經濟ト云フモノハ其ノ方向ニ向ツテ集中スル、集中ヲシテサウシテ其ノ方面ニ對シテ出來ルダケノ力ヲ之ニ集メル、斯ウ云フコトガ第一點デアルト思フノデアリマス、其處ニ目的ガ置カルベキモノデアルト思フノデアリマシテ、其ノ爲ニハ財政上必要ナ範圍ニ於テ出來ルダケノコトヲヤルト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマシテ、戰爭ニ打勝ツ爲、又ソレガ爲ニ各種ノ力ヲ動員スル、財政モ要スルニ其ノ動員ノ一ツノ力デアルト存ジマス、隨デ此ノ事變ガ始マツテ一年半、既ニ大藏大臣ガ迭ルコト三人目デアアルガ、サツパリ策ガ分ラヌデヤナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、事變始マツテ直チニ先ヅ財政ノ政策ヲ考ヘテ、稅

金ハ幾ラニスル、公債ハ幾ラニスルト云ツテ彈キ出シテ政策ヲ立テルコトハ、是ハ極メテ難カシト思フノデアリマス、ヤハリ非常時局ノ際ニ一般ノ統制改正ヲ行フトカ、ソレカラ公債ノ全般ノ計畫ヲ立テルト云フコトハ、是ハ戰爭最中ニハサウ云フコトヲ行フト云フコトハ極メテ難カシ、又非常ニ困難ナコトデアルト思フノデアリマス、目的ハ他ニアルト思フノデアリマス、寧ロ財政ノ整理計畫ヲ立テル、又公債ハ斯ウ云フ風ニシテ將來償還シテ行クモノデアアル、整理シテ行クモノデアアル、税ト云フモノハ斯ウ云フ風ニシテ盛ツテ行クモノデアルト云フコトハ、是ハ何レノ時代、何レノ國ニ於キマシテモ、一ツノ事變ガ濟シダ其ノ戰後ニ於テ根本的ニ考ヘラルベキ性質ノモノデアルト存ジマス、隨テ戰爭ガ始マツタ當時、殊ニ戰爭ガ繼續シテ居ル最中ニ於テ、サウ云フヤウナ計畫ヲ立テルト云フコトハ非常ニ危險ナコトデアツテ、戰爭ト云フモノハ是ハ相手ガアルノデアリマスカラ、豫測シ得ベカラザルコトガ起ルノハ當然デアアルノデアリマシテ、中々サウ云フ計畫ハ立テラレナイト思フノデアリマス、又立ツコトヲ不適當トスルト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ事變ハ茲ニ一段階ニ入ツテ長期建

設ノ時期ニ相成ツテ來ル、併シナガラ是ハ既ニ戰爭ガ濟ンデ長期建設ニ入ル、斯ウ云フ譯ノモノデアリマセヌ、一方ニハヤハリ必要ナル戰闘ヲ繼續シテ行クノデアリマスカラ、其ノ戰爭ノ爲ニモ相當ノコトヲ考ヘテ行カナケレバナラス、又此ノ戰爭ノ場面に云フモノモドウ變化シテ行クカト云フコトモ十分ニ考ヘテ行カナケレバナラヌト云フ場合ニ、國內ノ經濟機構ニモ相當ノ變化ヲ受ケルデアラウ、サウ云フ場合ニ一體税制ノ根本的改正ヲ行フト云フコト自體ガ、多少如何カト思ハレル節モアリマス、併シナガラ此ノ問題ハ既ニ數年前カラノ問題デアリマシテ、今後ノ日本ノ財政全體カラ考ヘマシテ、實際是等ノ計畫ヲ立テルコトハ必要デアルト思ツテ居ルノデゴザイマスルカラ、ソコニ是等ノ計畫ヲ立テル準備ヲシ、昭和十五年ニハ其ノ案ヲ議會ニ持ツテ來タイ、斯ウ考ヘテ居ルコトハ申上ゲタ通りデアリマス、今日ニ於テモ一部ニ於テハ尙ホソシナ根本的ノ税制改正ヲスル時期デナイ、今暫ク様子ヲ窺ツテ世ノ中ノ定マルノヲ待ツテ税制改正ヲ行フベキデアアル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルモノガアリマス、此ノ方ガ純理デアアルカモ分リマセヌ、此ノ方ガ純理デアラウト思フノデアリマスガ、既ニ此處

數年間問題ニナツテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマスノデ、相當ナ國及ビ地方ヲ通シタ税制改正ヲ行ヒタイト思ツテ居リマス、是ハ此ノ次ノ議會ニ提案シタイト目下準備ハ致シテアリマス、ソレニシマシテモ必ズ持ツテ來ルカドウカト云フコトハ、是ハ今日ノ情勢ニ於テハ其ノ通りデアアル、今日ノ情勢ニ於テハ、此ノ次ノ議會マデニ持ツテ來タイ、斯ウ申上ゲテ居ル譯デゴザイマス、隨テ今幾ラノ公債ノ發行ガ出來テ、其ノ公債ノ發行ガドウナツテ行クノカ其ノ具體的ノ計畫ヲ明ニセヨト仰シヤルコトハ今日ノ場合はハ極メテ困難デアリマス、併シナガラソレデハ一體公債ノ消化ハ出來テ行クノデアアルカ、出來テ行カナインデアアルカ、是ハ重大問題デハナイカ、斯ウ云フ御尋ガアルト思フノデス、ソレデアリマスノデ、國債ノ消化ニ付テハ、此ノ國債ヲ消化シテ行ク爲ニ貯蓄ノ獎勵其ノ他ニ萬全ノ力ヲ盡シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、國債ノ消化ノ重要デアリマスコトハ勿論デアリマスガ、其ノ爲ニ各種ノ手段ヲ講ジ、頭ヲ搾ツテ其ノ方尙ノコトハ考ヘテ行カナケレバナラヌト思ツテ居リマス、今日マデノ所國債ノ消化ハ極メテ順調ニ行ツテ居ル、ソレデハ一體將來ドウスルカ、將來モ結局過去殊ニ最近ノ

事實ヲ基礎ニシテ將來ヲ推ス、斯ウ云フコトヲ致スヨリ外ニ仕方ガゴザイマセヌ、最近ノ事實カラ將來ヲ推シテ考ヘレバ、決シテサウ悲觀ハ致シテ居リマセヌ、或ハ大藏大臣ノ考ガ餘リ樂觀的ダト云フ御考ガアルカモ知レマセヌガ、私ハサウ悲觀シテ居ラヌ譯デゴザイマス、併シ是ハ一面ニ於テハ國民ノ決心、覺悟ニモ依ルコトデアリマシテ、物ヲ買ツテ濫費ヲスル、消費ヲスル、サウ云フコトヲヤツテ居リマスノデハ、國債ノ消化額ト云フモノハ減ツテ來ルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマシテ、斯ウ云フ非常時局ニ當ツテハ客觀的ノ事實トシテ斯ウ云フコトガ如何相成ルデアラウカ、斯ウ云フコトヨリモ、國民ハ舉ツテ斯ウ云フコトヲシテ行クノデアアル、斯ウ云フ風ニスベキデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアルト云フコトニ依ツテ、國債ノ消化ニ致シマシテモ、其ノ他ノ戰時財政經濟ニ付キマシテモ、極メテ圓滑ニ行クノデアアルマイカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、アナタノ御尋ニ對スル答辯トシテハ甚ダ不十分デアアルコトハ能ク承知致シテ居リマスガ、私ノ今日考ヘテ居リマスコトハ、以上ノ通りデゴザイマス

○田中委員 只今ノ大臣ノ御答辯ハ、現在

ノ所デハサウ云フモノヲ目安ヲ立テテ、サ
ウ云フ根本政策ヲ立テテ行クコトハ危險デ
アル、又サウ云フコトヲ爲シ得ラレナイ、
斯ウ云フ風ニ御説明ニナツテ居ルヤウニモ
受取ラレルノデアリマス、私ハ甚ダ此ノ點
ニ付テ考ヘ方ヲ異ニスルノデアリマス、戰
争中トハ云ヒマシテモ、是カラ先キ何年續ク
カ、絶エズ小競合ヘアラウト思ヒマス、ソレカ
ラ戰爭シナイ戰爭ガアリマス、戰爭シナイ
戰爭ハ現在既ニヤツテ居ル、日支事變ニ依
ラズシテ、ズツト以前カラ戰爭シナイ戰爭
ト云フモノガ始ツテ居ル、ソレハ私共ノ見
ル眼ニ於キマシテハ、唯日支事變ニ便乗シ
テ、ハツキリト亞米利加ト、佛蘭西ト、英
吉利トガ、我國ニ對スル或ル種ノ政策ヲ執
ツテ來テ居リマスコトハ、是ハ日支事變
ニ便乗シテ其ノ銳鋒ガ一寸現ハレテ居ルダ
ケデアリマシテ、此ノ三國間ノ協定ト云フ
モノハ、根本的ニ昔カラ定ツタ東洋ニ對ス
ル一ツノ政策ヲ持ツテ居ルノデアリマス、
成程日本ト獨逸トガ防共協定ヲシタカラ、
英佛ガ亞米利加ヲ引入レテ、斯ウ云フ風ニ
日本ニ當ツテ來ルノダラウト云フヤウナ考
ヘ方ノ人モアリマセウケレドモ、私ハ總テ
ノ國際情勢ノ中ニ於キマシテ、英米ノ執ツ
テ居リマス所ノ根本信念ハ、日英同盟ヲ破

棄サレマシタ時ニ、今日ノ政策ガモウ既ニ
英國民ノ頭腦ニチヤント出來上ツテ居ツタ
ノデアリマス、其ノ當時カラ一貫シタ政策
デ今日マデヤツテ來テ居ルノデアリマシテ、
英國ハ二天作ニ依ツテ物ヲ解決スル國デ
アルカラ、必ズシモオ前ノ言ツテ居ルヤウ
ナ考ヘ方デ物ヲヤツテ來テ居ルノデハナイ
ト云フ御議論ノ方モアルカモ知レマセヌケ
レドモ、サウデハナイ、日英同盟ノ破棄ノ
時カラハツキリトシタ政策ガ確立シテ、其
ノ當時カラ今日マデヤツテ來テ居ル所ノ英
國ノ政策ニハ、何等變リハナイノデアリマ
ス、唯此ノ日支事變ニ依リマシテ、或ハ最
近ノ歐洲ノ情勢等ニ依リマシテ、多少ソレ
ガ大キクナルニ從ツテ變化シテ來タニ過ギ
ナイノデアリマス、隨テ所謂戰爭シナイ戰
争ト云フモノハ、ハツキリト行ハレテ居ル
ノデアリマシテ、ソレガ政策ノ上ニ現ハレ
テ來テ居ルノデアリマス、今後日本ノ國ガ
國防ヲ充實スル上ニ於キマシテモ、私ハ非
常ニ多大ナ軍事費ヲ將來要スルコトデアラ
ウト思ハレルノデアリマス、反面ニ於キマ
シテ、只今申上ゲマシタ通りニ、今日ノ狀
態デ公債ノ發行ヲドシ、ヤツテ行ク、戰
時ノ狀態ハ此ノ通りデ續ケテ行ク、成程今
非常ニ先程モ申シタヤウニ公債ガ賣レテ居

ルカ知レマセヌガ、若シ戰時狀態ガ非常ニ
安定シタ時ニ物ヲ爲スト云フヤウナ時ニ當
ツタナラバ、私ハ非常ナ悲觀シタ見方ラス
ル、或ハ公債ノ切下ノ問題ガ將來起キテ來
ハシナイカト云フ位マデ私ハ憂ヘテ居ル、
ソレハ暴論デアルト大臣ハ申サレルカモ知
レマセヌケレドモ、今カラ將來ノ見透シヲ立
テテ行ツテ、サウシテ現在ノ時局ヲ乗切ツ
テ行ク所ノ基礎ヲ作ツテ行カナケレバナラ
ヌト思フ、前ニ申サレマシタ通りニ、先ヅ
今戰爭シテ居ル最中デアルカラ、總テノ問
題ニ付テモ之ニ打勝ツ爲ニ何モカモソレニ
集中サヘシテ居ツタナラバ、宜イデハナイ
カト云フヤウナ議論ハ、私ハ國家ノ財政ヲ
思ハザル一ツノ暴論デアルト思フ、戰爭ヲ
シテ居ル時ニハ何物モ之ニ集中シテ行カナ
ケレバナラヌガ、反面ニ於テハ之ライツ何
時デモ軌道ニ呼戻シテ行ク所ノ「ルート」ヲ
作ツテ行ク必要ガアルト私ハ考ヘテ居リマ
ス、ソレニ於キマシテ現在私ハ此ノ意味カ
ラ考ヘテ見マスナラバ、大臣ノ申サレルヤ
ウナ、決シテ樂觀的ノ材料ヲ以テ進ム譯ニ
ハ行カナイ、私ハ申シテ置キマスガ、恐ラ
ク昭和十三年末ノ銀行ノ狀態ヲ見マシテ
モ、ソレカラ此ノ上半期ヲ過ギマシタ後ノ
狀態ヲ見テ行キマスルナラバ公債ガ豫期ス

ルヨリ以上ニ於テ少イ發行額デ濟メバ結構
デアリマスケレドモ、其ノ發行額デ私ハ濟
ムマイト思フ、サウナツテ來マス、餘程
大臣ノ御考ニナツテ居リマスコトヨリモ、
豫期ニ反スルコトガ財界ノ上ニ現ハレルヤ
ウニナツテ來ルノデアリマス、況シテ北支
ノ開發事業ニ於キマシテモ、ドウデアリマ
スカ、全ク今日ノ北支ノ開發事業ノ情勢ニ
付キマシテハ、遅々トシテ、進行シテ居リ
マセヌ、日本カラ資本或ハ人ト技術ヲ持ツ
テ行カナケレバナラヌ北支ノ開發デアル、
此ノ點ニ付キマシテハ、大體ドウ云フ風ニ
ナツテ居ルカ、此ノ際併セテ大臣カラ御答
辯願ヒタイト思フノデアリマスガ、是等ノ
開發ニ要スル資金ハ殆ド得ラレナイ、物モ
得ラレナイ狀態デアリマス、率直ニ申シマ
スレバ、北支ノ情勢ハ洵ニ遅々トシテ寒心
ニ堪ヘナイ狀態デアルト言ヒ得ラレル位デ
アリマス、斯様ナ狀態ニ於キマシテハ、中
將來長ク掛ル、内輪ニ於キマシテハ色々
生産擴充ノ爲ニ資金ヲ要シテ居ル、是等ノ
資金ヲ一面ニ於テ市場デ求メテ行カナケレ
バナラズ、一面ニ於テ公債ハ消化シテ行カ
ナケレバナラズ、一方ニ於テ國防ニ對スル
軍備ノ施設ヲ完備シテ行ク所ノ非常ナ費用
モ、茲ニ又殖エテ參ツテ來ル、是ハ物ノ節

約ヲシテ、サウシテヤツテ行クナラバ行ケルデアラウ、斯ウ言ツタヤウナ御答辯デハ、洵ニドウモ今日國民ハボツトシテ何ヲシテ行クノデアアルカ分ラス、ソレヨリモ縦シバ多少ソコニ間違ツタ點ガアツテモ宜シイカラ、ハツキリトシタ所ノ一ツノ方針ヲ國民ニ示シテ之ニ附イテ來イト言ツタナラバ、國民ハワツト附イテ行ク、日本ノ人達ハ獨逸

ヤ伊太利ノ眞似ヲシテ、獨逸ハ中々良イ統制ヲシテ居ル、斯ウ言ツテ居リマスケレドモ、獨逸ヤ伊太利ガ日本ノ眞似ヲシテ居ルノデアリマス、故ニ茲デ政府ガ斯ウダト云フコトニナツテ來ルナラバ、國民ハワツトソレニ附イテ來ル、其ノ聲ニ依ツテ進シテ行クコトガ出來ルノデアリマス、ソレヲチビリチビリト一方ニ於テ増稅ヲシテ行ク、今サウ云フ事ハ出來ナイ、事變後ニ於テ對策ヲ求メルト言ハレルガ、事變後トハ一體何時ノ時期デアルカ、私ハ恐ラク此ノ日支事變ノ終了ト云フヤウナコトハ、當分望マレナイト思フ、財政的ニ於テ、日本ノ國防ヲ充實サシテ行ク所ノ施設ノ上カラ考ヘテモ、日支事變ナント云フモノノ終了期ト云フモノハ、當分望ミ得ラレナイト思フ、ソレカ事變終了後ニ於テ財政ノ見透シヲ附ケテヤルト云フヤウナコトデ御答辯下サツテ

ハ、國民ハ甚ダ寒心ニ堪ヘナイ、モツトハツキリトシタ、強イ、シツカリトシタ所ノ方針ヲ御示ヲ願ヒタイ、私ハ諄イヤウデアリマスガ、重ネテモウ一度此ノ點ニ付テ御伺致シタイ

○石渡國務大臣 田中サンノ御尋ハ、モツトハツキリシタ方針ヲ示セ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、財政ノ方針トシマシテハ、一方ニ公債ヲ發行シテ行キ、一方ニハ豫算ノ増大シテ行クノニ對應シテ増稅シテ行ク、斯ウ云フコトデアラウト思フノデアリマス、ソレデハ國債ガ非常ニ餘計ニナツテ來ルデハナイカ、其ノ國債ヲ一體ドウ云フ風ニ消化シテ行ク積リデアアルカ、斯ウ云フ御尋ガ含マレテ居ルト思フノデアリマスガ、是ハ國民ガ萬難ヲ冒シテ貯蓄ヲシテ、サウシテ國債ヲ消化シテ行ク、是ヨリ外ニ行キ方ハゴザイマセス、又ソシナコトデ甚ダ心細イデハナイカ、斯ウ仰シイマスガ、ソレニ依ツテ昨年ハ既ニ四十億近イ所ノ公債ヲ消化シテ居ル、四十億ノ公債ヲ一箇年ニ消化スルト云フコトハ、從來是ハ中々考ヘラレナカツタコトデアリマス、一箇年十億ヅツノ公債ヲ消化スルニシテモ、可ナリ心配サレタノデアリマスルガ、一箇年ニ四十億近イ公債ガ消化サレテ行ク、ソレニ付デドウ云フ

變ツタ政策ガアルカ、色々ナ政策ヲ求メマシテモ、此ノ問題ノ最モ重要ナ「ポイント」ハ極ク手近ナ所ニアツテ、各人ガ消費ヲ節約シテ、金錢ノ形式ニ於テ貯蓄スルコトニ努メル、是ガ此ノ問題ノ最モ大キナ鍵デアリマシテ、方々色々ナ新シイコトヲ求メタ結果、巡リ廻ツテ考ヘレバ解決ノ鍵ガ此ノ附近ニアル、斯ウ云フヤウナコトデアルト

私共ハ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、更ニソレヨリ進シテ今後國債ヲ幾ラ發行スル積リデアアルカ、又幾ラガ消化ノ限度デアルト思フカ、ソレヲハツキリシロ、斯ウ云フ御註文デアリマス、是ハ中々難シイノデス、又國債ノ消化ト云フコトモ、國民ノ主觀的ナ考ヘ方ニ依ル所モ相當餘計デアリマス、詰リ濫費ヲスルト云フコトト、一生懸命デ貯蓄ヲスルト云フコトトデハ、國債ノ消化額ハ非常ニ變ツテ來ル、茲ニ國民ノ努力スルカ、セヌカト云フ所ニ於テ非常ナ差ガ出テ來ルノデアリマスノデ、隨ツテ國債ノ消化ガ一年ニ幾ラヲ適當ト認メルカト云フコトモ、是モ亦中々申上ゲ難イ問題デアリマス、唯將來財政ノ問題トシテハ、國債ノ發行額ガ減ツテ、實收入詰リ普通歳入ガ増加シテ行クト云フコトガ、財政トシテ望マシイコトデアアルノデハアルマイカ、斯ウ云

フ御尋デアアルナラバ其ノ通りデアリマス、從來昭和七年、八年當時ニ於キマシテハ、租稅收入モ七億トカ八億トカ云フコトデアツタ、此ノ二三年來一年三億乃至三億五千萬圓ノ増稅ハ致シマシタガ、最近ニ於ケル稅收入ハ二十億ヲ越シテ居ル、ソレデハ其ノ十三億圓ト云フモノハ増稅ヲシタカト云ヘバ、十三億圓モ増稅シタ事實ハゴザイマセス、

是ハ自ラ日本ノ國ノ經濟力ノ膨脹發達ト云フコトニ依ツテ、ソコニ七億圓ナリ八億圓ナリノ收入ガ増シテ來テ居ルノデアリマス、本年ノ普通歳入、即チ剩餘金ヲ繰入レタモノ、公債金ヲ繰入レタモノヲ外シマシテハ、二十八億圓ノ實收入ニ達シテ居ルノデアリマス、一體此ノ公債ニ依ラナイ剩餘金ニ依ラナイ二十八億圓カラノ實收入ガアラウトハ、一兩年前マデハ考ヘテ居ラナカツタ、考ヘテ居ラナカツタガ、此ノ膨脹シタ經濟ノ上カラソレダケノ實收入ヲ、茲ニ生ミ出シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトモ亦十分考慮ニ入レナケレバイケナイ、若シ公債ヲ以テヤツテ行カナイナラバ、其ノ後ノモノハ總テ増稅ニ依ラナケレバナラスト云フコトハ理窟カラ來ル一ツノ立場デアルト存ジマス、併シ我國ノ從來ノ稅ノ歴史ヲ考ヘマシテモ、増稅ニ依ツテ來テ居ル所ノ增收

額ヨリモ、經濟ノ發達ニ依ル所ノ、自然ニ殖エテ來マシタ増收ガ、重キヲ占メテ居ルノデアリマシテ、今後我國ガ日本、支那、滿洲ト云フヤウナ各地ノ資源ヲ開發シテ、其ノ上ニ立ツ所ノ我國ノ財政ト云フコトヲ考ヘルノデアリマスナラバ、今日公債ヲ多少餘計ニ發行致シマシタ所デ、ソレニ對シテ危惧ノ念ヲ懷キ、悲觀ヲ致ス必要ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、要スルニ是等三國ヲ通ジタ所ノ資源ノ開發ニ依ツテ生ジテ來タ富、斯ウ云フモノガ將來ハ我國ノ負擔ヲ背負ツテ立ツ一ツノ大キナ原因ニ相成ルデアラウト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○田中委員 雙方ノ意見ノ相違ハ結局議論

ニナリマスカラ、或ル程度デ止メタイト思ヒマスガ、唯今大臣ノ御答ニナツタ、増税ヨリモ經濟力ノ發展ニ依ツテ増收シテ行クト云フコトハ、ソレハ勿論御説ノ通りデアリマス、成程今日ノ日本ニ於テハ經濟力ガ非常ニ發達致シテ來テ居リマス、併シナガラ日本ノ今日ノ經濟力ノ發達ハ、丁度スクストト伸ビテ居ル松ノ翠ヲビシヤツト今缺ヲ入レテ剪ツタヤウナ状態ニ私ハ來テ居ルノデハナカラウカト思フ、今マデハ成程内地ノ貿易ニ於ケル原料——外國依存ニ依リ

マス輸出原料ハ、或ル程度マデ十分ト云ヒ得ル範圍ニ於テ得ラレテ來タデアリマセウ、併シ今日デハソレハ得ラレナイ、内地ノ生産力擴充ニ依ツテ、從來得テ來タ外國資源ニ依ツテ對外貿易ヲヤツテ居リマシタ、其ノ材料ガ成程物動計畫ニ依リマシテ三年先ニハ出來ルカモ知レマセスガ、私ハ今日企畫院ノ御考ニナツテ居リマス「ペーパー・プラン」ニ依ツテハ出來ルモノデハナイト思フノデアリマス、又只今大臣ガ仰セナリマシタ三國ノ資源開發、洵ニ結構デアリマスガ、是ガ容易ニ爲シ得ラレルカ否カト云フコトハ申スマデモナク常識デ判斷出來ルト思フ、大同ノ石炭ガ餘計アツタ所デ鐵道ガ敷設サレナカツタナラバ死藏シテ居ルモ同ジデアル、又龍烟ノ鐵ニシテモ然リ、或ハ北支及ビ中支ニ於ケル棉花ノ問題ニ致シマシテモ、最近ノヤウナ情勢デ棉花ノ増產計畫ガ出來ルデアリマセウカ、又滿洲ニ於テ日本カラノ投下資本ニ依リマシテ、ソレ程期待スル如ク速ニ資源ガ獲得出來得ルデアリマセウカ、一面ニ於テ是等ノ資源ニ對シテ投資ヲシテ行ク、其ノ日本ガ注ギ込シテ行ク力ガ、事變ノナイ時ノ平時日本ノ經濟ニ於テ、平時日本ノ平和産業ニ於テ注ギ込シテ行クナラバ、或ハ御説ノ

通り期待シ得ルコトモ出來ルト思フノデアリマス、ガ今日ノ時代ニ於キマシテ、三年先ノ計畫ガ「ペーパー・プラン」デナイ、是ハ具體的ノモノダト云フコトヲ仰シヤツテ居ラレマシテモ、私ハ決シテソレヲ信用スルコトハ出來ナイ、一面ニ於テ戰フヤツテ居ルノデアリマス、此ノ戰ハ中々直グ終了スルト云フ譯デハゴザイマセス、英米ノ關係ニ於テハ寧ろ事變ヲ長引カセテ、日本ノ經濟力ヲ弱メサセルト云フ政策デアリマスガラシテ、今日アノ奧地ニ入りマシタ蔣政權ノ壞滅ト云フコトハ、中々容易ナコトデハゴザイマセス、然ラバ其ノ間ノ各中央政府ガスクスト是等ヲ壓迫スルヤウニ力強イ、成長ヲシテ行クカト云フト、中々ソレハ容易ナコトデハゴザイマセス、デアリマスカラ成程言葉ノ上デ、増税ヨリモ經濟力ノ發展ニ依ツテ、今マデモヤツテ來タト云フ御答辯モ御尤デアリマスガ、併シ今後三國ノ資源ヲ開發シテ行クト云フコトハ、勿論サウシテ行カナケレバナラヌケレドモ、行クマデニコツチガヘコタレタラドウスルカ、腹ガ減ツタラ其ノ長途ヲ耐ヘテ行ク譯ニ行カヌ、成程方々デ議論ハサレテ居リマス、勿論サウシテ行カナケレバナラヌケレドモ、差詰ソレヲヤツテ行クノニハ腹ヲ拵ヘテ、

假令十杯ノ飯ヲ食フ所ヲ五杯ヅヅニシテモ、或ハ五杯ノ飯ヲ三杯ヅヅニシテイツデモ、ズツトソレニ依ツテ、其ノ目的ヲ達成スルマデニ續イテ行クヤウナ方針ヲ、執ツテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、故ニ私ハ今日御答辯ヲ聽イテ居リマシテモ、皆抽象的デアル、ソレハ實在的ニ、具體的ニ觸レテ斯ウシテ行クノダ、假ニ「ヒットラー」ニシテモ「ムッソリ」ニシテモ、彼等ハ國民ニ抽象的ナコトヲ言ツテモ、其ノ抽象的ナ言葉デ國民ヲ曳摺ツテ、ゾコニ於テ一ツノ具體的ナモノヲ作り上ゲテ來テ居ルノデアリマス、今日日本ノ政府ノオヤリニナツテ居ラレマス所ノ事柄ハ、議論デアリマス、抽象的ナ言葉デ議論ヲ致ス、本當ニ政府ガ心カラ起ツテ、サウシテ「ヒットラー」ガヤツテ居ルヤウニ、或ハ「ムッソリ」ガヤツテ居ルヤウニ、本當ニ之ヲ斷ジテ連レテ行クト云フ氣魄、力デ呼寄セテワツト成シ遂ゲテシマウト云フヤウナ、一ツノ熱意ヲ以テ進シテ居ラレバヤウナ點ガ、乏シイヤウニ見受ケラレルノデアリマス、獨伊ガ日本ノ眞似ヲシテ今日ノ經濟再建ヲシテ居リマスガ、唯言葉デハ三國ノ資源ヲ開發スルト言ツテモ、中々容易デハゴザイマセス、燃料液化ノ問題ニシマシテモ、成

程「コスト」ハ高ク付クカモ知レマセスガ、現在獨逸ノヤツテ居ル燃料液化ト、日本ノ燃料液化トノ狀態ヲ比較シテ見タ場合ニ於キマシテモ、日本ハ獨逸ノ六〇%ニモ達シマセヌ、斯ウ云フヤウナ事ヲ吾々ガ靜ニ横合カラ見テ居ツテ、政府ノ爲サル事ト、國民ノ動イテ居ル事ト、財界ノ動キトヲデット見テ居リマス時ニ、必ズシモ言葉デハサウアナタノ仰シヤツタヤウナ工合ニ、行カナケレバナラヌケレドモ、行ク譯ニハ參ラヌト私ハ思フノデアアル、是レ以上質問ヲ致シマシテモ、オ互ノ議論ニ互ルヤウナコトニナリマスカラ、希クハ私ノ申上ガマシタコトヲ十分ニ一ツ政府ハ御酌取り願ヒマシテ、シツカリト揮ヲ締メテ國民ヲ指導シテ、此ノ難局ヲ切抜ケ、帝國ノ財政ヲ一日モ早ク基礎強キモノニシテ、サウシテ日滿支ノ資源開發ニ努メラレンコトヲ強ク御願ヲシテ置キマス

更ニ此ノ際ニ御同致シタイコトハ、最近此ノ事變ニ於キマシテ、國民ハ政府ニ對シテ、或ハ陸海軍ニ對シテ、心カラナル誠ノ結晶ヲ精神的ニ、或ハ又物ニ依ツテ捧ゲテ居ルノデアリマス、即チ國防獻金ト云フモノハ、實ニ國民ノ美シイ心ノ發露デアリマシテ、ソレニ由ツテ夥シク獻金ガ出來テ居

ルノデアリマスガ、此ノ國防獻金ノ今日マデノ數字ハ一體ノ位ニナツテ居ルモノデアルカ、中間的ニ屢ニ發表サレマスルガ、茲デ改メテ一ツ國民ノ國防獻金ノ數字ヲ御示シ願ヒタイ、而シテ是ハ一體一般會計ニ入ツテ居ルノカ、特別會計ニ入ツテ居ルノカ、ドウモ私共ニハ分ラナイノデアリマスガ、ドノ會計ニ所屬シテ居ルノカ、是モ一ツ御示シ願ヒタイ、ソレカラ更ニ其ノ獻金ヲ使ツタ使途ヲ一ツ明ニ御示シテ願ヒタイと思フ、國民ハ更ニ新タナル熱意ヲ以テ獻金ヲセントシテ居ルノデアリマスカラ、此ノ使途ニ付キマシテ明白ニ御説明ヲ御願ヲ致シタイと思フノデアリマス、政府ノ御説明ノ如何ニ依リマシテハ、更ニ國民ハモットノ獻金ニ向ツテ進ムコトデアラウト想像サレルノデアリマス、次ニ御同致シタイコトハ、少シ方面ガ變リマスガ、先程大臣ハ三國ノ資源開發ト云フコトヲ仰セラレマシタ、是ハ私、後日商工省ノ所管事項トシテ御伺スル積リデアリマスガ、北支ニ於キマスル所ノ所謂自由企業者等ノ要スル所ノ資本ハ、大體本年三月マデニ彼等ガ現地ニ於テ最小限度ニ於テ、必要デアルト云フコトヲ申シテ居リマスモノヲ仄聞致シマス、一億圓ニナツテ居ル、一體北支ノ自由産業ニ於テ、或

ハ自由産業以外モ多少入ツテ居ルカモ知レマセスガ、子會社ノ資本金ヲ要スルモノハ別ト致シマシテ、或ハ開發會社ノ關係モ連繫的ニナルモノモアリマスケレドモ、先ヅ開發會社ノモノハ別トシマシテ、自由企業ヲ中心トシテ約一億ト見マシテ、是等ノ資金ガ圓滑ニ企業者ノ上ニ供給シ得タデアラウカ、此ノ企業會社ノ希望スル如クニ資金ヲ得タデアリマセウカ、斯ウ云フコトモ併セテ此ノ際ニ承ツテ置キタイと思ヒマス、ソレカラ上海ノ圓ノ暴落ニ對スル對策デアリマスガ、之ニ付テノ此ノ間豫算總會ニ於ケル大臣ノ御説明ハ承ツタノデアリマスガ、モウ一回私首肯シ得ラレナイ點ガアリマスのデ、是モ重ネテ御説明ヲ願ヒタイ

○谷口政府委員 只今御尋ニナリマシタ中デ國防獻金、獻納金ノ點ヲ御答申上ゲマス、此ノ獻金ノ中ニハ大別致シマシテ二通りアルノデゴザイマシテ、一ツハ國家ノ歲入トシテ上ル部分デアリマス、是ハ一般ノ歲入トシテ上リマシテ歲出ノ財源トナル、是ガ第一ノ種類デアリマス、第二ノ種類トシテハ、本來物品デ以テ政府ニ獻納スルト申シマスカ、其ノ趣旨ヲ以チマシテ獻金スル種類デアリマシテ、是ハ政府ノ歲入トシテハ、上リマセヌ、本ハ物品トシテ政府ニ納メルノヲ、

金ニ換ヘテ政府ニ獻納スルト云フノデ、中間ノ團體ガ陸海軍ノ爲ニ世話ヲシテ居ツタヤウナコトモアリマシタガ、現在ニ於キマシテハ陸海軍ニ於テ保管スルト云フコトハ、法制上認メテ居リマスガ、歲入ニハアツテ居リマセヌ、此ノ二ツノ種類ガアリマシテ、第一ノ種類ハ歲入トシテ上ゲラレル、何ト申シマスガ、正式ノ軍事獻納金ト云フノガ第一ノ種類デ、第二ノ種類ガ只今申シマシタヤウニ物デ獻納スルヤウナ趣旨デアリマシタガ、只今デハ金ニ換ヘテ納マツテ居ツテ、國家ノ歲入ニハ上ツテ居ラナイ、ソレデ第一ノ種類ニ屬シマスモノハ、金額ガ比較的少イノデアリマシテ、事變開始以來約百八十萬圓——二百萬圓ニ足ラナイノデアリマス、是ハ事變開始後ハ臨時軍事費特別會計ノ歲入トシテ擧ゲテ居リマシテ、一般會計ノ歲入ニハ擧ゲテ居リマセヌ、約二百萬圓弱デアリマス、ソレカラ只今私ノ申シマシタ第二ノ種類ニ屬スル所ノモノ、ソレハ總額約七千五百萬圓ニナツテ居リマス、是ハ支那事變發生後十三年一月末マデノモノデアリマス、是ハ御尋ニハナラナカツタト思ヒマスガ、其ノ中陸軍ガ約五千萬圓デ、海軍ガ約二千五百萬圓、サウ云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ其ノ使途

ハ何カ、如何ナル事ニ使ツタカト云フ
更ニ第二段ノ御尋デアリマスガ、臨時
軍事費特別會計ノ歳入トシテ擧ゲマ
シタ先程申シマシタ所ノ二百万圓弱

ノモノハ、是ハ臨時軍事費ノ財源ニナツタ
モノト解シテ宜シト思フノデアリマス、
ソレカラ第二ノ種類ノモノノ使途ハ、是ハ
一々明細ニハ分ツテ居ラナイノデアリマス
ガ、中ニハ獻納ノ飛行機ト云フヤウナモノ
ニナツタノモアルト思ハレマスルシ、又恤
兵ノ色々ナ品物ヲ買ツテ送ツタト云フヤウ
ナコトガアルカト思フノデアリマスガ、是
ハ陸海軍ノ手ニ依リマシテ獻納者ノ獻納ノ
趣旨ニ從ツテ、ソレノ然ルベク處理シテ
參ツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、大體サ
ウ云フ狀況デゴザイマス

○石渡國務大臣 一ツノ問題ハ、子會社ノ
金ノ問題ハドウナツテ居ルカ……

○田中委員 違ヒマス、北支自由企業デゴ
ザイマス、子會社ハ別デス、開發會社關係
外デス

○石渡國務大臣 開發會社關係外ノ産業ノ
狀態ガ如何相成ツテ居ルカ、金ノ問題ガ如
何相成ツテ居ルカト云フ問題デゴザイマス
ガ、是ハ私能ク存ジテ居リマセスカラ、取
調ベマシテ御答スルコトニ致シマス、ソレ

カラ今一點ハ圓ノ暴落ノ問題デゴザイマス
ガ、是ハドウ云フ點ニ付テノ御尋デゴザイ
マセウカ

○田中委員 是ハ一寸今此處デ私申スコト
ヲ差控ヘマス、他ニ少シ關係スル所モアリ、
却テ公開スルト工合ガ惡イ點ガ少クナイカ
モ知レマセヌシ、其處マデ行カナイト御答
ヘ願ナイコトニナリマスノデ、一寸是ハ此
ノ儘ニ置イテオキマス、ソレデハ陸海軍ノ
使ハレタ使途ト云フモノハ、成程ソレハ獻
納者ノ意思ニ依ツテ使ハレテ居リマスモノ
モゴザイマセウ、唯ココデ斷ツテ置キマス
ノハ、先程申上ゲタ通りニ、使途ヲ怪シデ
私ハ尋ネタノデハゴザイマセヌ、使途ニ依
ツテ更ニ多クノ國民ガ獻金ヲスルデアラウ
ト思ヒマスノト、左様ニ國民ノ結晶ニ依ツ
テ捧ゲラレタル所ノ獻金ノ使途ノ内容ト云
フモノハ、ハツキリ致シテ置ク必要ガアル
ノデ、御尋致シテ居ルノデゴザイマス、其
ノ陸海軍ノ使ハレタ内譯ト云フモノハ、御
答ノ通りニ獻納者ノ意思ニ基イテ使ハレテ
居ルモノモゴザイマセウガ、大體何ニ幾ラ
使ツテ、何ニ幾ラ使ツタト云フコトニ付テ
ハ、御説明ヲ願フト云フコトハ出來マセヌ
デアリマセウカ

○谷口政府委員 只今ノ御話デゴザイマス
ルガ、先程申上ゲマシタヤウニ、陸海軍ニ
上ツテ參リマスル所ノ獻納金ノ大部分ト申
シマスモノハ、國ノ歳入トシテハ扱ツテ居
リマセヌデ、陸海軍デ保管致シテ居リマシ
テ、ソレデ所謂獻納者ノ意思ニ依ツテ、
ソレノ使ツテ行クト云フヤウナ狀況デゴ
ザイマス爲ニ、只今此ノ獻納金ノ中ノ大部
分、詰リ獻品ノ趣旨デ以テ出タ七千四百萬
圓何ガシノソレノ明細ナ使途ト云フモノ
ハ、只今私ノ方デハ申上ゲルコトガ出來
ナイノデアリマス、陸海軍ノ方ニ打合セマ
シタナラバ、或ハ詳細ノコトガ分ルカト思
ヒマスガ、只今私ノ方ニハソレノ資料ヲ持
ツテ居リマセヌカラ、何レ陸海軍ノ方ニ能
ク打合セラ致シテ置キマシテ、出來マスル
ナラバ改メテ御答ヲ致シタイト思ヒマス

○田中委員 ソレデハ甚ダ御手数デゴザイ
マスガ、陸海軍カラ其ノ内容ヲ御聽願ヒマ
シテ、此ノ委員會開會中ニ、私不在デアツ
テモ宜シウゴザイマスカラ、委員長ノ御
手許ニ能ク分ルヤウニ、書面ヲ以テ御答願
ヒタイト思ヒマス、尙ホ相當御尋致シタイ
コトモゴザイマスガ、大臣モ御忙シイコト
デアリ、又他ニ大臣ニ對シテ御質疑ヲナサ
ル方モアラウト思ヒマスカラ、其ノ他ノ事
ハ政府委員ニ御尋スルコトトシテ、大臣ニ

對スル質疑ハ此ノ程度デ止メマシテ、他ノ
方ニ御願致シマス

○板谷委員長 次ノ通告人ハ松尾四郎君デ

スガ、御見エニナリマセヌ、平野君、アナタ
ノ大臣ニ對スル御質問ハ簡單デスカ

○平野委員 一點ダケデス

○板谷委員長 ソレデハ之ヲ許シマス――
平野力三君

○平野委員 極ク簡單ニ御伺致シマス、酒
精及酒精含有飲料稅法中ノ第三條第三項、
之ヲ此ノ際撤廢セラレル御意思ガナイカト
云フ點デアリマス、是ハ葡萄酒ニ對スル大
變ナ制限デアリマシテ、其ノ内容ハ「葡萄
ノ汁液ニ糖分ヲ補充シテ其ノ百分ノ二十四
ニ達スル限度迄精製糖ヲ加ヘテ醱酵セシメ
タルモノ但シ葡萄酒ノ汁液一石ニ付精製糖二
十五斤ヲ超ユルモノハ此ノ限ニ在ラス」トナ
ツテ居リマスガ、今日外國葡萄酒ガ輸入ヲ
禁止サレテ參リマシテ、内地ノ葡萄酒ヲ釀
造スルニ於テ甚シク障礙ノアル項目デア
ルコトハ、私ガ説明スルマデモナイノデア
リマス、現ニ山梨縣ニ於ケル甲州葡萄酒稱ス
ルモノハ、大體ニ於テ葡萄酒汁液百分ノ三十
以上糖分ガナケレバ、完全ナルモノガ出來
ナイノデアリマス、而モ完全デナイカラト
云フノデ精製糖ヲ加ヘントスレバ、ソレニ

對シテハ二十五斤ト云フヤウナ制限ヲ加ヘテ居ル、今日斯ノ如キ法律ガ最早時代ニ副ハナイモノデアルコトハ、多言ヲ要シナイノデアリマスガ、或ハ何カノ間違デスウ云フモノヲ廢スルコトヲ御忘レニナツテ居ルノデハナイカト云フ位ニ感ズルノデアリマス、此ノ點ニ付テ速ニ之ヲ撤廢サレル御意思ハナイカト云フコトヲ、大臣ニ御同致シタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 是ハ葡萄酒ヲ保護スルト云フヤウナ點モ、餘程含マレテ居ルト思フノデス、詰リ一面カラ言ヒマス、砂糖分ノ少イモノニ對シテ、ヨリ以上ノ砂糖ヲ入レテハイケンナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、又一方カラ考ヘマス、砂糖ニ付テ、幾ラデモ砂糖ヲ入レテモ構ハヌト云フコトデスト、是ハ随分イカサマ物ガ出来テ來ル虞ガアルト思フデアリマス、ソレデ葡萄酒ノ保護ノ方カラ言フト、此ノ砂糖ノ制限ニ付テハ從來カラ多少ノ問題ハゴザイマスガ、併シ之ヲ撤廢シテシマツテ、サウシテ葡萄酒ニ對シテソレガドノ程度ノ保護ニナツテ行クカト云フコトニ付テハ、是ハ餘程考ヘル餘地ガアルト思ツテ居リマス此ノ際ノ問題トシテハ、之ヲ撤廢スル考ハゴザイマセヌガ、來年度ニ於テ行ハ

レル所ノ税制整理ノ際ニハ一ツ篤ト考究致シマス、葡萄酒ニ對スル税法全體ガドウモ今日ノ實情ニ副ハナイ税法デアルカモ知レマセヌ、此ノ點ハ一ツ十分考究スルコトニ致シマス

○平野委員 大變能ク分リマシタガ、葡萄酒ニ税金ノ掛ラナカツタ時代ニ於テハ、只今大臣ノ仰シヤルヤウニ、斯ウ云フ點ニ付テ一應法律ガ制定サレタノハ尤モダト思ヒマスガ、昨年ノ増税ニ依ツテ一石ニ對シテ十五圓ト云フモノガ決ツタノデアルカラ、此ノ點ヲ篤ト考慮サレテ、本年度ニ於ケル税制整理ニ付キマシテハ、特ニ大臣ノ只今御辯明ノアリマシタコトヲ御忘レナク、御實行願ヒタイト云フコトヲ附シマシテ、大藏省ニ對スル質問ハ是デ宜シウゴザイマス
○板谷委員長 塚本君、アナタカラ大藏大臣ニ對スル質問ノ通告ガアリマスガ、大臣ハ非常ニ御忙シイサウデスガ、御質問簡單デスカ
○塚本委員 少シ長イカト思ヒマス
○板谷委員長 ドレ位掛リマスカ、成ベク關聯事項ニ關スル質問ハ簡單明瞭ニ、要領ダケ御質問ニナルヤウニ願ヒタイト思ヒマス
○塚本委員 一二三點デス

○板谷委員長 デハ宜シウゴザイマス——塚本重藏君

○塚本委員 今委員長ノ御注意モアリマスノデ、極メテ簡單ニ、簡潔ニ約メテ質問シテ見タイト思ヒマス、私ノ質問事項モ、大體豫算總會竝ニ此ノ委員會ニ於テ既ニ論議ガ盡サレテ居リマス、恐ラク私ノ質問ニ對シマスル大臣ノ答辯モ、同様ナコトデアラウト存ジマスガ、尙ホ一ツ大臣ノ御認識ヲ願ヒタイ點ガアリマスノデ、二三質問ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、先ヅ第一番ニ、十四年ノ一月ニ入りマシテカラノ公債發行ガ、非常ニ旨ク行ツテ居ルコトヲ御説明ニナリマシタ、此ノ狀態カラ行キマス、本年度内即チ二月三月ノ間ニ、ドレ位ノ公債ガ消化セラレル御見込デアリマスカ
○石渡國務大臣 是ハ二月三月ニ於テドレ位ノ公債ガ發行致サレルカト云フコトヲ、一方ニ考ヘナケレバイカスト思フノデアリマス、公債ノ發行サレルト云フコトハ、ソレト關聯シマシテ政府資金ノ撒布ガ幾ラ位行ハレルカ、斯ウ云フコトモ併セテ考ヘナケレバイカスト思フノデコザイマシテ、今日此ノ場デ此ノ二月三月ニ幾何ノ公債ガ消化サレルデアラウカト云フコトハ、一寸申上ゲ兼ネルカト思ツテ居リマス

○塚本委員 長期建設ノ段階ニ入りマシタ今後ニ於キマシテハ、大體五六十億ノ臨時軍事實費ト云フモノハ、是ハ經常化シテ來ルモノダト私ハ思ヒマス、隨ヒマシテ又逐年發行セラレマスル公債モ、相當ナ巨額ノモノガ繼續發行セラレナケレバナナイコトヲ、餘儀ナクサレルデアラウト思ヒマス、ソコデ同僚各位カラ、此ノ巨額ノ公債ガ發行可能ナリヤ否ヤト云フ將來ニ對スル心配カラ、色々質疑ヲ試ミテ居ルノデアリマスガ、政府當局ハ飽クマデモ、樂觀ハシナイガ、大シク不安ハナイ、國民ノ愛國心ノ發露ニ俟ツテ、自由消化ニ依ツテ十分ニ行ケルト云フ自信ヲ持ツテ居ラレルヤウデアリマス、隨ヒマシテ國債ノ強制保有等ノ手段ニハ依ラナイ方針デアル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ラレルノデアリマスガ、今田中氏ノ質問ニモアリマシタヤウニ、ソレデハ甚ダ國民ト致シマシテハ不安デアルト言ハナケレバナリマセヌ、十三年度ノ公債ノ發行豫定額ハ、一般會計デ十億八百万圓、特別會計ノ一億六千六百万圓、臨時軍事實費ノ財源ニ充ツルモノガ四十四億五千三百万圓、合計致シマシテ五十六億二千八百万圓、之ニ更ニ十二年度カラ繰越シタモノノ九億四千五百万圓ヲ加ヘマスルト、十三年度ニ發

行スベキ豫定額總額ト云フモノハ六十五億七千三百萬圓ニナツテ居リマス、サウシテ十三年ノ四月カラ十四年ノ一月マデノ間ニ發行セラレマシタ總額ハ三十九億三千六百五十萬圓、今後此ノ二月迄ニ三月ニドレ位發行セラレルカ分リマセヌガ、兎ニ角今日發行未済額ハ尙ホ二十六億三千六百五十萬圓ヲ殘シテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス、十二年カラ十三年ヘ繰越シタモノガ三億四千五百萬圓アル、此ノ十三年カラ十四年ヘ繰越スベキ額ハ更ニ多額ナモノニナルト云フコトハ、想像ニ餘リアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ情勢ニ置カレテ居リマス、一方ニ於キマシテハ日銀ノ手持金ト云フモノハ段々殖エテ參ツテ居リマスシ、更ニ又最近ノ情勢デハ、物價モ急激ニ騰貴シテ參ルベキ情勢ヲ示シテ居リマス、更ニ斯ウ云フ情勢ノ下ニ於テ、殊ニ此ノ議會デハ生産擴充ガ一番必要デアルト云フ風ニ論議セラレテ居リマス、其ノ生産擴充方面ニモ相當ナ資金ヲ要スルノデアリマス、ソレヤ是ヤノコトヲ考ヘ合セテ見マス、此ノ十四年度ニ追加豫算竝ニ臨時軍事費ノ財源ニ充テルベキ公債發行額ト云フヤウナモノヲ考ヘマシデ、十三年度ヨリハ多クナツデモ少クハナラヌト云フコトハ、誰モガ考ヘテ

居ルノデアリマス、此ノ十二年度、十三年度ノ實績カラ見マシテ、尙且ツ十四年度ノ公債發行ニ付テモ樂觀シテ可ナリヤ、何等カソコニ新シイ手段ヲ用ヒナケレバナラスノデハナイカ、一層一段ト國民ノ此ノ愛國心ニ依ル公債消化ニ俟ツト致シマシテモ、ソレニハソレ相當ノ用意ト準備トガナケレバナラヌト思ヒマスガ、其ノ點ニ關スル具體的ナ御方針ヲ承リタイ

○石渡國務大臣 昭和十四年度ニ於テモ、

公債ハ更ニ多額ニ發行サレルノデハナイカ、隨テ是ガ公債ノ消化ニ付テドウモ少シ政府ノ考ヘ方ガ、樂觀ニ過ギハシナイカ、モツト萬全ナ途ヲ考ヘテ置ク必要ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ御尋デアルト存ジマス、是ハ先般來モ私御答辯致シテ居ルノデアリマスガ、決シテ政府ニサウ樂觀致シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、易々ト是等ノモノガ消化サレヨウトハ考ヘテ居リマセヌ、是ハ相當困難ナ問題デアリマスガ、併シナガラ從來ノ例カラ考ヘマスレバ、國民ガ餘程奮發致シマシテ、消費ヲ節約シテ、貯蓄ヲシテ居ルノデアアルナラバ、其ノ消化ハサウ困難ナコトハアルマイト、斯ウ申上ゲテ居ル次第デゴザイマス、塚本サンノハ更ニ一歩ヲ進メマシデ、其ノ貯蓄獎勵ヲスル途ニ付テ、

更ニ考ヘ方ガアルノデハナイカト、斯ウ云フ御尋デゴザイマス、是モ御尤デゴザイマス、貯蓄獎勵ノヤリ方ニ付テハ、之ヲモツト科學的ニ、モツト組織的ニヤル必要ノアルコトハ、昨日モ御答致シマシタ所デアリマシテ、之ヲ如何ニ具體的ニ持ツテ行クカト云フコトニ付テハ、更ニ十分ニ考究致シタイト存ジマス、其ノ貯蓄ノ獎勵モ、一面ニ於キマシテ

アリマスコトハ、是亦私ノ申上ゲルマデモゴザイマセヌ、ケレドモ、此ノ消費ノ節約ノ方面ニ向ツテモ、今日ヨリ更ニ一層強化致シ必要ガアルト思フノデアリマシテ、結局消費ヲ節約シマシテ、サウシテソレニ依ツテ生ズル所ノ金ヲ、貯蓄ニ如何ニ多額ニ、如何ニ合理的ニ之ヲ振向ケテ行クカト云フ所ニ、問題ガアルト思フノデゴザイマス、此ノ點ニ付テハ能ク一ツ考究致シマシテ、適當ナル具體策ヲ考ヘタイト思ツテ居リマス、ドウモ具體策ガ餘リニ強力ニ行キマス、却テ其ノ效果ヲ擧ゲニクイ點モゴザイマス、ソレデゴザイマスノデ何デモ強力ニ、強制的ニ行ケバソレガ一番效果ガアルカト申シマス、中々此ノ問題ハサウモ行キ兼ねルト思フノデアリマス、一方強力的ニ問題ヲ持ツテ行ク必要ガアルト共ニ、一面又各人

ヲシテ悦ンデ進ンデ金ヲ蓄ヘルト云フ方向ニ民心ヲ向ハシテ行ク必要モ、多分ニアルト存ジテ居リマス

○塚本委員 惡性「インフレ」ヲ防止シナガラ、公債ノ消化ヲ圖ルノ途ニ付キマシテハ、固ヨリ色々ナコトガ考ヘラレマセウ、第一番ニ物價騰貴ヲ抑制シナケレバナラス、ソレニ對シマシテハ、今大臣ノ御考ノヤウニ、先以テ消費ノ節約、或ハ物價ノ公定ト云フヤウナコトモ必要デアリマスシ、或ハ爲替ノ低落ヲ防止スルト云フコトモ忘レテハナラナイコトデアリマスシ、更ニ生産力ノ擴充、貿易ノ振興、色々ナコトヲ兼ネ併セマシテ、初メテ公債ハ圓滑ナル消化ヲ期スルノデアリマス

〔委員長退席、森委員長代理著席〕
ソレ等各般ノコトニ付キマシテノ論議モ、相當豫算總會等ニ於テ盡サレテ居ルヤウデアリマスカラ、是等ノコトニ付テハ今日ハ觸レナイコトニ致シマスガ、消費ノ節約ト相俟ツテ、國民ノ貯蓄獎勵、國民ノ愛國心ニ依ル自由消化ト云フコトニ重點ヲ置カレルヤウデアリマスガ、大臣ハ今日ノ軍需工業ノ殷盛ニ從ヒマシテ、一般勞働者竝ニ俸給生活者ノ實收入ト云フモノハ、殖エテ居ルト御認メニナテツ居ラレマスカ、ドウ云

フ状態ニアルト大マカニデモ考ヘテ居ラレ
マスカ、御伺致シマス

○石渡國務大臣 是ハ物價騰貴ニ依リマス
生活費ノ騰貴ト言ヒマスカ、生活費ノ上ツ
テ居ルコトモゴザイマセウガ、一面限ラレ
タル産業トデモ申シマスカ、兎ニ角或ル方
面ノ産業ニ付テハ、相當實收賃銀モ増加シ
テ居ルト考ヘテ居リマス

○塚本委員 私ハ大藏大臣トシテ、今後國
民ノ貯蓄獎勵ニ一層拍車ヲ掛ケテ邁進セラ
レルデアラウコトヲ期待シテ居ルノデアリ
マスガ、ソレニ付キマシテモ、茲ニ大臣ノ認
識ノ不足ガアルト思フノデス、是ハ商工當
局ニモ特ニ私ハ質疑シテ見タイト考ヘテ居
ルノデスガ、同時ニ大藏大臣ニ於テモ御認
識ガ願ヒタイノデス、一月ノ三十一日ニ商
工省ハ昭和十二年ノ工場統計ナルモノヲ公
表シテ居リマス、ソレニ依リマス、戦争
ニ因ツテ軍需産業ト云フモノガ段々盛ニハ
ナツテ參リマシタケレドモ、ソレニ依ツテ
労働者ノ實收入ト云フモノハ決シテ殖エテ
居リマセヌ、是ハ商工省ノ發表シマシタ統
計ガ明ニ示シテ居リマス、而モ新聞ニ發表
セラレマシタ所ヲ以テシマス、新聞ノ記
事ヲ讀ンデ居ルト、如何ニモ労働階級ガ相
當ナル增收ノ結果ニナツテ居ルガ如キ印象

ヲ、國民一般ニ與ヘル發表デアリマス、恐
ラク商工省ノ役人諸君モサウ云フヤウニ考
ヘテ、此ノ統計ヲ御發表ニナツタト思ヒマ
ス、併シ發表ニナリマシタ其ノ統計ト云フ
モノヲ仔細ニ検討シテ見マス、個々ノ收
入ト云フモノハ寧ロ減少シテ居ルノデアリ
マス

〔森委員長代理退席、委員長著席〕

私共工場ノ中ニ長イ間生活シテ居リマシ
テ、歐洲戦争ニモ遭ヒマシタシ、又日露戰
争ノコトモ少シ經驗ヲシテ居ルノデアリマ
ス、其ノ當時ニハ、軍需工業ニ携ツテ居ル者
ハ、非常ナル增收ヲ得タモノデアリマス、
併シナガラ今度ノ支那事變ニ於キマシテハ、
此ノ軍需産業ガ殷盛ニナリマシテモ、労働
者ノ收入ハ決シテ殖エテ居リマセヌ、私ガ
商工省デ發表ニナリマシタモノニ就テ見マ
シテモ、殊ニ軍需産業ニ於キマシテ、一番
殷賑ヲ極メテ居ルト發表セラレテ居リマス
金屬工業及機械器具工業、此ノ工業ノ労働
者ノ十一年ノ數、十二年ノ數、ソレカラ生
産額、労働者ノ數、延労働時間、ソレニ對
スル賃銀ノ支拂總額、斯ウ云フモノガ細カ
ニ發表ニナツテ居リマス、此ノ發表ニナリ
マシタモノヲ更ニ私ガ計算シ直シテ見マス
ト、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマス、職

工ノ數ハ十一年ハ七十万三千九百八十八人
カラ十二年ニハ九十一万一千六百六十人ト殖エ
テ居リマス、労働者ノ労働時間ト云フモノ
ハ、十一年ニハ二億八千四百四十三万
一千時間デ、十二年ニハ二億七千九百二
十九万六千時間ニ殖エテ居リマス、而シテ
其ノ結果カラ生レタ生産額ニ付テ申スナラ
バ、十一年ニ於テハ三十九億二千五百二十
一万八千圓、十二年ニ於テハ六十億六千七
百九十三万圓ニ急増シテ居リマス、而シテ
賃銀ノ支拂高ハ十一年ニ於テハ四億一千八
百八十七万二千圓デアリ、十二年ニ於テハ
五億二千八百一十一万一千圓ニ増加シテ居ル
ノデアリマス、此ノ賃銀ノ支拂總額ガ非常
ニ多クナツタト云フ此ノ數字ダケデ、國民ト
申シマスカ、オ役人ノ人達モ一ツノ錯覺ニ
陥ツテ居ルト云フコトガ分ルノデアリマス、
更ニ商工省ガ發表シマシタ此ノ數字ヲ基礎
ニシテ、私ハ斯ウ計算シテ見タノデアリマ
ス、職工一人ガ一年ニ働キマシタ労働時間
ト云フモノハ、十一年ニハ三千二百二十時間
デアリマシタガ、ソレガ十二年ニハ三千六
十四時間ト云フ結果ヲ現ハシテ居ル、更ニ
労働者一人當リノ生産額ヲ見マス、十一
年ニハ五千五百七十六圓デ、十二年ニハ六
千六百六十圓ト云フ風ニ、生産額ハ非常ニ

増シテ居リマス、更ニ労働者一人デ一時間
ドレ位ノ生産ヲ舉ゲテ居ルカト勘定シテ見
マス、十一年ニハ一時間一圓八十錢デア
リマシタモノガ、十二年ニハソレガズツト
殖エテ、二圓十七錢ト云フコトニナツテ居
リマス、即チ斯ウ云フ計數カラ申シマス、
事業主ト云フモノハ非常ニ儲カツテ居ルコ
トハ明瞭デアリマス、所ガ之ヲ労働者ノ建
前カラ計算ヲシ直シテ見マス、賃銀ハ澤
山拂ハレテ居リマスケレドモ、之ヲ一人當
リノ一年間ノ所得ト云フモノニ換算シテ見
マス、労働者ノ一人當リノ收入ハ、十一
年ハ五百九十五圓デ、十二年ハ五百七十九
圓六十三錢ト下リマシテ、一年間ニ十五圓
三十七錢ノ減少ト云フコトニナツテ居リマ
ス、更ニ之ヲ時間ニ割ツテ見マス、労働者
ノ一時間當リノ賃銀ハ十一年ニハ十九錢二
厘デ、十二年ニハ十八錢九厘デ、三厘下ツ
テ居ル結果ニナルノデアリマス、即チ商工
省ノ發表シタ數字ガ如實ニ之ヲ示シテ居ル、
私ハ實際工場ノ中デ毎日働イテ居リマシテ、
労働者ト共ニ生活ヲシテ居ル者デアリマス
カラ、労働者ガ今日如何ナル生活ヲシテ居
ルカト云フコトハ能ク知ツテ居リマス、世
間カラハ軍需關係ノ工場ハ非常ニ盛デア
ル、晝夜ヲ分クズ、煙突カラ黒イ煙ヲ吐

増シテ居リマス、更ニ労働者一人デ一時間
ドレ位ノ生産ヲ舉ゲテ居ルカト勘定シテ見
マス、十一年ニハ一時間一圓八十錢デア
リマシタモノガ、十二年ニハソレガズツト
殖エテ、二圓十七錢ト云フコトニナツテ居
リマス、即チ斯ウ云フ計數カラ申シマス、
事業主ト云フモノハ非常ニ儲カツテ居ルコ
トハ明瞭デアリマス、所ガ之ヲ労働者ノ建
前カラ計算ヲシ直シテ見マス、賃銀ハ澤
山拂ハレテ居リマスケレドモ、之ヲ一人當
リノ一年間ノ所得ト云フモノニ換算シテ見
マス、労働者ノ一人當リノ收入ハ、十一
年ハ五百九十五圓デ、十二年ハ五百七十九
圓六十三錢ト下リマシテ、一年間ニ十五圓
三十七錢ノ減少ト云フコトニナツテ居リマ
ス、更ニ之ヲ時間ニ割ツテ見マス、労働者
ノ一時間當リノ賃銀ハ十一年ニハ十九錢二
厘デ、十二年ニハ十八錢九厘デ、三厘下ツ
テ居ル結果ニナルノデアリマス、即チ商工
省ノ發表シタ數字ガ如實ニ之ヲ示シテ居ル、
私ハ實際工場ノ中デ毎日働イテ居リマシテ、
労働者ト共ニ生活ヲシテ居ル者デアリマス
カラ、労働者ガ今日如何ナル生活ヲシテ居
ルカト云フコトハ能ク知ツテ居リマス、世
間カラハ軍需關係ノ工場ハ非常ニ盛デア
ル、晝夜ヲ分クズ、煙突カラ黒イ煙ヲ吐

イテ「エンデン」ノ唸リハ轟々ト響イテ居ル、非常ニ景氣好サザウニ言ハレテ居リマスケレドモ、實際其處ニ働イテ居ル労働者ノ實收入ト云フモノハ殖エテ居ラナイ、ソレニモ拘ラズ、何故世間ハア言フノダラウカト云フコトヲ、私ハ不審ニ思ツテ居ツタ者デアリマス、勿論中ニハ特殊ノ技術ヲ持チ、特殊ノ立場ニ於テ、特殊ノ例外的ノ收入ヲ擧ゲテ居ル者ガアリマス、ケレドモ是ハ例外的デアリマス、商工省ノ發表シマシタ偽ラザル統計ガ示シテ居ルガ如クニ、労働者ノ實際ノ收入ト云フモノハ殖エテ居リマセヌ、ソレニモ拘ラズ今ノ大臣ノ御答辯中ニアリマシタヤウニ、物價ハ御承知ノ如ク上ツテ居リマス、斯様ニシテ労働者俸給生活者ノ生活ハ、非常ニ苦シクナツテ居ル、斯ウ云フ時ニ當リマシテ大藏當局ハ、兎ニ角國民ノ貯蓄ガ必要デアルト云フコトカラ、賀屋前大藏大臣以來國民ノ貯蓄獎勵ニ大重ニナツテ居ラレマスコトハ、洵ニ結構ナ事柄デアリマシテ、國民モ亦ソレニ共鳴シテ色々消費節約シテ貯蓄ノ増大ニ努メテ居ルノデアリマスガ、茲ニ大藏當局ノ非常ナル努力ニ依ツテ、各會社工場ニ對スル貯金ノ獎勵ガ行ハレテ居リマス、是ハ關西方面デ行ハレタモノデアリマスガ、

國民貯蓄ノ率ニ關シテハ、國民貯蓄獎勵局配布ノ國民貯蓄規約例ト云フモノガ出來テ居リマスガ、其ノ一ツノ別表ニ準據スルヲ適當トスルガ、少クトモ左記ノ最低限度トスルコトト云フヤウナコトヲ、關西方面ノ各關係者ガ會合シテ、協議ノ結果決メタノデアリマス、ソレニ依リマス、俸給百圓未滿ノ者ハ百分ノ三、二百圓未滿ノ者ハ百分ノ五、三百圓未滿ノ者ハ百分ノ八、五百圓未滿ノ者ハ百分ノ十、五百圓以上ノ者ハ百分ノ十五ヲ少クトモ最低限度トシテ貯金セシメル、斯ウ云フ申合せガ出來タ、ソレデ昨年ノ暮カラ各會社工場ニ於テ、著々是ガ實現ヲ圖ツテ居ルノデアリマス、恐ラク郵便貯金ガ昨年ノ暮カラ今年ノ一月ニ掛ケテ、殊ニ一月ニハ急激ニ殖エタト云フコトモ、斯ウ云フコトノ結果カラ來テ居ルト思ヒマス、即チ私共十二月ノ末カラ一月ヘ掛ケテ働イタ俸給七十八圓ノ中カラ、五圓五十錢ノ此ノ貯金ヲシタノデアリマスガ、サウ云フヤウニ私共ノ工場ニ居ル五千人ノ労働者モ、是ヨリモツト一段ト強イ率ノ貯金ヲ今月カラヤルコトニナリマシタ、サウシテ五千人ノ労働者中一人ノ不平ヲ言フ者モナク、勿論工場主ノ言フガ儘ニ、申合せノ通りニ、發表ノ儘ニ何等ノ不服モ申立デズシテ、皆

ナ之ニハ從順ニ服シテ、此ノ非常時ノ突破ニ協力スルト云フ認識ヲ高メ、是ガ最近マデ行ハレツツアルノデアリマシテ、洵ニ結構ナコトト思ヒマス、ケレドモ先刻モ申シマシタヤウニ、労働者ノ實際ノ收入ハ殖エテ居ラスト云フコトヲ御認識願ヒタイト思フ、而モ一方ニ於テハ物價ハ非常ニ騰貴シテ居ル、公債消化ノ爲ニ一方ニ労働者俸給生活者ニ對シテ、勿論是ハ強制デアリマスマイ、併シ斯ウ云フ時局デアリマスルカラ、工場會社ニ於テ是々ノ方法ニ依ツテ貯金ヲ行フノダト言ハレタナラバ、誰モソレニ反對ハ出來ナイノデアリマス、ソコデ自分ノ生活ハドンナニ苦シクテモ、兎ニ角ソレニハ服シテ行カケレバナラナイノデアリマス、私共ノ工場デ一番收入ノ多イ者ハ獨身者デ三百圓以上デアリマスガ、其ノ人ハ百分ノ五十マデ貯金ヲスルノデス、サウ云フ非常ニ高率ナ貯金ヲスルコトニナツテ居リマスガ、ソレニモ不服ハ言フコトガ出來ナイ、中ニハ實際可哀相ナ者ガアリマス、借金ヲ持ツテ居ツテソレヲ返スノニ苦心ラシテ居ル、サウ云フヤウナ苦心ラシテ居ル中カラモ、兎ニ角是ガ國家非常ナ時局ニ於テ必要ナコトデアルカラト云フノデ實行シテ居ル、貯金ヲ實行シヨウトスレバ、ソレ

ニ不服ヲ言フ譯ニハ行カヌ、皆貯金ヲシテ居リマス、ソレハ決シテ惡イコトデハナイ消費節約ヲシテ物價騰貴ヲ抑制スルト云フコトデアリマスカラ、非常ニ善イコトデアリマスルケレドモ、此處ハ一ツ能ク御考ニナツテ置キマセヌト、若シ國民ノ間ニ色々怨嗟ノ聲ノ起ルヤウナコトガアツテハ大變デアリマス、ソレカラ大臣ハ強制スル意思ハナイ、飽クマデモ國民ノ愛國心ニ依ル公債ノ自由消化ヲ念願トシテ居ラレルヤウデアリマスルケレドモ、私ハ此ノ方法ハ決シテ本當ニ自由ニ放任シタ所ノ、自由消化ノ方法デハナイト思ヒマス、一般労働者俸給生活者ニハ、強制ト云フ言葉ハ用ヒラレマセヌケレドモ、兎ニ角反對出來ナイ方法ニ於テ、半強制的ニ此ノ貯蓄ガ行ハレテ居ル、是ハ言ヒ換ヘマスナラバ労働者俸給生活者ニハ強制ニ等シイ所ノ國債消化ノ一ツノ方法トシテ、斯ウ云フコトガ行ハレテ居ルノデアリマスマイカ、サウ云フコトモ言ヒ得ラレルノデアリマスマイカ、之ニ對シマスル大臣ノ御所感ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 色々詳細ニ數字ヲ擧ゲラレテ、労働者ノ賃銀ハ決シテ實收入ガ上ツテ居ラス、斯ウ云フ御話デゴザイマシタ

ガ、是ハ私共服シマセヌ、殷賑産業ニ於テ今日労働者ノ賃銀ガ相當上ツテ居ルコトハ、是ハ先ヅ大體常識ト考ヘテ宜イノデハアルマイカト存ジテ居リマス、是ハ今御述ニナリマシタ數字ガ、新シイ職工ヲ含シテ總體的ノモノノ平均テアルカラデハナイカト思ツテ居リマス、商工省ノ統計ガ如何出來テ居リマスカハ私能ク存ジマセヌガ、或ハサウデハアルマイカト思ツテ居リマス、ソレト昭和十二年ノ統計デゴザイマスガ、昨昭和十三年ニ至ツテ其ノ騰勢ガ更ニ加ツテ居ルノデハアルマイカト思ツテ居リマス、サウ云フ關係ガアリマスノデ、今日厚生省ニ於テモ總動員法ヲ色々發動シマシテ、引拔爭奪防止ヲヤル必要ガアルトカ、其ノ他賃銀ノ統制ニ付テ考ヘテ居ルノデアリマスガ、是等ノコトヲ若シアナタノ仰シヤルヤウニ、労働者ノ賃銀ガ實質上、下ツテ居ルノデアラナラバ、決シテ今マデ總動員法ヲ發動スル必要モナイ譯デハアルマイカト思ツテ居リマス、是ハ賃銀ノ相當ナ昂騰ヲ見タ結果デハナイカト思ツテ居リマス、併シ私ハ今此處ニ數字ノ持合セモゴザイマセヌ、唯左様ナコトニ相成ツテ居ルノデハナイカト思ツテ居ルノデゴザイマス、併シサレバト言ツテソレガ極メテ不當ナコトデ

アリ、又サウ云フコトガアルコトハ不道德ナコトダト云フヤウニハ、私ハ考ヘテ居リマセヌ、私ノ考ヘテ居リマスノハ、其ノ賃銀ノ上ツタ部分ニ付テ出來ルダケ消費ヲ節約ヲスル、一般ノ物資ヲ買ハレナイデ貯蓄ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ御願シテ居ル譯デアリマシテ、其ノ賃銀ノ増加シタ部分ニ付テハ、出來ルダケ之ヲ金錢貯蓄ニシテ戴キタイ、ソレハ一己人トシテハサウ大キナ額デハゴザイマスマイ、併シ人數ガ集リマスト非常ニ大キナ額ニナツテ來ルノデアリマスカラ、消費ニ向フノ貯蓄ニ向フノトデハ、國ノ經濟ニ大キナ關係ガアルト思フノデアリマス、又事實收入ガ増加致サナクトモ、此ノ際貯蓄ヲ獎勵シテ居ル次第デゴザイマス、現ニ官廳ノ判任官ノ人々ニアリマシテモ、是ハ昭和六年ニ減俸ヲ致サレタ儘更ニ増加シテ居ナイ者モゴザイマスガ、是等ノ人々ニモ皆貯蓄ヲシテ貰ツテ居ルノデゴザイマスカラ、私共モ工場ニ赴キマシタヤウナ場合ニ、労働賃銀ガ増加シテ居ルカラ必ズ貯蓄ヲヤツテ戴キタイト申シテ、獎勵シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、増加シテ居ル方モシテナイ方モ、從ンヤ實質上ニ於テ賃銀ガ寧ロ下ツテ居ラレルヤウナ方デモ、尙ホ此ノ際ノ問題トシテハ是非貯

蓄ヲシテ戴キタイ、斯ウ御願致シテ居ル譯デゴザイマス、其ノ點塚本サンハ、大藏大臣ハドウモ餘リ職工ノ境遇ガ好クナツテ居ルヤウニ思ハレテ居ルガ、ソコハ考ヘロ、斯ウ云フコトノ仰セテアリマスガ、其ノ點ハ、私共モ十分ソレハ考ヘマセウ、又同時ニアナタ方ノ方ニ於テモ、是ハ餘程考ヘテ戴キタイト思フノデゴザイマス、ソレカラ、其ノ次ノ御尋ノ問題ハ、今日ヤツテ居ルコトガ自由ダ、ト言フケレドモ、半強制的ニキツテ居ルデハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、貯蓄ノ獎勵ハ強制ハシナイト言ツテモ、相當強力的ナ意味ヲ持チマセヌト、中々實行ハレナイノデアリマスノデ、相當強力ニ行ハレテ居ルトハ思ツテ居リマスガ、法制上別ニ強制致シテ居リマセヌコトハ、是ハ私ガ申スマデモゴザイマセヌガ、ドウモ之ヲ強制シテ法律上此ノ點ヲハツキリサセテ、誰ガ幾ラ貯蓄シナケレバナラヌト云フコトハ、實際問題トシテハ、私ハ中々難カシイト思フノデス、先般來貯蓄ニ付テモ何トカ強制スル途ガアルカト思ツテ、色々考ヘテ見タノデアリマスガ、是ハ實際問題トシテ各人強制貯蓄ヲスルト云フコトハ、法律トシテハ是ハ極メテ難カシイ法律ダト思フノデアリ

マス、サウ云フ難カシイ法律ニ依ラズトモ、オ互ガ半分強行的ニ、オ互ノ收入ノ幾分ヲ此ノ際貯ヘヨウト云フ方ガ、貯ヘル側カラ行キマシテモ、自ラ進ンデヤツテ居ルノダト云フ氣持ニ於テ、非常ニ氣持ノ好イ所モアルト思フノデアリマシテ、ソレハ全ク各人ガヤツテモ、ヤラナクテモ構ハナイノダト云フ立場ニハナイト仰シヤイマシタガ、ソレハサウデアアルカモ存ジマセヌ、併シオ互ノ申合セニ依ツテ、進ンデ貯蓄スルト云フコトノ形式デ、實行キタイト思ツテ居リマス

○塚本委員 國民ノ貯蓄ニ付テハ私モ同感デアリマシテ、寧ロ今日ノ行キ方ノ方ガ宜イノデハナイカト考ヘテ居リマス、努メテ是ハ實行ヲ舉ゲルヤウニ、吾々モ協力シテ行キタイトハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ大臣ガ此ノ點ヲ、全ク強制ヲシテハ居ラヌノダト云フ、斯ウ云フ飽マデモ總テガ自由ニ行ハレテ居ルノダト、斯ウ御考ニナツテ居リマス、サウデハナイト云フコトヲ申上ゲザルヲ得ナイノデアリマス、誰モ反對ハシナイケレドモ、兎ニ角サウ云フ實情ノ下ニ於テ、國民貯蓄ト云フモノハ行ハレテ居ルモノデアルト云フ御認識ガ願ヒタイノデアリマス、一方サウ云フ風ニ労働者、

俸給生活者ノ給料ノ中カラ、サウ云フ反對ノ出來ナイ方法ニ依ツテ、既ニ貯蓄ガ行ハレテ居ルトシマスレバ、其ノ他ノ方面ニ於キマシテモ、ソレト同様ナ方法ガ講ジラレテ然ルベキデハナイカ、或ハ資本家ノ利潤ニ對シマシテモ、或ハモット高給ヲ食ンデ居ル人達ニ對シマシテモ、同様ニ國民全體ガ此ノ國難ヲ突破スル爲ニ國民ガ協力シテ、犠牲ヲ公平ニ分ケ合ウテ、サウシテ此ノ時難ヲ突破シテ行カウト云フコトガ建前デアリマスカナラバ、此ノ方針ガモット多方面ニ押擴ゲラレテ然ルベキデハナカラウカ、當局ハ國債ノ強制保有ノ意思ナシト云フコトヲ言ツテ居ラレマスガ、同様ナ趣旨ニ於キマシテ、強制保有トマデハ行カナクテモ、何トカシテ之ニ類スルヤウナ形ニ於テ、持テル者ガ國債ヲ保有シ得ルヤウナ、又セシムルヤウナ方法ヲ御考ニナツテ居リマセウカ伺ヒタイノデス

○石渡國務大臣 隨分各方面ニ於キマシテ、國債ノ普及ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、決シテ獨リ勤勞生活者ダケニ對シテ之ヲ獎勵致シテ居ル譯デハゴザイマセスガ、如何ニモ勤勞所得者ハ實ハ非常ニ數ガ餘計デアリマスノト、斯ウ申シテハ是ハ叱ラレルカモ分リマセスガ、又語弊ガアルカトモ思フ

ノデスガ、エテ物ヲ買フ趣味ト申シマスカ、買フコトガ餘計デアアルノデアリマス、是ハ役人ノ例ヲ採リマシテモ、役人モ月給ガ少イノデアリマスカ、中々物ヲ買フ階級デアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ俸給生活者ノ無駄使ヒト云フモノ——無駄使ヒト云フ言葉ハ惡イカモ分リマセスガ、俸給生活者ノ消費ヲ制限シテ、サウシテ貯蓄ヲシテ貰フト云フコトガ、此ノ貯蓄ノ上ニ於テモ相當大キナ效果ガアルト思ツテ居ルノデアリマシテ、努メテ其ノ獎勵ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又併シハ獨リ勤勞所得者バカリデハゴザイマセス、隨分地方農村等ニ於テモ今日一生懸命ニ貯蓄ヲシテ居テ呉レルノデアリマシテ、此ノ點ハ洵ニ國民全體ノ貯蓄ニ精進シテ居リマスコトニ付テハ、深く感謝シテ居ル次第デアリマス

○塚本委員 時間ノ關係モアリマスノデ、此ノ問題ハ此ノ程度ニ措キマシテ、アト二ツ極メテ簡單ニ質問シ、御答ヲ願ツテ置キマスカ、ヤハリ貯蓄報國ニ關シマシテ、逓信省デハ郵便貯金ヲ二千圓カラ四千圓マデ最高額ヲ引上ゲタラドウガラウカト云フ案ガ出來ツアルヤウデアリマスガ、大藏當局トシテノ御意見ヲ伺ヒタイ

○石渡國務大臣 ソレハ目下考ヘテ居リマ

ス、郵便貯金ノ最高額二千圓ヲ三千圓ナリ四千圓ナリニ引上ゲルト云フコトガ、ドレダケノ效果ガアルカ、是ハ寧ロ表看板ノ方ガ或ハ大キイカモ分リマセス、二千圓モ郵便貯金ヲシテ居ルト云フ人ハ、數ニ於テ極メテ少ウゴザイマス、是ハマア御存ジノ通りダト思フノデスガ、隨テ之ヲヤツタガ爲ニ一方影響ヲ受ケル方面ノコトモ、是亦考ヘテ行カナケレバイカスト思ツテ居リマス、是ハ目下關係當局ニ於テ相談中デアリマス、隨テ今日マダ何等決定シテ居リマセス

○塚本委員 モウ一點此ノ機會ニ御伺シテ置キマスコトハ、今度ノ議會ニ私ハ所得稅法ノ中ノ改正案ヲ、法律案トシテ出シタノデアリマスガ、其ノ趣旨ハ國民ノ所得額ヲ決定シマスカ、御承知ノヤウニ、扶養家族ノ控除ガアリマスルシ、一ツニハ生命保險ノ掛金一年間ニ二百圓掛ケテ居タラ、申告ノ際ニ控除スル規定ガアリマス、勞働者ノ健康保險ノ掛金ヲ、同様ニ此所得カラ控除シテ貰ヒタイト云フコトヲ、長イ間私ハ當局ニ希望シテ來マシタ、嘗テハ決算委員會ニ於キマシテ、結城大藏大臣ニモ質問致シマシタラ、趣旨ハ洵ニ結構ダト云フコトデアリマシタシ、今日ノ厚生省ニ居ラレマスル當時ノ內務省社會局ノ人々モ、ソ

レハ當然ナ事ダ、斯ウ云フコトデアリマシタ、又過グル議會ニ於キマシテハ、増稅委員會デ、河野密代議士カラ同ジヤウナ質問ヲシテ戴キマシタガ、ソレハ尤ダ、理論上サウアルベキデアルト云フ答辯ヲ得テ居ルニモ拘ラズ、ソレノ改正ガ未ダニ行ハレナイノデアリマス、御承知ノヤウニ勞働者ノ健康保險ノ掛金ト云フモノハ、最高級ノ十六級デモ標準日額ハ四圓デアリマスガ、ソレノ百分ノ二ノ月二圓四十錢デアリマス、隨ヒマシテ一年間ニハ二十八圓八十錢トナルノデアリマスガ、健康保險ハ強制保險デアリマス、而モ其ノ掛ケタ人間ガ一年カ二年カ、或ハ十年間モ、一生無事息災デアリマシテ、怪我ヲシナイ、病氣ニモ罹ラナカツタト云フヤウナコトガアリマシテモ、其ノ掛金ハ一切返ツテ來ナイノデアリマス、其ノ點ハ生命保險ナドトハ大分性質ヲ異ニシテ居リマス、サウ云フ點カラ考ヘマスト、當然是ハ申告シマスカナラバ、控除セラルベキモノデアルト考ヘマスルガ、此ノ機會ニ

○石渡國務大臣 ソレハ能ク研究致シテ見マセウガ、役人ノ納付金ト云フモノモゴザイマスシ、是モ今日月給カラ文官百分ノ二、武官百分ノ一ツツ引カレテ居リマス

ガ、是モ所得稅デハ控除シテ居リマセス、其ノ儘受取ツタモノトシテ課稅シテ居ルノデアリマス、只今ノ健康保險ノ問題其ノ他ニモ、色々關聯致シタ問題ガアルト思ツテ居ルノデアリマスガ、能ク一ツサウ云フ點ニ付テハ研究致シマス

○塚本委員 只今ノ答辯ニ、役人ノ納付金ノコトヲ云々ト仰シヤイマシタケレドモ、是ハ全ク性質ヲ異ニシテ居ルト思フノデアリマスシ、殊ニ生命保險ノ掛金ト云フモノト、健康保險ノ掛金ト云フモノヲ比較御研究下サイマシラバ、是ハ極メテ理ノ當然デアリ、簡單明瞭ナ問題デアルト思ヒマスカラ、一ツ御同意下サイマシテ、此ノ機會ニ兩院ヲ通過スルヤウニ、是非共御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、其ノ御氣持ニナツテ貰ヒタイト思ヒマス、是デ質問ヲ打切りマ

ス
○板谷委員長 青木君ニ申上ゲマス、アナタノ質問ノ順序デアリマセスケレドモ、此ノ際御許シマスガ、モウ時間モ切迫シテ居リマスカラ、極メテ簡單明瞭ニ御質疑ヲ願ヒマス——青木作雄君

○青木委員 私ハ大藏大臣ニ御伺シタイト思ヒマスガ、現在日本ノ有スル公債發行能力ハ如何程アルカト云フコトニ付テ、御伺

シタイノデス、是ハ固ヨリ國民所得ニ根據ヲ置クモノデアリマスガ、先般松村政務次官ノ仰シヤイマシタ如ク、非常ノ場合ニハ更ニ國民ノ蓄積セル富ニ對シテモ喰込ムコトガアリ得ルノデアアル、併シ私ハサウ云フ見方トハ別ニ、公債ノ目的ガ主トシテ軍需資材ノ調達ニアルノデアリ、物ヲ離レテ金ヲ調達シマシテモ、唯「インフレ」ヲ起スニ止マリ、大體一定ノ物資シカ調達出來ナイト云フコトガ現實デアリマス、其ノ爲ニコソ物資動員計畫ガヤカマシク言ハレテ居ルト思フノデアリマス、即チ外債ハ募レナイ、「クレデット」ノ設定モ見込ハ薄イ、輸出シ得ルモノハ大體最大限度ニ輸出シテ居ル、ソレガ今年生産サレタ物デアラウト、或ハ過去ニ生産サレタ骨董品デアラウト、其ノ如何ヲ問ハナイノデアリマス、故ニ結局第一ニ國內生産力ノ許ス限リノモノカラ「マイナス」國民ノ生活必需品、第二ニハ蓄積セラレタ財、第三ニハ輸入能力、第四ニハ占領地及ビ滿洲國內ノ生産力ノ總和カラ其ノ消費量ヲ差引イタモノ、即チ是ダケノ總計ガ公債ノ發行限度デアルト自分ハ考ヘテ居リマスガ、大藏大臣ハ發行能力ト云フモノヲ如何様ニ考ヘテ居ラレルカ、次ニ來年度ハ追加豫算ヲ總計スルト、公債發行額ハ七十億ニ

垂トスルノデアリマスガ、是ハ現在ノ最大限度ヲ意味スルモノデアアルカ、即チ來年度日滿支ヲ總動員シテ得ラレル軍需品ノ最高限度——是ハ軍需品ヲ主トスルノデアリマスガ、其ノ最高限度ヲ調達スル目的ヲ以テ、目標トセラレルモノデアアルカ、我國ハ今ヤ「ソ」支兩面作戰ヲ基準トシテ時局ニ對處シテ居リマス、然ラバ軍需品ハ多々益、必要デアリマス、恐ラク物資ガ許スナラバ、百億デモ二百億デモ此ノ際國家ノ能動的需要ニ依ツテ、作戰竝ニ建設ヲ圖リタイノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ事情カラ見ルト私ハ最大限ヲ計上スベキモノデハナイカト思フ、固ヨリ其ノ支出ニ當ツテハ、細心ノ注意ト精密ナル計畫ニ依ラナケレバナラスノデアリマスガ、兎ニ角公債ニ對シテハ斯様ナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、然ルニ政府委員ハ屢、發行餘力ヲ多分ニ存スルヤウナ御意見ヲナサレル向キガアルノデアリマス、然ラバ政府ハ來年度ノ公債ニ於テ其ノ餘力ヲ存シテ居ルト思ハレルノデアリマスガ、私ト雖モ一般ノ消費ヲ此ノ上節約シマシテ、更ニソレニ依ツテ軍需品ノ調達其ノ他ノ餘地ガマダアルト云フコトハ認メテ居リマス、然ラバ其ノ餘力ト云フモノハ之ヲ指シテ言ハレルノデアアルカ、若シ其ノ

餘力ト言ハレルノガ、斯ウ云フ餘裕ヲ其ノ儘ニ存シテ、更ニ前ニ申シマシタ一切ノ財物ノ總和ヲ目標トシテ、其ノ中ニ幾ラカラ殘シテ居ルト言ハレルノデアアルカ、詰リ私共ハ追加豫算ガ提出サレタ場合ニ考ヘ得ベキ龐大ナル總豫算ノ實效ヲ期スル上ニ於テモ、國民ノ覺悟ヲ促ス上ニ於テモ、大藏大臣ハ此ノ公債發行ニ當ツテノ能力ヲ豫算トノ關係ニ付テ、ハツキリ仰セラレルコトガ必要デハナイカ、若シ御差支ガアリマスレバ、別ノ機會ニ御伺ヒシテモ宜シウゴザイマス

○石渡國務大臣 國債ヲ一年ニ幾ラ發行出來ルカ、ソレ以上發行スルコトハ出來ナイカト云フ問題ハ、是ハ計數ヲ以テ、是レ以上ハムツカシイ、是ナラ十分出來ル、斯ウ云フコトハ中々困難デアルト思フノデアリマス、又ソレガ爲ニ色々誤解ヲ招ク虞モアルト思フノデアリマス、是ハ先般來御説明致シテ居リマス通り、一面ニ於テハ此ノ政府資金ノ撒布ニ依ルモノト思フノデアリマス、撒布サレテ行クニ從ツテ、ソレガ資金ニナツテ來ル、公債ガ消化サレテ行ク譯デアリマスカラ、資金ノ撒布サレナイ時期ニ於テハ、國債ノ消化ニ付テハ非常ニ困難ヲ感ズル、ソレデアリマスカラ昭和九年十二

月ニ臨時利得税三千万圓ヲ提案致シマシタ
時分ニハ、三千万圓デ財界ガ非常ナ「シヨッ
ク」ヲ感ジタ、今日ハ一億萬圓ノ増税ヲ
スルト言フテモ、財界ハ「シヨック」ヲ感ジ
ナイ、此ノ三千万圓デ非常ナ「シヨック」ヲ
與ヘタト云フコトハ一體何處カラ來テ居ル
カト云ヘバ、ヤハリ其ノ當時ノ金廻リノ狀
況ト云フモノガ今日程宜クナカツタ、デフ
レーショント言ウテハ語弊ガアルカモ知レ
マセヌガ、兎ニ角金ガサウ廻ツテ居ナカッ
タモノデスカラ、隨テ三千万圓ノ増税デモ
非常ナ「シヨック」ヲ與ヘタ、此ノ事變ノ始
マツタ一昨年七月ノ初ニ於テ、一億圓ノ公
債ヲ募ルト云フコトニ非常ニ骨折ツタコト
ガアリマス、ソレハ各銀行ガ一億圓ヲ引受
ケタノデアリマスガ、其ノ一億圓ヲ引受ケ
タト云フコトニ依ツテ、金融界ハ非常ニ逼
迫ヲ感ジタ、サウ云フ場合ニ於テハ中々國
債ガ消化サレナイ、ソレデ一昨年七月八月
ノヤウナ金融狀態デアリマス、一箇
月一億圓ノ公債ノ消化デモ非常ニ困難ヲ
感ズル、所ガ一昨年十一月十二月ニナ
ツテ來テ、一方ニ於テ政府資金ノ撒布
ガ行ハレル、斯ウ云フコトニナツテ來ル
ト、一箇月ニ三億圓公債ガ募レテモ四
億圓公債ガ募レテモ、財界ハビクトモシナ

イ、斯ウ云フコトニ相成ツテ來ルノデアリ
マシテ、是ハ富ヲ集メテ計算シマシテ、サ
ウシテ其ノ三分ノ一ハ宜シイ、四分ノ一ハ
宜シイ、五分ノ一マデハ公債ガ募レルト云
フヤウニ、中々サウ云フヤウナ數字デハ測
ラレナイト思ヒマス、ヤハリ一面ニ於テハ
金融狀態ニモ支配サレルト思フノデアリマ
ス、然ラバト言ツテ自ラソコニモ國力ノア
ルコトデアリマスカラ、一千億モ一兆億モ
公債ヲ出シテ、ソレヲ廻シタラ宜カラウト
言ツタ所デ、ソレハ中々廻ルモノデハナイ、
ソコニハヤハリ自ラノ限度ガアルト思フノ
デアリマス、今アナタノ仰セノアツタヤウ
ニ、物ニ依ツテ一面ニ於テハ支配サレルデ
ハナイカ、ソレハ其ノ通りダト思ヒマス、
物ニ依ツテ一面ニ於テ金ト云フモノガ制限
ヲ受ケテ來ルト云フコトハ、其ノ通りダト
思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、
此ノ豫算ノ編成ニ當リマシテモ、物トノ睨
合ヒ、ソレカラ一般民間ニ於ケル所ノ物資
ノ需要供給ノ狀態ト云フモノト、豫算ノコ
トト十分ニ睨合ハセテ行カナケレバイケ
ナイト思フノデアリマスガ、茲ニ金ノ方ハ、
簡單ト申シテハ語弊ガアリマスガ、金ハ一
本デ、日本銀行ノ兌換券ガ餘計出ルカ出ナ
イカト云フコトデ、金ノ方ハ極メテ簡單デ

アリマス、札ノ問題デアリマスルカラ比較
的簡單デアリマス、所ガ物ト云フモノハ千
差萬別デアリマスノデ、此ノ方ノ計算、此
ノ方ノ需要供給ノ關係ト云フモノハ、中々
實ハ難シイノデアリマス、隨テ此ノ計算ニ
付テモ皆中々間違フノデアリマス、歐羅巴
ノ諸國ガ一昨年ノ七月、日支事變ガ始マツ
テ、日本ガ其ノ内ニ經濟力デ弱ルデアラウ
ト考ヘタナドト云フ噂ノアリマスコトモ、
日本ニ對スル物ノ計算ヲ彼等ガ考ヘ違ヒシ
テ居ツタ、斯ウ云フコトニ歸著スルト思フ
ノデアリマス、此ノ物ハ御承知ノ通り是ハ
資金調整法ノ問題ニ依ツテモ、多クナツタ
リ少クナツタリスル、又廢品回收ガ十分ニ
行ハレルカ行ハレナイカニ依ツテモ、物ハ
少クナツタリ多クナツタリスル、輸入力ノ
關係亦同様デアリマス、隨テ此ノ物トノ關
係ニ付テハ十分考ヘテ居リマスガ、是ハ中々
難シイノデアリマシテ、物ノ方面カラ來
テ公債ハ幾ラニ發行ヲ限ラレルカト云フコ
トモ、是モ中々計數上出テ來ルカト云フト、
此ノ計算ヲ致スコトモ非常ニ困難デアリマ
ス、併シナガラ此ノ物ト金トノ間ヲ十分ニ
睨合セマシテ豫算ヲ編成シタイ、又其ノ編
成シテ豫算ニ付テハ、努メテソレヲ實行シ
テ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイ

マス
○青木委員 公債ト其ノ時ノ金融市場ト云
フコトハ、其ノ個々ノ場合ニ於キマシテハ
只今仰シヤイマシタヤウナコトモアリマス
ルガ、私ノ間ヒマシタコトハ、國民ガ非常
ナ愛國心ヲ將來ニ於テモ出スモノデアル、
之ニ變リハナイモノデアルト云フコトヲ先
ヅ前提トシ、政府モ公債消化ニ誤ナキ方法
ヲ講ゼラレルモノトシマシテ、私ハ質問シ
テ居ルノデアリマス、只今大藏大臣ノ仰シ
ヤルコトカラ考ヘテ見マスルト、豫算編成
ニ當ツテ、將來ノ一年間ニ於ケル金融市場
ヲ豫見シ、ソレニ依ツテ調達シ得ル範圍内
ノ公債額ト云フモノヲ定メ、更ニ物資方面
ノコトモ之ヲ調査シテ、ソレノ範圍内ニ於テ
豫算ヲ計上セラレタヤウニ、私ハ誤解カモ
知レマセヌガ聞エルノデアリマス、サウスル
ト客觀的情勢ト云フモノノ中ニ金融界ノ動
キト云フコトヲ頭ニ入レテ、唯物ダケデハ
ナクテ金融界ノ動キト云フコトニ對スル顧
慮ガ、重要ナル要素トシテ動イテ、ソコニ
公債發行總額ト云フモノガ決マルモノデア
ル、ト斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、申ス
マデモナク今回ノ事變ハ我が國力ヲ賭シテ
行ヒツツアル、支那ニ對シテ賭シナクテモ
周圍ノ國際間ニ對シテ賭シテ戦フダケノ決

意ヲ持ツテ行カケレバナラス、況ヤ前ニ申シマスヤウニ、ソレ支兩面作戰ヲヤルノデアリマスカラ、全力ヲ擧ゲラレルダケノ公債ヲ計上サレ、物資ヲ調達セラレルコトデアラウト、私ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、又サウナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、何カ大臣ノ御考ニ依リマスルト、サウ云フヤウナ周圍カラ切迫セラレタモノデナクシテ、アナタノ豫見ニ依ツテ金額ガ決定サレタヤウニ思ハレル、私ノ想像シマスニハ、昨年五十億圓ノ臨時費ガ出マシタ時デモ、果シテ是ガ消化サレ得ルヤ否ヤト云フコトハ、ヤツテ見ナケレバ分ラナカッタノデヤナイカ、兎ニ角此ノ事變ヲヤル上ニ於テ、國民ノ精神ト物資ノ凡ユルモノノ最高限ニ發揮シマシテ、サウシテ此ノ事變ニ當ラウト云フ決意ノ現レガ、其ノ金額ニ因ハレズシテ、即チ過去二億圓ノ公債發行ニ困難ヲシヤウガ、或ハ二千万圓ノ公債發行ニ非常ナ恐慌ヲ來スヤウナ前兆ヲ生マウガ、左様ナ過去ノ事象ニ因ハレズシテ、一切ヲ將來ニ向ツテ國民ノ總力ノ發揮ニ求メテ、私ハ此ノ巨大ナル金額ト云フモノヲ決定セラレタモノデアラウト思フノデアリマス、又將來ニ於テモ國際間ノ情勢ノ變轉ニ依リマスレバ、ドレダケデモ金額ヲ二百億、三百億ト計上サレマ

シテモ、國民ハ其ノ爲ニ心ヲ取亂スヤウナコトノナイヤウニシナケレバナラヌノデアリマスルガ、其ノ意味ニコソ私ハ今回ノ公債ト云フモノノ發行能力ト物資竝ニ國策ノ遂行ニ當ツテノ目標ト云フモノトノ關係ヲ茲ニ御伺スルノデアリマス、大臣ノ御考ニ依リマスレバ、金融界ノ情勢ガ非常ニ良カツタナラバ、物資ノ關係ハドウアラウトモマダ餘力ハ非常ニアルヤウニモ聞カレルシ、物資ガアルト云フコトガ同時ニ金融界ノ情勢ニモ係ハルヤウニモ聞カレル、即チ必ズシモ此ノ豫算ニ依ツテ本年度ハ國民ノ總力ヲ擧ゲテ物資ヲ事變目的ニ集中シテ行カウト云フ御考デハナイ、或ル限度殘シテモ行ケルト云フヤウニモ聞エルノデアリマシガ、モウ一度御答辯ガ願ヒタイノデアリマシ

○石渡國務大臣 市場ノ狀況ニ依ツテ實際ノ公債ノ消化力ガ變ツテ來ル、斯ウ申上ゲタノデアリマスガ、ソレデハ豫算ヲ組ムノニ當ツテ一體市場ノ狀況ハドウ考ヘテ居ルカト云フ御尋カト思フノデアリマス、市場ノ狀況ニ依ツテ其ノ時ノ公債ガ消化サレル、サレヌト云フヤウニ變ツテ來ルト云フコトハ是ハ申スマデモゴザイマセヌガ、豫算ヲ組ム心構トシテハ、是ハ物トノ間ノコ

トヲ主トシテ考ヘテ豫算ヲ組ンデ行ク、斯ウ申上ゲタ方ガ宜イト思フノデアリマス

○青木委員 其ノ問題ハ大體ニ於テ物ヲ中心ニ豫算ヲ組ンデ居ラレルト云フノデアリマスカラ、是ガ總量デアルカ否カト云フコトハ、ドウモ餘リハツキリ答ヘラレスヤウデアリマスカラ、此ノ問題ハ此ノ程度ニシマセウ、次ニ豫算分科會ノ質疑ニ御答ニナリマシテ、大藏大臣ハ今後公債ノ利拂ニ對スル財源ハ、自然増收及ビ増稅ニ於テ賄ヒ得ル見込デアル、將來モ日滿支經濟「ブロック」ノ發展ニ伴ウテ國民所得ガ増加スルカラ、結局利子ハ現在ノ國民カラ取ルノデハナク、謂ハバ無利子ノ公債ヲ發行スルヤウナモノデアルト云フコトヲ言ハレタヤウデアリマシタガ、私ハマダ其ノ速記録ヲ見マセヌカラ、甚ダ相濟マヌ次第デアリマシケレドモ、是ハ相當重大ナコトト思ヒマスノデ、簡單ニモウ一度聽カシテ戴キタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 公債ノ利子ヲドウスルカ、利子ガ餘計ニ上ツテ來テ如何ニナルカ、斯ウ云フ御尋ガアツタノデアリマス、是ハ公債ヲ發行シテ行クニ付テ利子ト云フモノガソコニ出テ來ルノデアリマスガ、利子ニ付テハ其ノ公債ノ償還又ハ利拂ト云フヤウナ

問題ニ付テ、ソレハ相當大キナモノデアラウ、併シナガラソレハ賠償金ヲ取ツテ、サウシテソレヲ返シテ行クノガ本當デアアルマイカ、一體賠償金ヲ取ラズニサウ云フヤウナ大キナ借金ヲ返セルカ、斯ウ云フ御尋デアツタノデアリマス、ソレデソレニ對シテ私ハ將來日滿支ヲ通ジタ所ノ經濟、詰リ大キナ經濟ヲ元ニシテ考ヘレバ、サウ云フヤウナ公債ニ付テ今日サウ御心配ニ相成ル必要ハアルマイ、殊ニ色々利子ニ付テ御話ノヤウデアルガ、決シテ今日ノ場合私ハ利子ニ相當スルダケノ額ヲ増稅シテ居ルトハ申シマセヌガ、併シナガラ増稅其ノ他ニ依ツテ其ノ利子ニ相當スル位ナ金ハ、茲ニ得テ來ルト云フコトデアルナラバ、無利子ノ金ヲ借りテ居ルト同ジ經濟上ノ效果ガアルデアリマセヌカト、斯ウ申上ゲタ次第デス

○青木委員 デハ伺ヒマスガ、増稅ニ依ツテ利子ヲ賄ヘバ無利息デハナイヤウニ思ヒマスガ、如何デセウ

○石渡國務大臣 増稅ニ依ツテソレダケノ金ヲ取ルト云フコトハ、詰リ國ノ收入トシテハソレト同ジ經濟上ノ效果ガアリマス

○青木委員 サウシマススト伺イタイガ、賠償金ハ取ラナクトモ、其ノ賠償金ニ相當ス

ル所ノ財源ガ日滿支經濟全體ノ發展ニ依ツテ得ラレルカラ心配ハナイト云フ御話デアリマスルガ、事變以來官民ノ努力ニ依ツテ著シク生産力ヲ擴大シタコトハ事實デアリマス、生産力ノ擴大ハ同時ニ經濟力ノ増大ヲ意味スルノデアリマスケレドモ、公債財源ニ依ル政府支出ノ幾割ガ生産擴充ニ充テラレ、幾割ガ直接消費ニ充テラレテ居ルカト云フコトヲ吟味シマセスト、早計ニ論斷スルコトハ出來マセスケレドモ、若シ其ノ大半ガ消費ニ充テラレルモノデアツタトシマスレバ略、同額程度ノ公債發行ハ同額ノ消費ノ意味シ、所得ノ新増加トハナリ難イ、即チ昨年五十億圓ノ公債發行ニ依ル政府資金ノ撒布ガ大半消費ニ充テラレタナラバ、本年亦五十億圓計上シテモ、ソレハ新所得ノ増加ニハナリ得ナイヤウニ思ヒマス、然ルニ列國ニ於テハ其ノ公債額ダケ増加スルノデアリマスカラ、私ハ無利息ノ公債ヲ借リルヤウナコトニハナラスト思ヒマス、ソレトモ又其ノ利息ニ相當スルダケノモノハ更ニ公債ガ著シク漸増ノ傾向ヲ示スガ故ニソレダケノ收入ハ上ルモノデアルト云フヤウナ考カラ言ハレタノデアリマスカ

念ニ存ジマス、私ノ申シマシタコトハ、モツト簡單ナコトデアリマシテ、例ヘバココデ百万圓ノ借金ヲスル、五分ニシマシテ五萬圓ノ利子ヲ拂フ、サウスルト百万圓ノ借金ヲスルト毎年五萬圓ヅツ國ハ利子ヲ拂ツテ行ガナケレバナラス、國ノ收入カラ五萬圓ヅツ引カレテ行キマス、サウ云フ風ニ一方デ五萬圓ヅツ國カラ引カレテ行クガ、其ノ五萬圓ダケ別ニ國民カラ税金トシテ收入ヲ受クル、斯ウ云フコトデアルトスルナラバ、一方ニ於テ五萬圓ノ金ガ入ツテ來テ、一方ニ於キマシテ五萬圓ノ金ヲ拂フノデアリマスカラ、税金トシテ受取ル五萬圓、利子トシテ拂フ五萬圓、之ヲ差引シテ考ヘレバ結局五萬圓ノ利子ヲ拂ハナイデ以テ百万圓ノ金ヲ借りテ居ルト云フ、經濟上ソレト略、同様ノ效果ガアリマス、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマシテ、將來ノ日滿支ヲ通ズル所ノ經濟ノ問題トハ、別ニ關係ガナイコトヲ申上ゲタ次第デゴザイマス

○青木委員 只今ノ御話ハ能ク分リマシタ、利息トシテ拂フ代リニ税金ガ一方ニ入レバ相殺サレテ、國民ノ力ガソレダケ殖エテ來タノダカラ、國庫カラ見レバソレダケ無利息ノ金ヲ借りテ居ルト同ジ結果デ、別段政府ノ財政ニ影響ハ起ラヌ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、其ノ增收ト言ハレル其ノ收入ノ方ガ當然増加シナケレバ、ソレハ増税ニ依ルカ——自然增收ノ場合ニ於テハ只今仰シヤルヤウナ結果ニナルガ、増税ニ依リマスレバ、ソレダケ餘計國民ニ負擔ガ掛カルコトニナリマス、無論ソレハ一部ノ國民ニ利子ヲ拂ツテ負擔スル方ハ全體デ出シマスカラ、個々ノ立場デハ取ル者ト出ス者トガ別々デアリマスガ、國家ノ眼カラ見レバ同ジコトデハナイカ、斯ウ云フ意味ナラ是ハ別デアリマスガ、サウ云フ意味合デナシニ、負擔、所得ト云フコトヲ別ニシテ考ヘマシタ時ニハ、私ハサウ云フヤウナコトハ言ヘナイノデハナイカト思ヒマスガ……

○石渡國務大臣 私ハアナタガ今サウ云フ風ニ考ヘラレル其ノ計數上ノ問題ヲ申上ゲタノデアリマス、別ニソレ以外ニ突込シテ申上ゲタノデハゴザイマセヌ

○青木委員 ソレナラバ宜シウゴザイマス、次ニ新支那ノ建設ガ進捗スルニ伴ヒマシテ、技術並ニ資本ノ輸出ガ著大ナルコトハ、言フマデモナイノデアリマス、此ノ産業ノ勃興ハ内地ノ産業ト相剋關係ニ立ツモノガ少クナイ、此ノ場合我國ノ産業ハ事變費ノ重壓ヲ負ウテ、苦難ノ坂ヲ登ルニ反シテ、税金其ノ他非常ニ輕イ負擔ニ立ツ新支那ノ利潤ガ、内地ニ比シテ著シク多イト云フコトハ、當ニ日滿支一體ノ理想ニ反スルノミナラズ、我ガ國內ノ所得額増加ノ趨勢ヲ阻止スル傾向ニアルト思ヒマス、即チ内地ハ所得總額ニ付テ遞減ノ法則ガ適用セラレルニ反シテ、新支那ハ遞増ノ方ニ立ツ、然ラバ藏相ノ御考ニ依ル所ノ公債費財源ハ國內ダケカラ言フナラバ、行詰リヲ生ズルヤウニナリマスルガ、今仰シヤイマシタ日滿支全體ト言ハレルコトハ、新政權ニ向ツテモ、日滿支全體ト云フ意味ニ於テ、將來實力ガ出來レバ、此ノ負擔ヲ負ウテ貰ヒ得ルモノデアアル、又オ五ニ兄弟ノヤウナモノデアアルカラ、入レタ金モ取りタクハナイガ、コチラガ負擔ニ於テ苦シム時ニハ、代償ト云フ意味デナシニ、苦シミヲ俱ニ分チ、樂ミヲ共ニスルト云フ意味合ニ於テ、新政權下ニ於ケル新支那ニ於テモ之ニ應ゼシムルト云フコトヲ豫想セラレテ居ルノデアリマスカ

○石渡國務大臣 是ハ中々重要ナ問題デアリマスト共ニ、中々難々シイ問題デアリマス、内地ノ負擔ガ今後相當増加シテ來ル、滿洲及ビ支那方面ニ於ケル負擔ガ輕イ、隨テ日本ノ工業バカリガ苦シムノデハアルマイカ、斯ウ云フコトニ關聯シテ來ル問題デ

アルト思フノデアリマス、此ノ問題ニ付テハ、餘程將來ノコトヲ考ヘナケレバイカスト思フノデアリマス、結局日本、滿洲、北支ノ三國ノ間ニ於テ、同ジヤウナ産業ガ相競争スルト云フコトニ付テ、一方デハ競争ガ出來ナイト云フヤウナ立場ニ相成ツテハ、是ハ中々容易デナイ問題デゴザイマス、産業ノ種類及ビ發達ノ經過、限度ト云フヤウナモノハ、宜シク其處ニ或ル程度ノ統制ト言ヒマスカ、調整ト言ヒマスカ、ソレガ加ヘラルベキモノデアルト存ジテ居リマス、一寸速記ヲ止メテ下サイ

○板谷委員長 ソレデハ速記ヲ止メテ……〔速記中止〕

○板谷委員長 ソレデハ速記ヲ始メテ下サイ

○石渡國務大臣 仰セノ趣ハ御尤デアルト存ジマス、御趣旨ノ點ニ付テハ將來篤ト考慮シタイト存ジマス

○塚本委員 私一寸一言御尋シタイノデスガ、十三年度ノ公債發行豫定額ガ總計ニ於テ六十五億七千三百萬圓デアツタガ、今日マデノ發行額ガ三十九億三千六百五十萬圓、斯ウ云フ少イ發行ニ止ツタト云フコトハ、是ハ事變費ガ豫期ノ如ク多額ヲ要シナカツタト云フコトデアルカ、又普通歳入ニ於テ、

前ニ大臣ノ御述ニナツタ自然增收ガ多クツタ爲デアルカ、或ハ是以上ノ發行ガ無理デアルト考ヘラレタノデ、此ノ程度ニ止メラレタノデアリマセウカ、此ノ點一寸御伺フ致シマス

○石渡國務大臣 御尤ナル御尋デアルト存ジマス、一月十六日現在マデニ發行致シマシタ公債ノ總額ハ三十八億圓デゴザイマス、其ノ發行額ノ少イ原因ガ何處ニアルカ、斯ウ云フ御尋デアアルノデアリマスガ、事變費ハ相當支出サレテ居リマス、唯一般會計ノ方ノ金ガ實ハ相當ゴザイマス、此ノ方ノ金ガ結局繰廻ツテ、公債ノ發行額ガ豫定ヨリ今日減ツテ居ル狀況デアリマス、普通ノ金ト言ヒマスカ、臨時軍事費以外ノ一般會計ノ方ノ金ガ比較的餘裕ガゴザイマスノデ、公債ヲ發行シナイデ、其ノ金ヲ運行シテ居リマス點ガ相當餘計ニゴザイマス、其ノ爲ニ公債ノ發行額ガ豫定通り行ツテ居ナイ、斯ウ云フコトデアリマス

○青木委員 總動員法ノ十一條ニ依リマス配當制限ニ付テ、一寸御伺シタイと思ヒマスガ、其ノ配當制限ヲ行ツタ結果トシテ社内保留金ガ増加致シマスガ、社内保留金ノ増加ト云フコト其ノモノヲ考ヘテ見マス——一體此ノ總動員法第十一條ノ發令ハ第六條トノ

均衡上出サレタト云フヤウナ理由ガ、新聞ニ發表サレテ居リマシタガ、私ハ故ラニ斯ウ云フ理窟ヲ捏ネル必要モアリマスマイガ、賃銀ガ或ル程度ニ抑制サレルト云フコトハ必要ナコトデアリマスガ、抑制サレタダケ何等後日ニ貫ヘルノデヤナイ、然ルニ配當ノ方ハ配當ヲ減シタダケ、社内ニ保留サレタモノヲ別ニ國家カ何カガ取上ゲルノデナケレバ、勞働者ト同ジ結果ニナラナイ、社内保留金ト云フモノハ、言換ヘレベ今ハ配當ト云フケレドモ、賃銀ハ繰延ベタノデヤナクテ切捨テタノデアアル、國家ノ必要ニ應ジテ押ヘテシマツタ、ソコデ私ハ之ヲ根本的ニ公正ニヤルトスレバ、其ノ配當ヲ構成スル——收入ヲ構成スル生産其ノモノニ向ツテ、生産ノ原價ニ向ツテ追及シナケレバナラヌノデアリマス、ケレドモ此ノ問題ハ現在ノ豫算ノ立テ方カラ見テ中々容易デアリマスマイカラ、私ハ之ヲ言フノデアアリマセヌガ、セメテ其ノ社内保留金ト云フモノニ對シテ、政府ハ何カ制限ヲスル考ハナイカ、即チ社内保留金ハ現在ノ所、自分ノ會社内デ何カ新タナル生産擴充ニ使ツテモヨシ、或ハ償却費ニ充テテモ宜シイガ、一體

其ノ社内保留金ヲ殘シタト云フコトハ、一般ニ第六條ト均衡ヲ取ルバカリデナク、投機思惑ヲ抑制シ、更ニ跛行景氣ニ依ル所ノ人心ニ及ボス惡影響ヲナカラシメタモノデアルト思ヒマスガ、經濟界ノ堅實ナ發達ト云フコトカラ言ヒマシテモ、此ノ社内保留金ヲ何カ現金ノ形ニ於テ殘サシテ置クト云フコトガ、將來若シ軍需産業ニ何カノコトガ起ツタリ、一般經濟界ニ惡影響ヲ及ボスヤウナコトガ起リマシタ時ニモ、サウ云フヤウナ流動資産デ殘サシテ置クト云フコトガ、一層堅實ナラシムル所以デアリマス、ソレト同時ニ流動資産デアリマスレバ、預金ノ形ニ於テ公債ヲ買フコトニモナリマセウシ、或ハ直接公債ヲ買フコトデモ宜シイ、即チ直チニ國家ノ産業ニ從事シナクテモ、間接ニ國策ニ應ズルコトニナルデアラウト私ハ思フノデアリマス、若シ又ソナ事ニ使ハナイトスルナラバ、此ノ社内保留金ノ使途ニ付テ申告サセテ、ソレガ國策ノ線ニ副フ投資デアアルカドウカト云フコトニ依ツテ、其ノ使途ヲ認可主義、或ハ許可主義ト言ヒマセウカ、サウ云フヤウナ方法ニ依ツテ監督スルコトノ方ガ、時局下ニ於テ適當デハナイカト思ヒマス、左様ナ御考ハアリマセヌカ

○石渡國務大臣 總動員法十一條ノ關係デ

留保シダモノニ付テ、其ノ用途ヲ指定スル意思ハナイカ、斯ウ云フ御尋ト思フノデアリマスガ、是ハ配當ヲ制限シテ、サウシテ其ノ配當ヲ減スト云フヤウナコトヲ考ヘナイカト云フノガ、一ツノ御疑ノヤウデアリマスガ、是ハ一昨年來考ヘテ居リマスコトハ、御承知ノ通りデアリマシテ、詰リ高率配當課税、斯ウ云フモノヲヤツテ居ルノデアリマシテ、高率配當課税ノ結果ハ相當ナ收入モ國デ得テ居ル譯デアリマス、今回モ之ヲ一割ヲ超ユルモノニ付テハ再ビ其ノ率ヲ引上ゲテ、増税ヲシタイト思ツテ居リマス、此ノ高率配當ニ對シテ課税デ行クカ、又ハ制限デ行クカト云フコトニ付テハ色々考ヘ方モアルヤウデアリマス、今コチラデヤツテ居リマスノハ、一方ニ於テ課税ヲシ、一方ニ於テ配當ノ制限ヲ總動員法デアル、斯ウ云フ建前ニナツテ居ルノデアリマスガ、伊太利ノ如キハ或ハ課税デヤツテ見タリ、又配當制限ヲシテ見タリ、時ニ依ツテ其ノ政策ガ變ツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、是ハヤハリ其ノ時ノ經濟事情ニ應ジテ出來ルダケノ生産擴充資金ヲ得タイ、斯ウ云フコトノ目的カラ今日考ヘテ居ルモノデゴザイマスカラ、斯ウ云フヤウナコトニシタ譯

デゴザイマス、社内、留保金ヲシツ放シデハ、ドウモオカシイデハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、今日ノ場合ハ社内留保金ヲ出來ルダケシテ欲シイ、其ノ社内留保金ノ形ガ如何ナル形デアリマシテモ、ソレガ社内ノ必要ナル生産費ノ擴充ニ充テラレ、是ハ軍需工場ト此ノ際生産力擴充ノ必要ナル會社ニ付テハ、サウ云フヤウナ生産力擴充ノ資金ニ充テルト云フコトガ、第一ノ問題ダラウト思ヒマス、ト同時ニ又餘リ生産力ノ擴充ノ必要ノナイヤウナ會社ニ於テ相當ノ儲ケノアツタ場合、之ヲ留保シタ場合ニハ結局是ハ預金ト相成リ、又ハ國債ニ充テルト云フヤウナコトニモ相成ツテ來ルカモ分リマセヌ、兎ニ角配當ヲスルト云フコトヨリモ、社内ニ留保シテ欲シイ、斯ウ云フコトニ重點ヲ置キマシテ、總動員法十一條ガ發動致ス譯ニ相成ツテ居リマス、ドウ云フ理由デ社内留保金ヲ餘計ニ置カセラルカト云ヘバ、社内留保金ハ此ノ際必要ナル生産力擴充資金ニ充テテ欲シイ、之ヲ配當シテ各人ニ分配シテシマフト云フコトデハ、金ガ集リニクイノデアリマスカラ、一ツノ會社ノ中ニソレヲ留保シテ置イテ、其ノ留保金ヲ以テ生産力ノ擴充ニ充テタイ、斯ウ云フ考カラ出發シテ居ルノデアリマシ

テ、今アナタノ仰シヤルヤウナ預金、公債ニ投資スルト云フコトモ一ツノ行キ方デゴザイマセウ、ト同時ニ其ノ會社ニ於ケル所ノ必要ナル生産力擴充ニ充テルト云フコトモ、一ツノ行キ方デアルト存ジマス

○青木委員 今ノ社内留保金ガ多クナルト云フト資金ニ非常ニ困ツテ居ルモノデ軍需産業ニ從事シテ居ルヤウナモノハ仰セノ通リニナリマスガ、中ニハ社内留保金ガ多クナル爲ニ、放漫ナル使途ニ向ケラレルト云フコトナキニシモアラズデアリマス、其ノ意味ニ於テ私ハ此ノ事變ノ當初ニ於キマシテハ、マダ償却ガ十分デナカツタガ、斯ク長期態勢ヲ以テ年々政府ノ支出ガ大キク動イテ行ク場合ニ於キマシテハ、償却モ相當行ハレタコトデアルコトハ、前ニモ他ノ議員カラ仰シヤイマシタ、私モサウ云フヤウニ思フ、サウシマス只今マデノヤウニ預金ナリ公債ナリニスルダラウト云フ程度ヲ更ニ一步進メラレテ、此ノ留保金ニ對シテ更ニ政府デ何カ監督ヲシテ行カレルコトノ方ガ、必要ナ時代ニ到達シテ居ルノデハナイカ、之ヲ撒布シナイ方ガ宜イト云フコトハ私モ同感デアリマスガ、唯其ノ點ヲ伺ツタノデアリマス

方、浪費ナヤリ方、濫費ナヤリ方ニ付テハ、是ハ監督致ス積リデゴザイマス、是ハ會社ガ數多クゴザイマスカラ、一々之ヲ監督致シテ、詳細ニ監督致スト云フコトデアリマスレバ、是ハ中々人手モ要ルコトデアリマス、ソレデアリマスカラ先ヅ會社ニハサウ云フヤウナコトヲシナイヤウニト云フコトヲ眼中ニ置イテ、會社ノ經理ヲ立テル、斯ウ云フコトヲ要求シテ居ルノデアリマス、會社ガサウ云フヤウナ方針ニ則ツテ經理ヲヤラナイ、放漫ニ流レルト云フヤウナ場合ニ於テハ、政府ハ適當ニ命令ヲ以テ之ヲ抑ヘル豫定デゴザイマス

○田中委員 一寸議事進行ニ付テ——本法案ハ非常ニ重大ナ法案デモゴザイマスシ、且ツ追加豫算トシテ更ニ相當ノ豫算ガ將來出來テ來ルコトモ見越サレルノデアリマシテ、本案ノ審議ヲ續行スル上ニ於キマシテ、適當ノ機會ニ祕密會ヲ開催シテ戴キタイノデアリマス、此ノ公開ノ席上ニ於テ色々質疑ヲ重ヌルコトガ出來ナイコトガゴザイマスノデ、委員長ニ適當ノ機會ニ祕密會ヲ開催セラレントヲ要求スル者デアリマス

○板谷委員長 貴意ノ在ル所ハ政府ニ其ノ意思ヲ傳ヘテ置キマス

○坂本委員 資料ノ要求ヲ致シマス、重工

業、輕工業ノ數、ソレカラソレニ從業致シテ居リマス職工ノ數、ソレカラ事變前カラ今日ニ至リマス間ニ輕工業ヨリ重工業ニ轉向致シマシタ數、ソレト今一ツ、事變前カラ今日マデノ主ナル輸出品ノ趨勢ヲ、數字のニ御願致シマス

○板谷委員長 坂本君ニ申上ゲマスガ、海軍關係ノ質疑ハ昨日ニ於テ大體終了シタノデアリマス、今ノ御要求ハ此ノ議案中ノ海軍省關係議案ニ關係ノ御話デアリマスカ

○坂本委員 海軍省デハゴザイマセヌ商工省關係デアリマス

○板谷委員長 ドノ議案ノ關係デアリマスカ

○坂本委員 昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ付キマシテ、商工省所管ニ付テ伺ヒタイノデ資料ヲ要求スル譯デアリマス

○板谷委員長 御希望ト致シマシテ其ノ旨ハ政府ニ傳ヘマスガ、甚ダ失禮ナ申分デアリマスケレドモ、成ベク委員ノ方ハ議席ヲ保ツテ始終オ居デラ願ヒマセスト、同ジヤウナ質問ナリ、或ハ同ジヤウナ要求ナリガ度々出ルノデ、委員長トシテハ取計ヒ兼ネルノデアリマスカラ、ドウカ其ノ意味ニ於キマシテ、今後ニ於キマシテモ出來ルダケ

議席ヲ保タレンコトヲ希望致シマス

○坂本委員 明日ハ商工省關係ノ質疑ヲ許サレルヤウニ先程伺ヒマシタガ……

○板谷委員長 明日ハ斯ウ云フコトニシタイト思ヒマス、明日ハ午前中農林省、商工省關係ノ大臣ナリ、政府委員ナリノ御出席ヲ願ツテ、午後ハ、大藏大臣ニ對スル質疑ハ大體ニ於テ終了シタト思フノデアリマスカ、マダ松尾四郎君ガ殘ツテ居リマス、其ノ他簡單ナ御質問デアルナラバ御許シスルコトニ致シマシテ、御承知ノ通り九日ハ豫算ノ黨議決定ノ爲ニ休ムコトニナリマス、ソレカラ十日一日ハ開カレマスルガ、十一日、十二日ハ休ミデアリマスルカラ、出來ルナラバ明日中ニ質疑ヲ終了致シマシテ、サウシテ十日ニ討論ニ移ツテ、十三日ニ本會議ガ特ニ開カレテ豫算ノ討議ガアルサウデアリマスルカラ、出來ルナラバ十四日ノ本會議ニ掛ケタイト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ併シ是ハマダ理事諸君ニ御相談ヲシテナイノデアリマシテ、私ノ考ダケデアリマスカ、何レ理事會ヲ開キマシテ理事諸君ノ御諒解ヲ得タイト思ツテ居リマス

○坂本委員 私ノ質問ハ極メテ簡單ナ二三ノ點デアリマスカラ、是非御許シテ願ヒマス

○青木委員、公債財源ニ關シテノ賠償金ニ關聯シマシテ、私ハ總理大臣ニ一二御伺シテ見タイト思ヒマス、御出席ノ御取計ヲ願ヒマス

○板谷委員長 要求ノ點ハ政府ニ通ジテ置キマス

○塚本委員 十一年以降各月ノ生計指數、物價指數、賃銀指數ヲ對照シテ現ハシテ戴キタイト思ヒマス

○板谷委員長 先程申シマシタヤウニ參考資料ハ大體委員會ノ當初ニ於テ御要求ニナルベキモノデアリマス、今ヤ質疑ガ段々進ンデ委員會ガ終了スルト云フ場合ニ於テ、ドウモ改メテ參考資料ノ要求ト云フコトハ委員長モ實ハ取計ラヒ兼ネルノデアリマスカ、併シ御意思ノアル所ハ政府ニ通ジテ置キマス

○塚本委員 私ハ厚生大臣ニモ質疑ヲシタイト考ヘテ居リマスカラ、厚生大臣ニ對スル質疑ノ資料トシテ必要ダカラ請求シタノデアリマス

○板谷委員長 御意思ノアル點ハ政府ニ通ジテ置キマス——本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時ニ開會致シマス、成ベク定刻ニ參集アラソコトヲ希望致シマス
午後五時十分散會